





이 年次報告書는 1990年度의 水産業動向과 施策 및 1991年度의 水産施策에 관한 報告書로서 水産振興法 第 16條의 規定에 의하여 1991年度 國會 定期會에 提出하기 위하여 作成하였음.

## 目 次

第1編 1990年度 水産業 動向 .....	1
第1章 世界水産業 動向 .....	3
第1節 水産物 生産 .....	3
第2節 水産物 交易 .....	4
第2章 우리나라 水産業 動向 .....	7
第1節 漁業 構造 .....	7
第2節 漁家經濟 .....	24
第3節 水産物 生産 .....	30
第4節 水産物 輸出入 .....	41
第5節 水産物需給 及 價格 .....	48
第6節 漁場環境 .....	51
第2編 1990年度 水産施策 .....	65
第1章 水産資源의 造成과 保護 .....	67
第1節 水産資源 造成 .....	67
第2節 養殖漁業 開發 .....	70
第3節 内水面漁業 開發 .....	72

第4節 沿岸漁場 保全管理 .....	75
第5節 漁業秩序確立 및 安全操業 指導 .....	77
第2章 沿近海漁業의 構造調整 .....	82
第1節 漁業構造 調整 .....	82
第2節 漁業制度의 整備·補完 .....	83
第3章 遠洋漁場의 持續的 開發 .....	88
第1節 漁業協力 強化 .....	88
第2節 新漁場 開發 .....	92
第3節 遠洋漁業 育成指導 .....	95
第4章 漁業基盤施設의 擴充 .....	98
第1節 漁港建設 .....	98
第2節 漁撈施設의 現代化 .....	100
第5章 水產物 價格安定과 食糧化 .....	103
第1節 流通構造 改善 .....	103
第2節 水產物 價格安定 .....	105
第3節 水產物 食糧化 .....	109
第4節 水產物 檢査 .....	113
第5節 水產物 輸出入 對策 .....	115
第6章 水產研究 強化와 技術開發 普及 .....	122
第1節 水產振興院의 活性化 .....	122

第 2 節 所得과 直結되는 技術開發 .....	123
第 3 節 基礎調查事業 .....	129
第 4 節 水産技術 指導 普及 .....	132
第 5 節 漁業技術向上과 訓練 .....	136
第 7 章 漁村開發과 漁民支援 .....	139
第 1 節 漁村開發 .....	139
第 2 節 水産資金 供給 擴大 .....	141
第 3 節 水産團體 育成 .....	145
第 4 節 被害復舊 및 災害補償 .....	150
第 5 節 水産關聯 稅制改善 .....	152
第 3 編 1991年度 水産施策 .....	155
第 1 章 水産施策의 基本方向 .....	157
第 1 節 指標과 重點施策 .....	157
第 2 節 投融資 規模 .....	160
第 2 章 水産資源의 造成 및 養殖漁業 開發 .....	163
第 1 節 水産資源 造成 .....	163
第 2 節 養殖漁業 開發 .....	166
第 3 節 內水面漁業 開發 .....	168
第 3 章 沿岸海 漁場 環境保護 .....	171
第 1 節 漁場淨化 .....	171

第 2 節 沿岸漁場 汚染防止	172
第 3 節 漁業秩序 確立	172
第 4 章 沿近海漁業의 構造調整	175
第 1 節 基本方向	175
第 2 節 推進計劃	176
第 3 節 法令整備	177
第 5 章 遠洋漁業의 積極的 對應	178
第 1 節 漁業協力의 強化	178
第 2 節 既存漁場의 確保	179
第 3 節 新漁場 開發	185
第 6 章 價格安定 및 流通改善	186
第 1 節 價格安定對策	186
第 2 節 流通構造改善	189
第 3 節 加工業 育成	191
第 4 節 水產物 檢查	193
第 5 節 水產物 輸出 促進	195
第 6 節 水產物 輸入自由化 補完對策	196
第 7 章 漁業基盤施設의 擴充과 漁民支援 強化	200
第 1 節 漁港施設 擴充	200
第 2 節 漁撈施設 現代化	202
第 3 節 漁村綜合開發	205

第4節 漁民福祉會館 建立	206
第5節 漁民後繼者 育成	206
第6節 漁村觀光所得源 開發	207
第7節 水產資金 供給擴大	208
第8節 漁民負擔 輕減	211
第9節 漁船員共濟 支援	213
第8章 水産技術の 高度化	215
第1節 水産研究 及 技術開發	215
第2節 漁場環境 及 資源調査	218
第3節 研究機能 強化	220
第4節 技術指導 普及	222
第5節 水産技術 訓練	226
統計と 水産業 動向	229

## 表 目 次

〈表 1〉	世界 水産物 生産推移 .....	4
〈表 2〉	世界 水産物 輸出推移 .....	5
〈表 3〉	世界 水産物 輸入推移 .....	6
〈表 4〉	漁業家口 人口 .....	7
〈表 5〉	'90 漁業家口, 人口 및 従事者 .....	8
〈表 6〉	海面漁業 家口別 形態 .....	8
〈表 7〉	漁業 産出額 現況 .....	9
〈表 8〉	漁業總生産(附加價値) 現況 .....	10
〈表 9〉	漁業別 漁船勢力 .....	11
〈表 10〉	船質別 漁船勢力 .....	12
〈表 11〉	噸級別 漁船勢力 .....	12
〈表 12〉	淺海 養殖漁場 開發面積 .....	15
〈表 13〉	年度別, 所有者別 漁場面積 .....	16
〈表 14〉	品目別, 所有者別 漁場面積 .....	16
〈表 15〉	우리나라 內水面 構成 .....	16
〈表 16〉	內水面 養魚場 現況 .....	17
〈表 17〉	沿岸漁業 經營體 推移 .....	18
〈表 18〉	近海漁業 經營體 推移 .....	20
〈表 19〉	養殖漁業 經營體 構成 .....	21
〈表 20〉	內水面漁業 經營體 推移 .....	22



〈表 21〉	遠洋業體의 經營規模 推移	23
〈表 22〉	漁家所得 推移	24
〈表 23〉	漁業外所得 構成	25
〈表 24〉	漁業 形態別 所得構成	26
〈表 25〉	可處分所得 및 家計費	26
〈表 26〉	家計費 支出內譯	27
〈表 27〉	漁家 資産 推移	28
〈表 28〉	漁家 負債 推移	28
〈表 29〉	漁家 文化用品 保有現況	29
〈表 30〉	漁業別 生産推移	31
〈表 31〉	沿近海漁業 業種別 生産推移	35
〈表 32〉	養殖漁業 品種別 生産推移	37
〈表 33〉	內水面漁業 品種別 生産推移	38
〈表 34〉	遠洋漁業 業種別 生産推移	41
〈表 35〉	水産物 輸出推移	42
〈表 36〉	品目別 輸出實績	42
〈表 37〉	主要魚種別 輸出實績	43
〈表 38〉	國家別 輸出實績	45
〈表 39〉	水産物 輸入 實績	46
〈表 40〉	水産物 需給 動向	48
〈表 41〉	動物性 蛋白質 供給 推移	49
〈表 42〉	水産物 利用 動向	50
〈表 43〉	水産物 都賣物價 動向	51
〈表 44〉	水産物 消費者物價 動向	51
〈表 45〉	大洋別 다랭이 資源評價	60

〈表 46〉	베링海 명태의 漁獲量	61
〈表 47〉	市·道別 人工魚礁施設 實績	67
〈表 48〉	水産種苗培養場 現況	68
〈表 49〉	民間種苗 買入 放流實績	69
〈表 50〉	대子 人工受精卵 放流實績	70
〈表 51〉	養殖漁場 生産基盤 施設 支援實績	71
〈表 52〉	內水面 稚魚放養 實績	72
〈表 53〉	연어 放流 및 採捕實績	74
〈表 54〉	淸淨海域 指定現況	75
〈表 55〉	漁業指導船 現況	78
〈表 56〉	不法漁業 團束實績	78
〈表 57〉	附屬約定 更新 現況	88
〈表 58〉	直接쿼타 및 共同漁業 實績	90
〈表 59〉	年度別 뉴질랜드 쿼타 消盡實績	91
〈表 60〉	對外 技術協力 現況	92
〈表 61〉	全國 漁港指定 現況	98
〈表 62〉	漁港開發 現況	99
〈表 63〉	漁撈施設 事業實績	101
〈表 64〉	規格出荷事業 實績	105
〈表 65〉	政府備蓄事業 實績	106
〈表 66〉	民間 價格安定事業 實績	107
〈表 67〉	水産加工品 生産推移	110
〈表 68〉	加工業體 支援 實績	111
〈表 69〉	水産物 檢査推移	113
〈表 70〉	農林水産物 輸入自由化 豫示 現況	115

〈表 71〉	’90 輸入自由化品目内譯	116
〈表 72〉	既輸入自由化品目輸入動向	117
〈表 73〉	’90 輸入自由化品目輸入動向	118
〈表 74〉	輸出用水産物收買促進資金支援現況	120
〈表 75〉	韓國漁業技術訓練所教育訓練實績	138
〈表 76〉	漁村綜合開發事業推進實績	139
〈表 77〉	漁民後繼者育成實績	140
〈表 78〉	營漁資金供給實績	142
〈表 79〉	水産振興財政資金運用實績	142
〈表 80〉	’90 農漁村發展基金運用規模	143
〈表 81〉	水協自體資金造成及運用	144
〈表 82〉	水協の組織	145
〈表 83〉	’90年度新設組合現況	146
〈表 84〉	水協事業規模	146
〈表 85〉	水協中央會收支狀況	147
〈表 86〉	會員組合收支狀況	147
〈表 87〉	出資金造成狀況	148
〈表 88〉	水産物輸出團體現況	148
〈表 89〉	水産關聯社團法人現況	149
〈表 90〉	被害及復舊費支援内譯	150
〈表 91〉	船員共濟料國庫補助金支援實績	151
〈表 92〉	零稅率適用機資材品目	152
〈表 93〉	水産業分野所得標準率調整内譯	153
〈表 94〉	免稅油類供給實績	154
〈表 95〉	’91 水産豫算	160

〈表 96〉	’91 水產資金 支援計劃	162
〈表 97〉	人工魚礁 施設計劃	163
〈表 98〉	培養場別 種苗 生産計劃	165
〈表 99〉	水產増養殖 事業 支援計劃	167
〈表 100〉	内水面 稚魚 放養計劃	169
〈表 101〉	農安基金(水産部門)運用計劃	187
〈表 102〉	政府備蓄 事業計劃	188
〈表 103〉	規格出荷 事業計劃	191
〈表 104〉	’91輸入 自由化 現況	197
〈表 105〉	’92~’94 輸入自由化 豫示計劃	199
〈表 106〉	漁港 開發計劃	200
〈表 107〉	漁撈施設 事業計劃	204
〈表 108〉	漁村綜合開發 事業推進計劃	205
〈表 109〉	漁民 福祉會館 建立計劃	206
〈表 110〉	漁民後繼者 育成 支援計劃	207
〈表 111〉	漁村觀光 所得源 開發事業計劃	208
〈表 112〉	營漁資金 供給計劃	209
〈表 113〉	水産振興財政資金 運用計劃	209
〈表 114〉	農漁村發展基金 運用規模	210
〈表 115〉	各種 特別對策別 金利引下 吳 ’91利差補填額	212
〈表 116〉	漁船 吳 船員共濟 加入計劃	214
〈表 117〉	漁村指導所 設置 吳 指導人力 確保 内譯	225

第 1 編

1990年度 水産業動向

**여백**

## 第 1 章 世界 水産業 動向

### 第 1 節 水産物 生産

'89年の世界水産物生産量は'88年の 97,985千톤보다 1,550千톤이 増加한 99,535千톤으로서 全體的으로 1.6% 増加하였다.

나라별로 보면 蘇聯이 前年보다 0.2%가 減少한 11,310千톤을 生産하여 前年 第2位에서 第1位로 浮上하였으며, 中國이 11,220千톤을 生産, 第2位를 차지한 반면, 日本은 前年보다 6.1%나 減少한 11,174千톤으로 第3位로 밀려났다.

그다음 順位로 페루, 칠레, 美國 등이 차지하고 있으며, 특히 칠레는 前年보다 23.9%가 増加하여 가장 높은 伸張率을 보였다.

魚種別로는 베링海의 明太가 6,259千톤으로 全體 生産量의 第1位를 차지하고 있으며, 南美 페루近海의 멸치가 前年の 3,613千톤에서 5,408千톤으로 大幅 増加되어 第2位로 浮上하였고, 日本近海의 정어리가 5,112千톤, 南美近海의 정어리가 4,196千톤이 漁獲되어 各各 第3, 4位를 차지하고 있다.

한편, 우리나라의 生産量은 前年の 2,727千톤보다 105千톤이 늘어

난 2,832千톤으로 世界 第8位를 維持하고 있으며, 世界 全體 生産量의 2.8%를 차지하고 있다.

〈表 1〉 世界 水産物 生産 推移

單位 : 千噸

	'86	'88	'89	89/88(%)
計	92,612	97,985	99,535	101.6
소련	11,260	11,332	11,310	99.8
중국	8,000	10,359	11,220	108.3
일본	1,976	11,897	11,174	93.9
페루	5,614	6,637	6,832	102.9
칠레	5,712	5,210	6,454	123.9
미국	5,167	5,966	5,744	96.3
인도	2,923	3,146	3,619	115.0
한국	3,103	2,727	2,832	103.9
타일랜드	2,536	2,350	2,823	120.1
인니	2,457	2,703	2,700	99.9
其他	33,864	35,658	46,047	129.1

資料 : FAO, Yearbook of fishery statistics, 1989.

註 : 고래, 물개 기타 수산포유동물 및 수산식물 제외

## 第 2 節 水産物 交易

'89年の 世界 水産物 輸出額은 前年보다 1.3% 增加한 32,787百萬\$ 이었다.



이를 나라별로 보면 美國이 前年에 比하여 3.7% 增加한 2,532百萬\$ 을 達成하여 世界 第1位를 차지하였고, 캐나다가 2,051百萬\$로서 第2位, 타일랜드가 1,959百萬\$로서 第3位이며, 우리나라의 水産物 輸出 額은 前年 1,784百萬\$보다 13.8%가 減少한 1,538百萬\$로서 '88年의 第4位에서 '89년에는 第6位에 그쳤다.

<表 2> 世界 水産物 輸出 推移

單位 : 百萬\$

	'87	'88	'89	'89/88(%)
計	28,223	32,370	32,787	101.3
미 국	1,825	2,441	2,532	103.7
카 나 다	2,092	2,206	2,051	93.0
타 일 랜 드	1,261	1,631	1,959	120.1
덴 마 크	1,751	1,856	1,745	94.0
노 르 웨 이	1,475	1,608	1,563	97.2
한 국	1,540	1,784	1,538	86.2
중 국	912	1,399	1,393	99.6
네 델 란 드	953	948	1,061	111.9
아이슬랜드	1,071	1,060	1,027	96.9
일 본	890	1,037	919	88.6
기 타	14,453	16,400	16,999	103.7

資料 : FAO. Yearbook of Fishery Statistics, 1989.

註 : 고래, 물개, 기타 수산포유동물 및 수산식물, 어망 제외.

한편, 世界의 水産物 輸入額은 35,896百萬\$로서 前年에 比하여 1.6%의 伸張을 보였다.

〈表 3〉

世界 水産物 輸入 推移

單位：百萬\$

	'87	'88	'89	'89/88(%)
計	30,537	35,325	35,896	101.6
일 본	8,308	10,658	10,127	95.0
미 국	5,662	5,390	5,757	106.8
프 랑 스	2,022	2,243	2,194	97.8
이탈리아	1,738	1,899	1,984	104.5
스 페 인	1,322	1,726	1,816	105.2
영 국	1,387	1,578	1,612	102.2
서 독	1,269	1,429	1,479	103.5
홍 콩	794	1,030	988	95.9
덴 마 크	842	852	864	101.4
타일란드	267	538	727	135.1
네델란드	509	578	672	116.3
캐 나 다	512	593	659	111.1
벨 기 에	530	582	603	103.6
기 타	5,375	6,229	6,414	103.0

資料：FAO. Yearbook of Fishery Statistics, 1989.

이를 나라별로 살펴보면 日本이 5.0% 減少한 10,127百萬\$를 記錄하여 第1位를 維持하였으며, 美國이 5,757百萬\$로 第2位, 프랑스가 2,194百萬\$로 第3位, 이탈리아가 1,984百萬\$로 前年에 比하여 4.5%의 伸張을 보임으로써, 繼續 第4位를 維持하고 있다.

우리나라의 水産物 輸入額은 前年の 314百萬\$에서 '89년에는 317百萬\$로 약간 증가하여 世界 第19位를 維持하였다.

## 第 2 章 우리나라 水産業 動向

### 第 1 節 漁業 構造

#### 1. 漁家人口

農林水産部에서 暫定集計한 '90年度 漁業總調查速報에 의하면 全國의 海面 및 內水面 漁業 家口數는 128千戶로 나타났다.

또한 漁家人口는 523千名으로 男子는 263千名, 女子는 260千名으로 나타났다. 한편 漁業 從事者는 222千名으로 이중 男子는 126千名, 女子는 96千名으로 每年 女子의 構成比가 높아져 가고 있다.

〈表 4〉 漁業家口와 人口

單位：千戶, 千名, %

	'79	'84	'89	'90(p)	'90/'89
漁 家 戶 數	147	147	134	128	95.5
(被雇備者家口)	(24)	(19)	(16)	(-)	
漁 家 人 口	791	716	561	523	93.2
(被雇備者家口員)	(128)	(91)	(65)	(-)	

資料：農林水産部 '90 漁業 總調查 速報

註：'90年度 戶數 및 人口는 被雇備者家口를 除外한 經營者家口만을 對象으로 하였음

이를 漁業別로 살펴보면, 海面漁業을 經營하는 漁業家口數 및 人口는 121千戶에 496千名으로 나타났으며 이중 40.9%에 해당하는 50千家口가 漁船非使用家口이며 그 다음으로 動力船 使用家口가 29.8%인 36千家口로 나타났다.

〈表 5〉 '90 漁業家口, 漁家人口 및 漁業從事者

	漁業家口	漁家人口	漁業從事者
	戶	名	名
計	127,558	522,702	221,765
海面漁業	121,412	495,995	212,346
內水面漁業	6,146	26,707	9,419

資料 : 農林水産部 '90 漁業總調査 速報

〈表 6〉 海面 漁業家口別 形態

單位 : 千戶, %

	'84	'89	'90	'90/'89
計	146.9	134.1	121.4	90.3
經營者家口	128.1	118.6	121.4	102.4
動力船使用	23.6	33.7	36.2	107.4
無動力船使用	11.4	2.2	2.9	131.8
漁船非使用	34.9	29.8	49.7	166.8
養殖業	58.2	52.9	32.6	61.6
被雇傭者家口	18.8	15.5	-	-

資料 : 農林水産部 '90 漁業總調査 速報

內水面 漁業을 經營하는 家口 및 人口는 6,146家口에 26,707名으로 이중 3,763家口가 漁撈漁業, 2,383家口가 養殖漁業을 經營하고 있는 것으로 나타났다.

## 2. 漁業總生産

'90年度 漁業產出額은 2兆8,271億원으로 前年에 비해 5.4%가 증가하였다. 이 중 沿近海漁業은 9.5%, 養殖·內水面漁業은 각각 5.0%, 10.9%가 증가하였으나 遠洋漁業은 1.6%가 감소하였다.

〈表 7〉 漁業 產出額 現況

單位：千톤, 億원

	'89		'90		產出額 增加率(%)
	生産量	產出額	生産量	產出額	
計	3,319	26,823	3,275	28,271	5.4
沿 近 海	1,510	13,666	1,542	14,959	9.5
養 殖	848	3,999	773	4,199	5.0
內 水 面	31	819	34	908	10.9
遠 洋	930	8,339	925	8,205	△1.6

資料：農村水産部 水産統計擔當官室

漁業產出額에서 中間投入額(油類, 漁網, 얼음代 等)을 공제한 '90年 漁業 총생산액(附加價値)은 經常價格 基準으로 前年보다 5.5%가 증가한 2兆46億원으로 暫定推計 되었으며 國內 總生産(GDP)에서 차지하는 비중은 1.2%로 나타났다.

部門別로 보면 沿近海漁業 및 養殖漁業이 前年보다 각각 14.5%, 15.3% 증가하였으나 遠洋漁業은 前年보다 24.5%가 감소하였다.

遠洋漁業의 감소 원인은 참치魚價의 하락 및 걸프만사태에 따른 國際 油價引上 등의 어업 경영 악화가 主要因으로 分析된다.

〈表 8〉

## 漁業 總生産(附加價值) 現況

單位：億원, %

	'89(A)		'90(B)		增減率(B/A)	
	經常	'85不變	經常	'85不變	經常	'85不變
國民總生産 (GNP)	1,417,944	1,195,767	1,684,378	1,303,735	18.8	9.0
農林漁業	144,578	107,799	154,445	103,541	6.8	△3.9
漁業	19,008	11,588	20,046	11,573	5.5	△0.1
· 沿近海	11,019	6,030	12,612	6,177	14.5	2.4
· 養殖	3,518	2,606	4,057	2,434	15.3	△6.6
· 遠洋	4,471	2,952	3,376	2,963	△24.5	0.4
GDP 構成比	1.3	1.0	1.2	0.9		

資料：韓國銀行

註：沿近海(內水面 漁獲 包含), 養殖(內水面 養殖 包含).

## 3. 漁船勢力

'90年末 漁船勢力은 99,658隻에 976,731톤으로 '89年末에 比하여 隻數는 1.2%, 噸數는 1.4% 增加하였다. 이중 動力漁船의 隻數는 79.6%, 噸數는 97.7%를 占有하고 있다.

漁業別로는 沿近海漁船이 57.8%, 養殖漁船이 38.0%, 內水面漁船이 3.1%, 遠洋漁船이 0.8%, 其他漁船이 0.3%를 차지하고 있다.

<表 9>

漁業別 漁船勢力

單位 : 隻, G/T

		'79	'84	'89	'90	'90/'89(%)
計	隻 數	74,556	90,463	98,455	99,658	101.2
	· 動力	47,073	71,650	78,294	79,365	101.4
	· 無動力	27,483	18,813	20,161	21,754	107.9
	톤 數	752,761	852,189	963,231	976,731	101.4
	· 動力	720,894	830,005	941,037	945,977	100.5
	· 無動力	31,867	22,184	22,194	21,754	98.0
沿 近 海	隻 數	42,793	49,741	56,966	57,648	101.2
	톤 數	375,355	433,035	447,365	451,271	100.9
養 殖	隻 數	27,767	36,625	37,418	37,831	101.1
	톤 數	31,658	44,825	45,587	46,601	102.2
內 水 面	隻 數	2,720	2,993	2,955	3,057	103.5
	톤 數	2,691	2,581	2,507	2,559	102.1
遠 洋	隻 數	646	648	799	783	98.0
	톤 數	310,509	334,024	434,429	405,550	93.4
其 他	隻 數	630	456	317	339	106.9
	톤 數	32,458	37,724	33,343	70,750	212.2

資料 : 農林水産部 農林水産統計年報

船質別로는 木船이 全體漁船隻數의 89.2%를 차지하고 있으나 全體漁船톤數의 24.7%에 지나지 않으며 大部分 5톤未滿의 小型漁船으로서 점차 減少趨勢에 있고 鋼船과 經濟性漁船인 合成樹脂船은 漸次늘어나고 있는 趨勢이다. 또한 噸級別로 보면 5톤未滿漁船은 全體隻數 87.5%, 噸數의 13.2%를 차지하고 5-50톤未滿 漁船은 隻數와 噸數가 9.1%, 14.3%를 차지하고 있으며, 50톤以上の 大型漁船은 隻數와 噸數가 3.4%, 72.5%를 차지하고 있다.

〈表 10〉

船質別 漁船勢力

單位：隻，G/T

		'79	'84	'89	'90	'90/'89(%)
計	隻數	74,556	90,463	98,455	99,658	101.2
	噸數	752,761	852,189	963,231	976,731	101.4
木船	隻數	71,489	85,717	89,106	88,927	99.8
	噸數	249,971	253,054	242,351	241,364	99.6
鋼船	隻數	2,907	3,660	4,006	4,084	101.9
	噸數	502,404	594,746	705,546	716,211	101.5
合成樹脂船 (FRP船)	隻數	160	1,086	5,343	6,647	124.4
	噸數	386	4,389	15,334	19,156	124.9

資料：農林水産部 農林水産統計年報

〈表 11〉

噸級別 漁船勢力

單位：隻，G/T

	'79		'89		'90		'90/'89(%)	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
計	74,556	752,761	98,455	963,231	99,658	976,731	101.2	101.4
1 噸 未滿	21,815	16,355	33,440	23,590	34,428	24,175	102.9	102.5
1-5 噸 未滿	41,142	74,243	52,816	104,124	52,797	104,906	99.9	100.6
5-50 噸 未滿	8,815	146,137	8,855	137,906	9,082	140,560	102.6	101.9
50-100 噸 未滿	1,806	144,346	1,953	159,081	1,937	157,580	99.2	99.1
100-200 噸 未滿	417	58,173	618	84,177	630	86,233	101.9	102.4
200 噸 以上	561	313,507	773	454,353	784	463,277	101.4	101.9

資料：農林水産部 農林水産統計年報



#### 4. 利用漁場

##### 가. 沿近海

우리나라 沿近海漁場의 範圍는 水産業法 第2條 第5項에서 東海·黃海 및 東中國海와 北緯 25度線以北과 東經 140度線 以西의 太平洋海域으로 規定하고 있어 同 水域을 除外한 水域을 海外漁場으로 區分하여 遠洋漁船이 操業하는 漁場으로 區分하고 있다.

우리나라 沿近海漁業은 '60年代 濟州道 近海水域에서 소코트라漁場으로 '70年代에는 黃海·東中國海·東海의 大和堆漁場으로 操業漁場이 擴大되어 왔다.

그러나, 이들漁場은 우리나라는 물론, 日本·中國·臺灣등이 共同으로 利用하는 漁場으로서 沿近海水域은 그 一部가 韓·日, 日·中國 漁業協定 등에 의해 協定水域으로 管理되고 있고 日本은 200海里 經濟水域을 宣布하고 있으나 우리나라와 中國에 대하여 그 施行을 留保하고 있고, 北韓은 軍事警戒水域 및 經濟水域을 宣布·施行하고 있으며, 東·西海의 漁撈自制線, 中國沿岸의 操業自制線 등으로 近海漁場의 利用制約은 날로 增大되고 있고 또한, 隣接國家와의 操業競爭도 날로 深化되어가고 있다. 따라서 漁場 및 漁業資源의 管理를 위해 周邊國家와의 共同管理體制의 確立이 切實히 要求되고 있다.

沿岸水域은 魚貝類의 産卵과 稚·仔魚의 成育場일 뿐만 아니라, 共同漁場 및 養殖漁場이 집중적으로 開發되고 있어 多數漁民의 生業의 터전으로서 매우 중요한 漁場이다. 그러므로 生産性이 높고 開發潛在力이 큰 沿岸漁場을 合理的으로 開發·保全하고 高度利用을 圖謀하는 것은 水産業發展에 있어 매우 중요한 課題이다.

그러나, 沿岸漁場 역시 埋立·干拓, 汚染등에 의한 漁場環境 變化는 물론 漁場縮小등 漁場利用에 制約이 날로 擴大되고 있어 廣範圍한 水域에 生態系 變化를 招來하는 綜合開發事業, 汚染防止를 위한 海洋監視體制確立, 老朽漁場の 淨化등 沿岸漁場の 保全 및 合理的인 管理도 매우 時急히 要請되고 있다.

## 나. 遠 洋

우리나라의 遠洋漁業은 1957년에 最初로 印度洋 참치漁業으로 進出하면서부터 시작되어 1970年代 中盤까지 急進的으로 伸張되었다. 그러나 1970年代 中盤에 들어서는 2次에 걸친 石油波動과 1977년부터 美·蘇를 비롯한 世界 沿岸國들이 自國의 領域擴大와 海洋資源 確保라는 名分으로 200海里 管轄水域을 宣布함으로써 遠洋漁場은 급격히 縮小 또는 規制되어 生産活動에 莫大한 制約을 받게 되었다.

특히 美國水域에서는 그동안 韓·美 漁業協定을 통해 湄타操業 및 共同事業 形態로 操業을 해 오던 것이 '87년에 湄타操業, '90년에 共同事業이 終結되었다.

그러나 '80년부터 公海上에서 開發된 오징어流刺網 漁業과 '85년부터 進出한 南西大西洋 오징어채낚기漁業이 好調를 보여 '90年度 遠洋漁業 生産量은 925千톤에 달하였다.

한편 '90年末 遠洋漁船 隻數는 810隻으로 5大洋에서 명태, 오징어, 참치를 主對象으로 하며, 漁獲物 대부분을 國內에 搬入하여 水産物 需要 增大에 對應하고 있으나 沿岸國 및 國際機構 등의 規制強化로 入漁料 引上은 물론 流刺網 漁法 등 公海操業도 規制가 強化되고 있어 遠洋漁業의 興件은 날로 어려워 지고 있는 실정이다.

## 5. 養殖漁場

### 가. 淺海養殖

淺海 養殖漁場은 '90年末 現在 113千 ha가 開發되었으며, 年間 80萬톤 內外의 養殖水産物을 生産, 沿岸漁民 所得增大에 크게 寄與하고 있다.

政府에서는 漁村契爲主의 養殖免許 施策의 持續的 推進으로 漁村契(水協)漁場의 比重이 漸次 增大되어 全體漁場의 70%인 79千ha를 地先 多數漁民이 所有 經營하고 있다.

現在 養殖되고 있는 品種은 돔, 넙치, 방어, 굴, 피조개, 바지락, 김, 미역, 우렁쟁이, 새우等 總 39種에 이르고 있으며, 每年 새로운 養殖品種의 積極的인 開發로 養殖品種도 多樣化 되어가고 있다.

〈表 12〉

淺海 養殖漁場 開發面積

單位:ha

	'79	'84	'89	'90	增減率% ( '90/'89)
計	79,165(100%)	89,557	112,959	113,026(100%)	0.1
魚 類	137(0.2)	225	946	1,260(1.1)	33.2
貝 類	50,353(63.6)	40,431	39,903	40,071(35.5)	0.4
海藻類	28,279(35.7)	47,661	68,973	68,428(60.5)	△0.8
其 他	396(0.5)	1,240	3,137	3,267(2.9)	4.1

資料 : 水産廳 增殖課

<表 13> 年度別, 所有者別 漁場面積

單位:ha

	'80	'84	'89	'90	增減率% (90/89)
計	78,573(100%)	89,557(100%)	112,959(100%)	113,026(100%)	0.06
漁村契 및 水協	38,385(49)	53,124(59)	78,241(69)	78,698(70)	0.6
個人契 協業	40,188(51)	36,433(41)	43,718(31)	34,328(30)	△1.1

資料: 水産廳 増殖課

<表 14> 品目別, 所有者別 漁場面積

單位:ha

	計	魚類	貝類	漁藻類	其他
計	113,026(100%)	1,260(100%)	40,071(100%)	68,428(100%)	3,267(100%)
漁村契 및 水協	78,698(70%)	92(7%)	15,273(38%)	62,691(92%)	642(20%)
個人契 協業	34,328(30%)	1,168(93%)	24,798(62%)	5,737(8%)	2,625(80%)

資料: 水産廳 増殖課

#### 나. 內水面

우리나라 內水面 水面積은 全國土 面積(99千km)의 2%에 該當하는 200千헥타로서 澗湖가 66千헥타(33%), 江, 河川이 92千헥타(46%), 貯水池가 41千헥타(20.5%), 늪이 1千헥타(0.5%)이다.

<表 15> 우리나라 內水面 構成

內水面積	澗湖	江, 河川	貯水池	늪
200千헥타(100%)	66(33)	92(46)	41(20.5)	1(0.5)

資料: 水産廳 資源造成課

이와같은 內水面의 開發에 있어서는 700헥타 以上の 澁湖는 中央政府에서, 700ha미만의 水面은 地方市·道에서 管掌하고 있으며, 中央政府 開發對象인 澁湖는 總 20個所 水面에 60千헥타이나 政府의 澁 新設計劃에 따라 시공중인 水面이 3個所에 11千헥타로서 우리나라 內水面面積은 점차 擴大될 展望이다.

또한 內水面 養殖漁業은 1,713個所(1,658ha)의 養魚場에서 신선한 活魚를 生産, 國民의 動物性 蛋白質 供給과 農漁民 所得增大에 크게 寄與하고 있다.

<表 16> 內水面 養魚場現況

單位:ha

市道別	計		뱀장어		황어(가두리)		무지개송어		其他	
	個所	面積	個所	面積	個所	面積	個所	面積	個所	面積
計	1,713	1,658.2	216	118.7	358	413.8	321	111.6	818	1,014.1
서울	8	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-
釜山	34	5.9	1	0.1	-	-	-	-	33	5.8
仁川	1	0.01	-	-	-	-	-	-	1	0.01
大邱	4	0.1	-	-	1	0.01	-	-	4	0.09
光州	18	17.4	5	6.7	-	-	-	-	13	10.7
大田	8	2.8	-	-	-	-	5	1.4	3	1.4
京畿	153	81.1	8	5.8	25	35.0	25	4.5	95	35.8
江原	202	238.6	1	0.1	27	73.4	153	56.6	21	108.5
忠北	141	137.1	1	0.4	73	120.4	43	4.2	24	12.1
忠南	172	264.4	36	21.5	32	28.1	6	1.1	98	213.7
全北	292	553.4	40	23.8	57	36.7	12	2.2	183	490.7
全南	277	150.2	99	54.6	49	62.5	12	1.0	117	32.1
慶北	148	68.2	-	-	62	50.0	46	5.9	40	12.3
慶南	235	69.9	20	3.7	32	7.7	16	1.7	167	56.8
濟州	20	69.0	5	2.0	-	-	3	33.0	12	34

資料 : 水産廳 資源造成課

이를 養魚 品種別로 살펴보면 大單位 水面이나 小規模 優良貯水池 等を 活用한 가두리식 향어養殖이 358個所(414ha)이고 山間의 계곡수나 湧泉水 等を 活用하는 송어養魚場은 321個所(112ha), 湧泉水나 따뜻한 地下水等を 利用, 加溫施設을 갖추어 養殖하는 뱀장어, 털라피와等과 쏘가리, 메기等 養魚場 818個所(1,014ha)를 開發함으로써 淡水魚의 安定的인 生産을 圖謀하게 되었다.

## 6. 漁業經營體

### 가. 沿岸漁業

'90年末 現在 沿岸漁業 經營體數는 總 51,726個로서 '89年度의 51,801個보다 75個가 減少되어 매년 약간씩 增加趨勢였던 沿岸漁業의 經營體數가 '90年度에는 減少現狀을 나타내고 있다.

〈表 17〉 沿岸漁業 經營體 推移

單位: 個

區 分	'79	'84	'89	'90	90/89(%)
計	36,366	41,298	51,801	51,726	99.8
機船引網	143	133	117	1,140	97.4
帆船底引網	81	51	34	260	76.4
鯰 鱈 網	3,308	2,918	2,245	2,133	95.0
流 刺 網	13,540	14,913	17,779	17,466	98.2
潛 水 器	272	273	272	273	100.4
定 置 網	671	704	688	678	98.5
외출 낚시	3,960	3,612	4,876	5,221	107.0
沿岸延繩(주낙)	6,753	8,594	11,125	11,126	100.0
第1種共同漁業	1,426	1,539	1,811	1,842	101.7
第2種 "	99	64	61	59	96.7
第3種 "	862	812	1,202	1,187	98.7
其他 漁業	5,251	7,685	11,591	11,601	100.0

資料: 水産廳 沿近海課

이를 漁業別로 보면 許可漁業의 增加業種은 沿岸延繩(주낙), 焚寄抄網 등이나, 여기서 資源에 미치는 影響이 큰 漁業으로서 '82年以後부터 新規許可가 抑制되어 있는 沿岸鉸蠔網, 囊長網, 해선망漁業은 '89년도에 申告漁業인 浮船鉸蠔網漁業을 許可漁業으로 轉換함에 따라 일시 增加한 것으로 나타나고 있으나 實際로는 每年 減少趨勢에 있으며, 이외 減少 및 前年水準을 유지한 業種으로는, 帆船底引網, 海藻採取, 帆船旋網, 帆船桁網, 石操網, 揚操網漁業 등으로 나타나고 있다.

그리고 免許漁業으로서 漁村契에 優先權이 있고 多數漁民이 共同으로 參與가 可能한 第1種共同漁業은 약간 增加하였으나, 이와 반면 多數漁民 參與가 곤란한 消極의인 漁具漁法을 利用하는 第2·3種共同漁業과 定置網漁業은 漁獲不振등으로 약간씩 減少傾向을 나타내고 있다.

沿岸漁業은 家族單位로 運營하는 小規模漁業으로 兼業이 大部分이며, '80年代 들어와서는 限定된 漁場과 政府의 經濟開發 計劃 推進에 따라 臨海工團施設, 都市의 擴張등으로 工場廢水와 都市下水 등의 流入 및 大型船舶 또는 油槽船 등 事故에 의한 油類被害와 主要沿岸의 大單位 干拓·埋立事業으로 인한 漁場縮小 등 漁場 環境이 날로 惡化되어 漁獲 資源이 漸次 減少되고 있어 漁業經營에 어려움이 많다.

#### 나. 近海漁業

近海漁業 經營體는 1,899個로서 前年對比 168個가 증가하였다.

이와 같은 증가현상은 대부분의 近海漁業이 수산자원보호와 漁業調整 측면에서 업종별로 許可의 定數가 설정되어 있거나 新規許可를 抑制하고 있는데 반해, '90. 8 近海채낚기 漁業중 외줄낚시漁業의 경우에는 近海漁業許可를 받은 漁船중 單一漁業許可만을 가지고 있어 周年操業이 곤란한 어선의 漁業經營安定을 圖謀키 위하여 兼業코자 할 경우 許容도

목 조치가 있었기 때문인 것으로 분석된다. 이를 업종별로 보면 許可定數가 설정되어 있는 大型機船底引網漁業, 中型機船底引網漁業, 大型旋網漁業, 東海區트롤漁業, 大型트롤漁業은 '84年以後 큰 변화가 없으나 許可가 緩和된 近海채낚기漁業(외줄낚시어업)은 前年보다 167個가 증가하였다.

〈表 18〉 近海漁業 經營體 推移

單位: 個

	'79	'84	'89	'90	'90/'89(%)
計	1,767	1,883	1,731	1,899	109.7
大型機底	354	280	277	280	101.1
中型機底	107	107	107	106	99.1
大型旋網	49	48	48	48	100
東海區트롤	43	43	43	43	100
大型트롤	84	90	88	87	98.9
近海채낚기	1,130	1,315	1,168	1,335	114.3

資料: 水産廳 沿近海課

#### 다. 養殖漁業

'90年末 養殖漁業 經營體는 8,513個로서 '89年보다 189個가 增加되었다.

品種別로는 貝養殖 經營體가 2,159個로 全體의 25.4%이며, 다음이 굴養殖 1,036(12.2%), 피조개 838(9.8%), 바지락 706, 새고막 665, 우렁챙이 617, 미역 573個의 順이다.

經營形態別로는 漁村契 및 水協經營體가 4,218個로서 全 養殖漁業 經營體의 49%를 차지하고 있으며, 다음이 協業經營體 2,273個(27%), 個人經營體 2,022個(24%)의 順으로 每年 漁村契經營體가 增加하고 있는 趨勢이다.



品種別 經營形態를 보면, 表에서 나타나는 바와 같이 魚類 및 其他水産動物은 個人 및 協業經營體가 많은 반면, 海藻類養殖은 漁村契 및 水協經營體가 많은 經營形態를 보이고 있는데, 이는 김, 미역 등 海藻類養殖은 養殖技術이 普遍化되고 資本이 적게 들기 때문에 零細漁民들이 주로 經營하고 있으며, 魚類와 眞珠조개, 우렁쉥이·새우 등 其他水産動物은 많은 資本과 高度의 養殖技術이 所要되므로 開發能力이 있는 者가 주로 經營하고 있기 때문이다.

<表 19> 養殖漁業 經營體 構成

單位: 個所

		計	漁村契	水協	個人	協業
計		8,513	3,531	687	2,022	2,273
魚 類		770	130	38	358	244
貝 類	小 計	4,292	1,336	187	1,296	1,473
	굴	1,036	249	52	343	392
	피조개	838	114	12	376	336
	바지락	706	317	39	144	206
	새고막	665	253	10	189	213
	기타	1,047	403	74	244	326
海 藻 類	小 計	2,779	1,869	448	175	287
	김	2,159	1,409	423	94	233
	미역	573	428	21	74	50
	기타	47	32	4	7	4
其他水産動物		672	196	14	193	269

資料: 水産廳 增殖課

라. 內水面 漁業

'90年 內水面 經營體數는 1,713個所로 前年보다 189個所가 增加되었다. 이는 뱀장어, 향어를 비롯하여 송어, 민물돔(틸라피아) 등의 養魚技術 開發과 아울러 國民健康食品으로서, 淡水魚의 需要 漸增에 따라 民資에 의한 養魚場 施設이 擴張된 것으로 推定된다.

魚種別 構成은 가두리식 養魚場에서 향어等 잉어類의 養殖과 무지개 송어, 뱀장어, 민물돔 등의 養魚가 增加趨勢이고 쏘가리, 메기 등의 經濟性 魚種養殖이 漸增된 것으로 推定된다.

<表 20> 內水面漁業 經營體 推移

單位: 個所

	'79	84	89	90	'90/'89(%)
計	324	403	1,524	1,713	112
잉 어	204	215	275	252	92
향 어	-	58	344	358	104
뱀 장 어	82	91	195	216	111
송 어	10	27	271	321	118
기 타	28	12	439	566	129

資料 : 水産廳 資源造成課

마. 遠洋 漁業

'90年度 遠洋漁業 經營 業體는 '89年度 192個社보다 9.4%가 늘어 난 210個社였다. 이들 業體의 規模를 살펴보면 1~2隻의 遠洋漁船을 保有한 小規模 業體가 146個社(70%)로써 主류를 이루고 있다.

遠洋漁業의 業種別 經營 形態를 살펴보면 單一業種 業體로는 참치 漁

業 18個社, 오징어漁業 107個社, 트롤漁業 30個社, 其他 6個社로 全 遠洋業體의 77%에 該當하는 161個 業體 였으며, 49個 業體가 兼業을 하였다.

한편 '90年度 遠洋漁船은 참치船 319隻, 오징어船 230隻, 트롤船 247隻, 其他 14隻으로 總 810隻이었는데 '89年の 770隻에 比하여 40隻이 늘어났다.

最近 우리나라 遠洋漁業은 業體 및 漁船隻數가 每年 增加하고 있어 外形上 成長하고 있는 것으로 보이나 國際機構 및 沿岸國의 漁業資源 自國化 政策深化에 따른 入漁條件의 強化 等에 依한 經費負擔의 增加, 漁場 確保難과 賃金上昇, 漁獲不振等으로 漁業經營에 많은 어려움을 겪었다.

이러한 여러가지 어려운 漁業環境을 克服하고 遠洋漁業의 安定的 成長을 위하여 政府에서는 遠洋營漁資金 810億원을 適期 支援하여 出漁 資金 壓迫을 解消토록 努力하였으며, 國際水産機構와 沿岸國의 入漁 및 規制 活動을 分析 弘報하여 遠洋漁場 確保에 積極 支援하였다. 또한 老朽漁船의 代替와 漁船員의 勤勞福祉 環境을 改善하여 生産性 向上에 注力하였다.

<表 21>

遠洋業體의 經營規模 推移

單位: 個社

	'86	'87	'88	'89	'90	'90/'89(%)
計	149	161	173	192	210	109.4
1 隻	63	71	75	91	105	115.4
2 隻	24	27	33	35	41	177.1
3~5隻	26	29	31	27	27	100.0
6~10隻	13	15	18	24	23	95.8
11~20隻	17	14	9	8	6	75.0
21隻以上	6	5	7	7	8	114.3

資料: 水産廳 遠洋開發擔當室

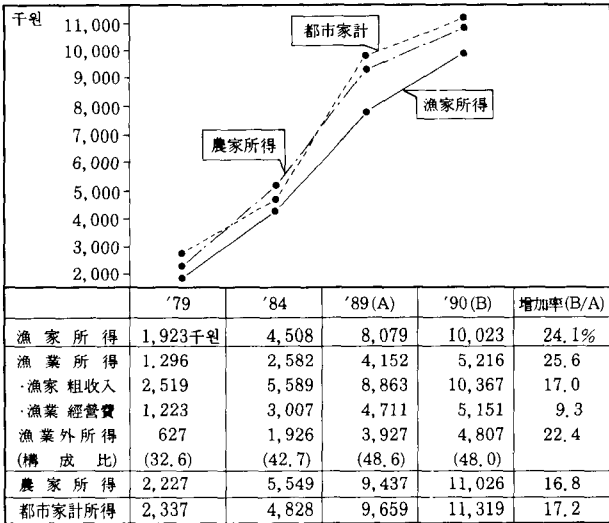
## 第 2 節 漁 家 經 濟

### 1. 漁家所得

'90年 漁家所得은 10,023千원으로 '89年보다 24.1%가 增加하여 最近

〈表 22〉

漁家所得 推移



資料：農林水産部 農林水産主要統計

5年間 平均 增加率 12.4%를 上廻하였다. 이 중 漁業所得은 5,216千원, 漁業外所得은 4,807千원으로 각각 25.6%, 22.4%가 增加하였다.

이와같이 漁業所得이 크게 增加한 것은 沿近海 漁獲量은 前年보다 1.9% 減少하였으나 魚價가 18.6% 상승하였고 漁業粗收入이 前年보다 17.0% 增加한데 비해 漁業經營費는 9.3% 增加에 그쳤기 때문으로 分析된다.

한편 漁業外所得이 增加한 것은 '90年 政府 夏·秋穀 收買價 引上, 畜産物 價格上昇에 따라 農業所得이 22.2% 增加되고 商工서비스 收入이 늘어났으며 事業外所得인 勞賃 및 就業所得이 37.0% 增加하였기 때문이다.

<表 23>

漁業外 所得構成

單位:千원, %

	'84	'89(A)	'90(B)	增加率(B/A)
漁業外 所得	1,926	3,927	4,807	22.4
農業 所得	930	1,553	1,898	22.2
其他兼業所得	121	231	302	30.7
事業外 所得	875	724	992	37.0
移轉 所得	-	1,419	1,615	13.8

資料 : 農林水産部 漁家經濟調查結果

漁業形態別로는 無動力船 使用家口의 所得이 前年에 비해 62.8%가 增加하여 가장 큰 폭의 伸張率을 보였고 養殖業, 漁船非使用家口의 所得도 각각 30.2%, 20.2%가 增加하였으며 가장 所得이 높은 動力船使用家口의 所得은 前年에 비해 18.1%가 增加한 11,196千원으로 나타났다.

<表 24>

漁業形態別 所得構成

單位:千圓, %

	'89(A)	'90(B)	增減率(B/A)
全 國 平 均	8,079	10,023	24.1
漁 船 非 使 用	7,232	8,696	20.2
動 力 船 使 用	9,479	11,196	18.1
無 動 力 船 使 用	5,593	9,103	62.8
養 殖 業	7,557	9,836	30.2

資料: 農林水産部 漁家經濟調查結果

2. 消費支出

'90年 漁家所得 10,023千圓 가운데서 租稅公課金 50千圓을 控除한 可處分所得은 '89年보다 24.1%가 늘어난 9,973千圓이며 이 중 加價비는 7,072千圓으로 14.2%가 늘어났다.

이에 따라 漁家經濟 剩餘는 前年보다 63.7%가 증가한 2,754千圓으로 나타난 반면, 平均消費性向은 76.6%에서 70.9%로 낮아졌다.

<表 25>

可處分所得 및 家計費

單位: 千圓, %

	'84	'89(A)	'90(B)	增減率(B/A)
漁 家 所 得	4,508	8,079	10,023	24.1
可處分 所得(A)	4,266	8,035	9,973	24.1
家 計 費(B)	3,398	6,190	7,072	14.2
分 家 支 出	73	163	147	△9.8
漁 家 剩 餘	795	1,682	2,754	63.7
平均消費性向(B/A)	80.0	76.6	70.9	

資料: 農林水産部 漁家經濟調查結果

한편 '90年 漁家の 家計비 支出內譯을 보면 文化, 教育費 의료비, 住居費 등이 상대적으로 크게 증가한 반면 飲食物費는 1,809千원으로 前年보다 16.6% 增加하였다. 이에 따라 家計비중 食費가 차지하는 비중을 나타내는 恩賜係數는 25.6%로 나타났다.

<表 26>

家計費 支出內譯

單位: 千원, %

	'84	'89(A)	'90(B)	增減率(B/A)
家計費	3,398	6,190	7,072	14.2
飲食物費	1,078	1,551	1,809	16.6
住居費	278	481	591	23.1
被服費	195	431	512	18.8
光熱·水道費	182	238	265	11.3
文化·教育費	483	703	875	24.5
醫療費	-	435	526	20.9
冠婚喪祭費	-	637	739	16.0
其他	1,182	1,714	1,755	2.4
恩賜係數	31.7	25.1	25.6	

資料: 農林水産部 漁家經濟調查結果

### 3. 漁家資産

漁家資産은 61,273千원으로 '89年의 51,253千원보다 19.6% 增加되었다.

이와같이 漁家資産이 增加한 要因을 살펴보면 沿岸開發地域의 地價上昇으로 인한 評價額의 增加와 農漁業用 資材, 在庫 農水産物의 評價額 增加에 基因한 것으로 나타났다.

〈表 27〉 漁家資産 推移

單位: 千圓, %

	'84	'89(A)	'90(B)	増減率(B/A)
漁 家 資 産	18,029	51,253	61,273	19.6
固 定 資 産	13,869	43,333	51,265	18.3
流 動 資 産	2,616	3,866	4,507	16.6
流 通 資 産	1,544	4,054	5,501	35.7
・ 現 金	221	345	360	4.3
・ 預・貯 金	522	2,080	3,240	55.8

資料: 農林水産部 漁家經濟調査結果

#### 4. 漁家負債

漁家負債는 '90年보다 12.3%가 増加한 5,925千圓으로 나타났으며 이는 漁船購入 및 養殖加工施設 등에 投資한 漁業生産 資金의 負債가 7.3% 増加하였고 農機械, 農地購入 등 兼業資金이 대폭 増加한 것이 主要 原因으로 分析된다.

〈表 28〉 漁家負債 推移

單位: 千圓, %

	'84	'89(A)	'90(B)	増減率(B/A)
漁 家 負 債	2,361	5,276	5,925	12.3
借入處別				
・ 金融機關	1,249	3,966	4,515	13.8
・ 私 債	1,112	1,310	1,410	7.6
用途別				
・ 生産性	1,658	4,131	4,738	14.7
・ 漁業資金	1,455	3,057	3,281	7.3
・ 兼業資金	203	1,074	1,457	35.7
・ 家計性	648	868	870	0.2
・ 債務償還用	55	277	317	14.4

資料: 農林水産部 漁家經濟調査結果



用途別 負債 내역을 살펴보면 生産性 負債가 80.0%, 家計性 負債가 14.7%로 構成되어 있으며 生産性 負債는 前年보다 14.7% 增加되고 家計性 負債는 前年에 비해 0.2% 減少되고 있어 生産性 負債의 增加가 두드러지고 있다.

한편 借入處別로는 農·水·畜協 등의 金融機關 負債가 전체의 76.2%를 차지하고 있으며 個人借入이 1,410千원으로 23.8%로 나타났으며 金融機關의 負債는 4,515千원으로 '89年보다 13.8% 增加하였고 個人借入은 7.6% 增加하는데 그쳤다.

## 5. 文化水準

漁家の 文化用品 保有現況을 살펴보면 漁家 1百戶當 칼라 TV 104臺, 세탁기 48臺, 냉장고 98臺, 전화 98臺 등으로 어가문화용품 보유가 많아져 文化生活 수준이 向上되고 있음을 나타내고 있다.

<表 29>

漁家文化用品 保有現況

單位：百家口當 普及

칼라 TV	104
세탁기	48
냉장고	98
전화	98
카메라	29
전기밥솥	78
가스렌지	96

資料：農林水産部 漁家經濟調查結果

### 第 3 節 水産物 生産

#### 1. 生産動向

'90年度 우리나라 水産物 總生産은 前年の 3,319千톤 보다 44千톤 이 減少된 3,275千톤을 生産하였다.

이는 沿近海漁業과 內水面漁業 增加에도 불구하고 養殖漁業의 不振에 기인된 것으로 나타나고 있다.

漁業別로는 沿近海漁業의 境遇 大型旋網漁業, 定置網漁業, 桁網漁業 등의 不振에도 불구하고 大型트롤漁業·流刺網漁業 등의 增加로 前年比 2.1% 增加한 1,542千톤을 生産하였고, 養殖漁業은 施設被害 및 高水温 등의 影響으로 인한 김의 減産과 沿岸漁場汚染, 漁場老化 등에 따른 굴·우렁쉥이 등의 生産不振으로 前年보다 8.9%가 減少된 773千톤을 生産하였다.

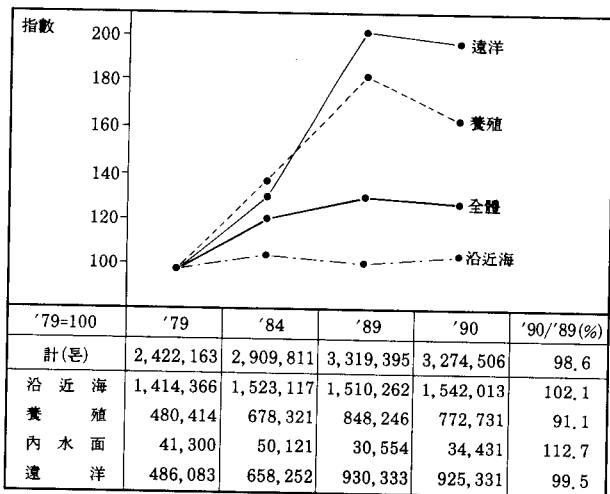
內水面漁業은 漢江漁撈禁止, 洛東江河口漁場喪失, 豪雨被害 등의 減産에도 불구하고 稚魚放養, 養殖場 施設擴大 등에 힘입어 전년 31千톤보다 12.7%가 增加한 35千톤을 生産하였다.

遠洋漁業은 참치漁業 및 공치漁業 등의 好調에도 불구하고 오징어漁業의 不振으로 前年 930千톤보다 0.5%가 減少한 925千톤을 生産하였다.

魚種別로는 쥐치·멸치·조기·강달이·젓새우·병어·양미리·아귀·노가리 동족·키조개·다시마·파래·항어·민물돔 등은 生産이 增加하였으나, 고등어, 명태, 대구, 밴댕이, 방어, 준치, 학꽂치, 가오리, 망둥이, 굴, 바지락, 피조개, 김, 미꾸리 등은 生産이 減少하였다.

〈表 30〉

漁業別 生産推移



資料：農林水産部 農林水産統計年報

## 2. 沿近海漁業

'90年度 沿近海漁業 生産量은 1,542,013톤으로 우리나라 水産物 總生産量 3,274,506톤의 47.1%를 차지하였다.

海漁況을 살펴보면 東海岸에서는 寒流弱勢로 冷水性魚種인 명태는 來 游量이 減少되어 生産이 不振하였으나 暖流性魚種인 오징어는 夏季以後 形成된 水溫前線 緣邊의 魚群密集으로 生産好調을 보였다.

南海岸에서는 멀치는 接岸來游量增加, 쥐치는 南海岸 中·底層의 水溫 前線綠邊에 密集漁場을 形成하여 生産이 順調로왔으나 고등어·정어리는 表層暖流 擴散으로 인한 魚群分散으로 生産이 低調하였다.

西海岸에서는 西海 南部海域의 冷水帶持續에 따른 魚群分散으로 갑오징어 生産이 低調하였으나 조기는 西海冷水 擴張發達로 濟州道西方側에서 暖流間에 水溫 前線을 形成 하여 生産이 順調로왔다.

業種別로는 쥐치·오징어·강달이·조기·노가리·꽁치·갈치·키조개·양미리 등을 主對象으로 하는 大型트롤漁業, 東海區트롤漁業, 채낚기漁業, 魷鱈網漁業, 流刺網漁業, 潛水器漁業, 共同漁業 등은 生産이 增加하였으나, 고등어, 정어리, 학꽁치, 방어, 새조개, 피조개등을 主對象으로 하는 大型旋網漁業, 桁網漁業, 定置網漁業 등은 生産이 減少되었다.

#### 가. 大型旋網漁業

大型旋網漁業은 沿近海漁業중 가장 규모가 크며 70~150톤급 漁船으로 東中國海, 濟州道, 對馬島를 連結하는 海域에서 정어리, 고등어, 쥐치, 전갱이 등을 주로 漁獲하는 漁業이다.

生産量은 每年 增加趨勢에 있으나 '90년 生産量은 春季表層暖流 擴散에 따른 고등어, 정어리 魚群의 分散과 秋季水溫下降遲延에 따른 南下回游遲延등으로 인하여 前年 415,603톤보다 13.6%가 減少한 358,993톤을 生産하였다.

#### 나. 大型機船底引網漁業

大型機船底引網漁業은 1척으로 操業하는 외끌이와 2척으로 操業하는 쌍끌이로 구분되고 漁船의 규모는 50~170톤급으로서 西·南海와 東中國海에서 갈치, 조기, 가자미, 쥐치 등을 漁獲하고 있으며, 生産量은 '78年

度以後 每年 20萬톤을 上廻하고 있다.

‘90년에는 南海岸 中·底層海域에서 寒·暖流間 水溫前線이 發達하여 長期間 持續됨으로써 쥐치가 好況을 보여 前年 239,723톤보다 19.9%가 增加한 287,516톤을 生産하였다.

#### 다. 中型機船底引網漁業

中型機船底引網漁業은 20~80톤급 漁船으로 東海일원에서 명태, 대구, 새우류 등을 對象으로 하는 東海區機船底引網漁業과 西·南海에서 쥐치, 가자미, 갈치, 꽃게, 갑오징어 등을 漁獲對象으로 하는 西·南區機船底引網漁業으로 區分되고 있다.

生産量은 ‘77年以後 減少趨勢에 있으나 ‘90年度 生産量은 명태의 減産에도 불구하고 노가리의 大幅의인 生産增加로 前年 37,245톤에 비해 6.8%가 增加된 39,781톤을 生産하였다.

#### 라. 近海채낚기漁業

近海채낚기漁業은 10~100톤급 漁船으로 오징어를 漁獲對象으로 하고 있으며 漁場은 魚群의 北上時期에 따라 東·西·南 全海域에서 形成되는데 南海는 濟州道~對馬島間 海域을 中心으로 12월부터 翌年5월까지, 西海는 格列飛列島를 中心으로 7~11월까지, 東海는 鬱陵島近海 및 大和堆 近海에서 6-12월에 漁場이 形成된다. 오징어는 1年生으로 海況與件에 따라 不規則的인 生産을 보이고 있다.

‘90년에는 夏季以後 沿岸側 및 大和堆周邊海域에 水溫前線發達로 인한 魚群密集으로 ‘68年度以後 最高의 오징어 好況을 보여 前年度 45,987톤에 비해 10.9%가 增加된 51,012톤을 生産하였다.

다. 鮫鱧網漁業

鮫鱧網漁業은 10~100톤급 漁船으로 西海 및 東中國海域에서 갈치, 조기, 병어, 갑오징어, 꽃게 등을 漁獲對象으로 하고 있다.

生産量은 每年 20萬톤을 生産하고 있으나 最近 多少 生産量이 減少되고 있는 趨勢이다.

'90년에는 조기, 갈치 등의 生産順調로 前年 233,329톤보다 4.6%가 增加한 244,022톤을 生産하였다.

바. 機船船引網漁業 (權現網) 漁業

機船船引網漁業은 沿岸漁業중 規模가 가장 큰 業種으로 50톤급 未滿의 漁船으로 南海岸에서 멸치를 漁獲하고 있다.

멸치는 沿岸回游性 魚種으로 海況의 影響을 크게 받기 때문에 生産量은 海況與件에 따라 增減現象을 나타내고 있다.

'90년에는 暖流勢力強勢로 인한 멸치好況에도 불구하고 業界에서 魚價維持를 위한 漁獲調節로 前年 88,114톤에 비해 2.2%가 減少한 86,154톤을 生産하였다.

사. 流刺網漁業

流刺網漁業은 東·西·南 全海域에서 조기, 멸치, 콩치, 명태, 꽃게 등을 漁獲對象으로 하고 있다. '80年代 이후 每年 10萬톤을 生産하고 있으나, 最近 生産量은 다소 減少하는 傾向을 보이고 있다.

'90年度 生産量은 조기, 꽃게 등의 好況으로 前年 85,622톤보다 22.0%가 增加한 104,473톤을 生産하였다.

아. 共同漁業

共同漁業은 일정한 水面을 專用하여 貝類, 海藻類 등 定着性 水産動植物을 採捕하는 第1種共同漁業과 地引網, 船引網, 焚奇抄網, 鳶網 등을 使用하는 第2種 共同漁業, 囊長網, 海선망, 柱木網 등을 使用하는 第3種 共同漁業이 있다. '90年度 生産量은 漁民들의 積極的인 生産管理로 前年 122,294톤보다 14.1%가 增加한 139,507톤을 生産하였다.

<表 31> 沿近海漁業 業種別 生産推移

單位 : 톤

區分	'79	'84	'89	'90	'90/'89(%)
計	1,412,289	1,521,615	1,510,262	1,542,013	102.1
大型 旋網	186,656	349,325	415,603	358,993	86.4
大型 機底	225,146	237,986	239,723	287,516	119.9
中型 機底	68,064	66,905	37,245	39,781	106.8
近海채낚기	20,613	29,604	45,987	51,012	110.9
鮫 鱈 網	251,224	279,559	233,329	244,022	104.6
船 引 網	137,126	101,564	88,114	86,154	97.8
流 刺 網	99,531	101,673	85,622	104,473	122.0
共同 漁業	129,389	132,560	122,294	139,507	114.1
其 他	294,405	222,439	242,345	230,555	95.1

資料 : 農林水産部 農林水産統計年報

3. 養殖漁業

淺海養殖漁業 生産은 埋立·干拓으로 인한 沿岸漁場 縮小와 廢水 및 油類 汚染 擴散, 異常氣候 등 環境惡化로 '88年度 以後 減少趨勢에 이

으며, '90年度에도 西·南海岸의 김, 굴, 피조개, 홍합, 고막 등의 作況不振 및 被害發生으로 生産計劃의 80%인 773千톤을 生産하여 4,199億원의 生産高를 올렸다.

#### 가. 魚類 養殖

'83年以後 政府의 積極的인 開發育成 및 養殖品種 多樣化로 生産이 繼續 增加趨勢에 있다. '90年度 生産量은 2,656千톤으로서 生産品種은 넙치, 방어, 돔, 농어, 조피불락, 능성어, 송어, 복어 등이다.

#### 나. 貝類 養殖

굴, 피조개, 홍합, 고막, 바지락 등의 斃死 및 生産不振으로 '89年에 비해 27톤이 減少된 326千톤을 生産하였다.

品種別로는 굴이 219千톤으로 貝類生産量의 67.2%를 차지하고 있으며, 바지락, 피조개, 고막류, 홍합 등이 主宗을 이루고 있다.

#### 다. 海藻類 養殖

海藻類 養殖은 김과 미역이 主宗으로서 '90年度에는 異常暖冬으로 인한 김 養殖生産 不振으로 '89年보다 42千톤이 減少된 412千톤을 生産하였다.

김·미역 養殖 爲主에서 툇, 다시마, 파래, 모자반 등의 養殖技術 開發로 海藻類 養殖도 漸次 多樣化되고 있다.

#### 라. 其他 水産動物 養殖

其他 水産動物 養殖은 우렁쉥이, 새우가 主宗이나 우렁쉥이의 生産不振으로 '89年度 對比 4千톤이 減産된 33千톤을 生産하였다.



<表 32>

養殖漁業 品種別 生産推移

單位：톤

		'79	'84	'89	'90	'90/'89(%)
計		480,414	678,321	846,979	772,731	91
魚 類		62	331	2,661	2,656	100
貝 類	小 計	284,565	282,588	353,175	325,592	92
	굴	157,591	203,312	249,956	219,124	90
	홍합	86,509	25,041	7,925	9,759	123
	피조개	1,548	23,109	16,947	17,758	105
	주요패류	35,896	27,889	76,582	73,058	95
	기 타	3,021	3,327	1,765	5,893	334
海 藻 類	小 計	195,662	383,661	454,069	411,869	91
	미역	143,305	230,188	280,856	269,333	96
	김	43,787	136,484	140,088	97,637	69
	다시마	5,192	7,927	2,617	8,084	309
	기 타	3,378	9,062	30,508	36,815	121
其他水産動物		125	11,741	37,074	32,614	88

資料：農林水産部 農林水産統計年報

註：(1) 主要貝類는 고막, 바지락, 가무락

(2) 其他水産動物은 우렁쟁이, 새우, 꽃게 등

#### 4. 內水面 漁業

’90年 內水面漁業 生産은 前年 31千톤보다 3千톤이 增加된 34千톤을 生産하였다.

이 중 漁撈漁業의 生産量은 ’87年 以後 干拓·埋立等으로 인한 漁場環境 與件變化에 따라 多少 減少 趨勢를 나타내고 있으나, 反面에 養殖漁

〈表 33〉 內水面漁業 品種別 生産推移

單位 : 톤

	’79	’84	’89	’90	’90/’89(%)
計	41,300	50,121	30,554	34,431	113
漁 撈	39,882	48,645	18,958	18,594	98
잉 어	1,882	2,839	1,567	1,573	100
붕 어	6,858	12,949	6,802	6,109	90
미꾸리	3,858	3,285	1,117	903	81
뱀장어	491	495	181	131	72
가물치	713	752	452	508	112
메기	924	1,196	344	413	120
송어	447	748	139	192	138
피라미	-	-	2,090	2,229	107
패류(재첩등)	19,234	16,682	2,063	2,052	99
其他	5,475	9,699	4,203	4,484	107
養殖	1,418	1,476	11,596	15,837	137
잉 어	209	448	1,181	1,300	110
향 어	-	-	6,119	9,478	155
송 어	9	150	1,257	1,529	122
뱀장어	200	448	1,047	1,146	109
가물치	82	124	351	446	127
민물돔	-	-	334	650	195
其他	918	306	1,307	1,288	99

資料 : 農林水産部 農林水産統計年報

註 : 피라미는 ’84以前까지 其他에 包含

業 生産은 每年 增加趨勢로서 '90年度에도 16千톤을 生産하여 前年對比 37% 增加現象을 나타냈는데, 이는 持續的인 養魚技術開發 및 優良 種苗生産과 養魚場 施設增加로 인하여, 향어, 송어, 뱀장어, 민물고기 등 高級魚種의 量産體制가 確立되었다고 할 수 있겠다.

## 5. 遠洋漁業

沿岸國의 資源 自國化政策에 따른 規制強化로 生産活動에 많은 制約을 받고 있어 '90년에는 참치旋網漁業 및 印度洋 트롤의 生産好調에도 불구하고 오징어 및 명태 漁獲이 不振하여 遠洋漁業은 前年對比 0.5%가 減少한 925千톤을 生産하였다.

### 가. 참치 漁業

참치 漁業은 延繩과 旋網漁業으로 나눌 수 있으며 延繩漁業은 날개다랭이를 주로 漁獲하여 통조림 原料로 供給하는 海外基地式 操業方法과 ندا랭이, 황다랭이를 주로 漁獲하여 횃감용으로 供給하는 國內基地式 操業方法으로 區分된다. 90년에는 276隻의 참치 延繩漁船이 出漁하여 70千톤을 漁獲, 前年對比 109% 水準이었다. 그리고 가다랭이를 主 對象으로 하는 旋網漁船은 39隻이 出漁하여 前年の 150% 水準인 173千톤을 漁獲하여 輸出 및 內需통조림 原料로 供給하였다.

### 나. 오징어 漁業

오징어 漁業은 流刺網과 채낚기 漁業으로 區分되는데 '90年度 流刺網 漁業은 北太平洋에 142隻이 出漁하여 98千톤을 漁獲하였고 채낚기 漁船은 南西大西洋 및 뉴질랜드 漁場에 出漁하여 89千톤을 어획하였다.

한편 오징어는 南西大西洋 및 뉴질랜드 水域 등에 出漁한 트롤어선에  
서 畵획으로 42千톤이 漁獲되어 遠洋오징어 總生産量은 229千톤으로  
全量이 國內消費되었다.

南西大西洋 漁場은 英國 政府의 오징어 資源 管理政策에 따라 保存水  
域 入漁 隻數가 30隻으로 '89年 27隻에 비해 3隻이 늘었으나 入漁時期  
를 3月1日에서 5月10日까지로 短縮하였으며 채낚기漁船 49隻과 트롤漁  
船 18隻이 出漁하여 總 67隻이 操業하였다.

한편 뉴질랜드 水域의 政府쿼타는 終熄되어 個別 入漁 方式으로 오징  
어채낚기 漁船의 경우 許可船 37隻이 出漁하여 8千톤을 漁獲하였으며  
14隻의 트롤漁船에서 混獲으로 漁獲된 오징어가 8千톤으로 總 16千톤  
을 漁獲하였다.

#### 다. 트롤漁獲

트롤漁業은 遠洋漁業중 比重이 가장 큰 業種으로서 遠洋生産量의  
52%를 차지하고 있는 代表의인 業種이다.

이 중 北洋트롤漁業은 명태, 가자미類를 主 對象으로 하고 있으며 美  
國의 直接 漁獲쿼타량이 '88年度부터 終熄되었고, 公海上 操業도 多少  
低調하여 前年對比 87% 水準인 312千톤을 生産하였다.

한편 '87.5.1부터 輸入으로 分類되고 있는 韓·美 共同漁業事業은 美  
國의 資源自國化政策 推進으로 操業物量이 계속 減少하여 25千톤을 生  
産하였으며, 蘇聯水域은 '77.3月 200海里 宣布로 蘇聯水域操業이 中斷되  
었으나, '89년부터 韓·蘇 共同漁業事業을 推進하여 61千톤을 生産하였다.

海外基地 트롤漁業은 拉斯팔마스 基地를 中心으로 中西部 大西洋 및  
北西·南西大西洋 漁場과 뉴질랜드 漁場 및 인도네시아, 中東 등에서  
162千톤을 漁獲하였으며 새우트롤漁業은 中南美의 수리남과 中東의 사

우디 漁場에서 1,836톤을 漁獲하여 全量을 輸出하였다.

〈表 34〉 遠洋漁業 業種別 生産 推移

單位：톤

	'79	'84	'89	'90	90/89(%)
計	490,367	658,252	930,333	925,331	99.5
참 치 延 繩	121,793	65,476	64,213	69,524	108
참 치 旋 網	-	14,183	115,754	173,343	150
오징어 채낚기	-	5,949	120,854	88,693	73
오징어 流刺網	-	42,977	112,223	98,441	88
北 洋 트 물	244,488	449,805	362,099	312,218	86
基 地 트 물	96,331	71,755	149,142	161,650	108
새 우 트 물	2,261	4,952	1,786	1,836	103
其 他	25,494	3,155	4,262	19,626	460

資料：水産廳 遠洋生産擔當室

## 第 4 節 水産物 輸出入

### 1. 輸 出

'90年 水産物 輸出은 前年에 비해 10.1% 減少한 1,637百萬\$을 達成하였다. 이와같이 輸出이 減少한 主要原因으로는 主 輸出 對象魚種인 붕장어, 명태, 고등어, 굴, 피조개, 새조개 등 主要 연근해 魚貝類生産減少에 따른 輸出物量의 減少와 國內 內需價格 및 貨金上昇 등으로 輸出採

産性が惡化되었으며, 遠洋魚類는 主輸出市場인 日本國의 참치 在庫累増에 따른 輸出單價의 下落에 基因된 것으로 分析된다.

<表 35> 水産物 輸出 推移

單位 : 百萬 \$

	'79	'84	'89	'90	'90/'89(%)
總 輸 出	15,055	29,245	62,377	65,016	104.2
水 産 物	936	955	1,821	1,637	89.9
構成比(%)	6.2	3.3	2.9	2.5	

資料 : 水産廳 貿易課.

가. 品目別 實績

品目別 輸出實績을 살펴보면 活鮮魚의 경우는 主要 對日地域 輸出魚 種인 방어, 붕장어, 피조개, 꽃게 등의 生産減少 및 價格上昇 등으로 輸出

<表 36> 品目別 輸出實績

單位 : 千 \$

	'79	'84	'89	'90	'90/'89(%)
計	935,994	955,232	1,821,183	1,636,669	89.9
水 産 物	855,539	877,518	1,690,375	1,513,094	89.5
活 鮮 魚	119,126	152,032	391,081	328,349	84.0
冷 凍 品	123,479	124,359	251,953	205,698	81.6
海藻鹽辛品	60,075	82,549	167,076	156,050	93.4
명 조 립	25,940	60,727	114,399	85,064	74.4
其他水産物	70,410	103,877	225,910	266,668	118.0
遠洋魚類	456,509	353,974	539,956	471,265	87.3
漁 網	80,455	77,714	130,808	123,575	94.5

資料 : 水産廳 貿易課

이不振하여 前年보다 16.0% 減少한 391百萬\$을 輸出하였으며, 冷凍品은 명태, 봉장어, 정어리 및 굴, 바지락등 主要 貝類 養殖生産量 減少 및 賃金引上등에 따른 採算性惡化로 輸出競爭力이 弱화되어 前年對比 18.4%가 減少된 252百萬\$을 輸出하였다.

<表 37>

主要 魚種別 輸出實績

單位：千\$

魚種別	'88	'89	'90	'90/'89(%)
참치	289,184	333,705	294,794	88.3
피조개	152,494	105,317	81,859	77.7
봉장어	74,542	89,148	69,765	78.3
조미오징어	73,018	38,139	42,434	111.3
삼치	62,016	27,883	30,080	107.9
취치포	59,541	32,084	39,336	122.6
바지락	57,624	54,583	47,133	86.4
원양명란	55,313	38,820	26,544	68.4
굴통조림	46,183	51,128	33,771	66.1
새조개	39,897	33,985	17,189	50.6
간미역	38,431	52,060	51,783	99.5
꽃게	34,240	34,808	27,404	78.7
원양필레트	32,189	27,380	15,659	57.2
가자미	32,077	18,913	18,770	99.2
굴	32,035	29,182	24,536	84.1
패주(貝柱)	29,140	28,090	30,496	108.6
패주(貝柱)	22,829	14,522	20,131	138.6
갑오징어	20,197	28,767	10,818	37.6
뱀장어	20,121	9,792	3,321	33.9
복어	17,561	10,131	10,319	101.9
전갱이	14,523	4,933	5,606	113.6
청어알젓	14,259	13,026	11,555	88.7
오징어	11,919	6,548	9,976	152.0
갯지렁이	11,730	14,703	21,697	147.6
멸치	6,487	4,866	7,104	146.0
연어통조림	6,415	4,672	2,647	56.7

資料：水産廳 貿易課.

또한, 海藻鹽辛品은 간미역, 마른미역 등이 對日地域에 輸出好調를 보였으나 청어알, 고등어 등의 生産 減少에 따른 輸出不振으로 前年보다 6.6% 減少한 167百萬\$을 輸出하였고, 통조림은 主要品種인 굴, 바지락의 輸出單價는 下落된 반면, 原·副資材 價格 上昇, 貨金上昇 등으로 인한 輸出採算性的 惡化 등으로 輸出이 不振하여 25.6%가 減少한 114百萬\$을 輸出하였다.

其他水産物の 경우는 生선목, 조미취치포, 조미오징어, 갯지렁이 등이 好調를 보여 前年對比 18.0%가 增加한 267百萬\$을 達成하였으며, 특히 생선목(게맛) 加工製品에 대한 프랑스, 스페인등 西歐유럽 地域의 需要增加로 前年보다 크게 增加한 72.8%의 높은 輸出 伸張率을 보였다.

遠洋魚類에 있어서는 主要 輸出魚種인 참치류의 生産量 增加로 輸物量은 增加하였으나, 主市場인 日本國 在庫累増 및 횃감용 참치 魚價 下落에 따른 輸出單價 下落으로 前年보다 12.7% 減少한 471百萬\$을 輸出하였으며, 漁網類는 原·副資材 價格 및 貨金引上등 어려운 輸出與件으로 인하여 前年보다 5.6% 減少한 124百萬\$을 達成하였다.

#### 나. 國家別 實績

'90年 水産物 輸出對象國은 '89年의 76個國에서 1個國이 줄어든 75個國으로서 主要國別 輸出實績을 보면, 全體 輸出의 75.4%를 차지하는 日本은 참치, 봉장어, 꽃게, 피조개, 새조개 등의 輸出不振으로 인하여 前年보다 11.9%가 減少한 1,141百萬\$을 輸出하였으며, 미국도 필레트 및 굴통조림 輸出不振으로 22.9%가 減少하였다.

한편, 臺灣은 바지락, 냉동필레트 및 마른김 등의 輸出이 不振하여 前年보다 32.6%가 減少하였으나 태국은 遠洋産 냉동참치류의 輸出增加로



前년에 비하여 83.1%가 增加한 36百萬\$을 輸出했으며, 輸出順位도 '84年度 18位에서 '89年度 5位, '90年度에는 4位로 每年 급격히 伸張하여 새로운 輸出市場으로 부상하고 있으며, 스페인, 프랑스는 생선류 加工製品的의 需要增加에 따른 輸出好調로 각각 7.1%, 29.3%가 增加하였다.

<表 38>

國家別 輸出實績

單位：千\$

	'79	'84	'89	'90	'90/'89(%)
計	935,994	955,232	1,821,183	1,636,669	89.9
일 본	612,315	663,106	1,302,702	1,147,339	88.1
미 국	103,669	123,825	195,389	150,620	77.1
스 페 인	40,024	25,620	38,026	40,721	107.1
타일란드	1,099	1,250	19,782	36,220	183.1
프 랑 스	6,493	3,766	23,513	30,392	129.3
싱 가 폴	8,734	10,273	13,450	14,123	105.0
대 만	12,680	5,464	18,864	12,721	67.4
호 주	4,322	9,961	18,566	12,601	67.9
카 나 다	8,502	10,308	18,518	11,573	62.5
사 우 디 아라비아	9,717	11,274	4,779	3,656	76.5
기 타	136,031	95,401	210,889	243,315	

資料：水産廳 貿易課

註：漁網 輸出 實績이 包含됨

## 2. 輸 入

’90年度 水産物 輸入實績은 368百萬\$로 ’89년에 비해 14.4%가 增加하였다. 이와같이 輸入이 增加한 原因은 輸出用 原資材에 있어서 物量은 1.3%가 增加한 反面, 輸入單價 上昇등으로 金額面에서는 前年對比 18.1%가 增加하였다. 그러나, 共同漁業事業 漁獲物은 韓·美共同事業 縮小에 따라 前年對比 61.1%의 減少를 나타나게 되었다. 또한 新漁場 開發 擴大에 따른 合作漁獲物 輸入額은 222.9% 增加와 觀光用 食資材도 國民食生活의 高級化 등에 의하여 輸入額이 106.9% 增加하였고, 其他 內需用 輸入은 一部 輸入自由化 魚種의 輸入增加要因 등

<表 39>

水産物 輸入實績

單位 : 千\$

			’88	’89	’90	’90/’89(%)
計	物量		345,732	320,399	285,934	89.2
	金額		291,646	321,610	368,095	114.4
輸出用原資材	物量		111,765	95,153	96,356	101.3
	金額		134,909	142,729	168,623	118.1
內需用	共同漁業事業 漁獲物	物量	190,896	144,319	56,098	38.9
		金額	84,992	114,613	63,006	55.0
	合作 漁獲物	物量	8,764	8,888	21,930	246.7
		金額	7,402	8,563	27,650	322.9
	觀光用 食資材	物量	-	-	-	-
		金額	3,018	2,133	4,413	206.9
其他 內需用	物量	34,307	72,039	111,550	154.8	
	金額	61,325	53,572	104,403	194.9	

資料 : 水産廳 貿易課

註 : 物量은 製品 物量임

으로 物量이 54.8%, 金額이 94.9% 增加, 이 中에는 觀賞用 魚類가 1,184千\$로서 149% 增加, 魚類의 油脂等 非食用 水産物이 61千톤으로 22.8%가 增加하였다.

## 第 5 節 水産物 需給 및 價格

### 1. 需 給

'90年度の 水産物 總供給量은 3,931千톤으로 前年에 비해 0.2%가 増加하였다. 供給部門에서는 生産과 輸入이 前年보다 1.3%, 5.9%가 各各 減少하였으나 冷凍鮮魚類의 在庫量은 38.7%가 増加하였다. 需要 部門에서는 輸出이 前年보다 다소 鈍化되어 5.5%가 減少하였으며 移越 量을 除外하면 國內 消費量은 2.3%가 増加하였다. 이에 따라 國民 1 人當 年間 水産物 消費量은 前年보다 0.1kg 減少한 35.9kg으로 推定되 며 이 중 魚貝類가 30.2kg, 海藻類는 5.7kg을 消費한 것으로 나타났다

<表 40> 水産物 需給 動向

單位 : 千噸

		'80	'85	'89	'90	'90/'89(%)
供 給	生 産	2,410	3,103	3,319	3,275	98.7
	輸 入	41	91	404	380	94.1
	前年在庫	68	85	199	276	138.7
計		2,519	3,279	3,922	3,931	100.2
需 要	國內消費	1,746	2,318	2,526	2,583	102.3
	輸 出	696	867	1,120	1,058	94.5
	次年移越	77	94	276	290	105.1
1人當 消費(kg)		27.0	37.2	36.0	35.9	99.7
- 魚 貝 類		22.5	30.7	29.3	30.2	103.1
- 海 藻 類		4.5	6.5	6.7	5.7	85.1

資料 : 水産廳 漁政課, 韓國農村經濟研究院 "食品需給表"

註 : 1人當 消費量은 純食品基準임 ('90年은 推定値)

다. 한편 韓國農村經濟研究院에서 分析한 '89년의 國民 1日 1人當 水産物의 動物性 蛋白質 供給量은 14.81g으로 動物性 蛋白質 總供給量 30.67g의 48.3%를 차지하였으며 輸出의 減少로 內需 供給量이 增大되어 '88년에 비해 供給 比重이 多少 높아졌다.

〈表 41〉 動物性 蛋白質 供給 推移

單位 : g/1人, 1日

	'79	'84	'87	'88	'89	'89/'88(%)
計	20.24	29.16	30.72	29.16	30.67	105.2
畜産物	9.24	11.31	14.81	15.89	15.86	99.8
魚貝類	11.00	17.85	15.91	13.27	14.81	111.6
(占有比, %)	(54.3)	(61.2)	(51.8)	(45.5)	(48.3)	

資料 : 韓國農村經濟研究院 食品需給表(1989)

## 2. 消 費

國民 所得水準向上으로 食生活패턴이 營養과 疾病豫防인 健康食 爲主로 變化되어 가고 있다. 이러한 趨勢에 따라 水産物에는 各種의 營養素가 골고루 含有되어 있고 특히 核酸과 不飽和脂肪酸 含量이 높아 健康食으로 認識됨으로써 每年 消費가 增加되고 있으며 消費性向도 從來의 鮮魚·副食에서 卽席·便利, 高次加工食品으로 變化되어 가고 있다. 이에 따라 '90年度에 國內에서 生産된 水産物중 加工用으로 利用된 原料量은 別表에서 보는 바와 같이 1,912千톤으로 全沿近海漁獲量 2,349千톤의 82%에 達하였고 그 중 冷凍品, 魚肉煉製品 및 海藻製品加工에 많이 利用되었다.

<表 42>

水産物 利用 動向

單位：千噸

	'79	'84	'89	'90	'90/'89(%)
○ 漁獲量	1,936	2,252	2,389	2,349	98
- 鮮魚用	1,150	889	613	437	71
- 加工用	786(41%)	1,363(61%)	1,776(74%)	1,912(82%)	108
・ 乾製品	167	173	127	111	87
・ 冷凍品	197	389	676	593	88
・ 惣조림	79	140	142	110	77
・ 煉製品	11	180	251	282	112
・ 鹽辛藏品	32	8	26	21	81
・ 海藻製品	185	257	362	489	135
・ 其他	115	218	192	306	159

資料：水産廳 製造課

註：1. 遠洋漁獲物은 除外, 2. 原料魚 基準임.

### 3. 價 格

'90年度末의 水産食品 都賣物價는 前年末에 비해 18.6% 上昇하여 總都賣物價 上昇率을 크게 상회하였다. 이처럼 價格이 크게 上昇한 理由는 고등어, 굴, 김, 미역등 沿近海 主要 魚種과 遠洋産 오징어등의 生産 不振으로 水産物 生産이 '89년에 비해 減少한데 그 原因이 있으며, 部類別로는 鮮魚介類, 海藻類의 價格이 크게 올랐다.

한편 水産食品 消費者 物價는 前年末에 비해 6.4% 올라 總消費者 物價 上昇率 9.4%에 비해 크게 安定勢를 보였는데 조기, 멸치의 生産 好調에 따른 큰 幅의 魚價 下落과 需給管理의 強化, 輸出 鈍化의 영향

등으로 近年에 들어 가장 낮은 오름세를 시현하였다.

〈表 43〉 水産物 都賣 物價 動向

單位 : %

	'86	'87	'88	'89	'90
總都賣物價	-2.6	2.7	2.3	1.1	7.4
水産食品	22.5	1.8	16.9	18.2	18.6
- 鮮魚介類	32.2	-2.3	19.4	21.2	21.6
- 鹽乾魚類	0.1	-5.2	44.7	4.7	-5.1
- 海藻類	-18.8	48.7	-15.1	4.8	10.1

資料 : 韓國銀行

註 : 前年末 對比 騰落率임.

〈表 44〉 水産物 消費者 物價 動向

單位 : %

	'86	'87	'88	'89	'90
總消費者物價	2.8	6.1	7.2	5.1	9.4
水産食品	11.1	11.2	13.5	8.9	6.4
- 鮮魚介類	16.8	13.7	15.4	9.2	9.7
- 鹽乾魚類	17.0	13.7	15.4	9.2	-2.8
- 海藻類	-14.1	32.1	-3.5	11.4	7.2

資料 : 統計廳

註 : 前年末對比 騰落率임.

## 第 6 節 漁場環境

### 1. 海 況

'90年度 우리나라 沿近海의 海況을 海域別, 隔月別로 平年海況과 比較하여 보면, 2月의 東海岸은 北韓寒流가 平年比 弱勢로 南下하여 注文

津 以北 沿岸海域의 0m層에서 10°C이하의 冷水로 停滯하고 있는 반면, 東韓暖流는 平年比 強勢로 北上함과 더불어 冬季水溫의 下降遲延 등으로 0, 50m層에서 1~4°C 高溫相이었으며, 寒流와 暖流間의 水溫 前線은 장기갑以北 海域의 100m層에서 沿岸을 따라 7°C 等溫線을 中心으로 南北 方向으로 發達하였다.

南海岸은 平年에 比하여 南海岸沿岸水가 弱하게 發達한 반면, 大韓暖流는 強하게 持續하여 0, 50m層에서 南海中部 海域의 一部沿岸域을 除外하고는 1~3°C 高溫相이었으며, 沿岸水와 暖流間의 水溫前線은 50m層에서 濟州海峽과 大韓海峽間에 13°C 等溫線을 中心으로 形成되었다.

西海岸은 鉛直混合에 의해 上·下層 均一한 水溫 分布이나, 水溫의 下降遲延 등에 의해 平年에 比하여 0, 50m層 모두 1~4°C 高溫相이었다.

4月의 東海岸은 東韓暖流가 強하게 持續하여 0m層은 全海域이 1~4°C 高溫相, 50m層은 沿岸 一部海域을 除外한 大部分의 海域이 1~8°C 高溫相을 보였다. 한편, 北韓寒流는 平年比 弱勢로서 100m 以深層에 5°C以下로 장기갑 附近 沿岸海域까지 南下 分布하였고, 50m層의 丑山 沿岸과 注文津 以北 沿岸域에 5°C以下의 低水溫域을 形成하였다. 寒流와 暖流間의 水溫前線은 50m 以深層에서 장기갑 沿岸까지 接岸 形成하였다.

南海岸은 大韓暖流가 平年比 強하게 接岸하고 있는 반면 南海岸沿岸水는 弱勢로서 0, 50m層의 中部 一部海域을 除外한 大部分의 海域이 平年比 1~2°C 高溫相이었다. 또한, 鉛直水溫은 여전히 均一한 分布이며, 沿岸水와 暖流間의 水溫前線은 濟州道 北方에서 對馬島 南部海域에 걸쳐 弱하게 形成되었다.

西海岸은 黃海冷水가 弱勢였고, 冬季까지 強勢로 持續하였던 黃海暖



流는 濟州道 西方側 30m層에서 強勢를 보였으나, 表層에서는 弱勢를 보여 0m層은 濟州道 西方海域을 除外한 大部分의 海域이 1~3℃, 50m層은 全海域에서 1~2℃ 高溫相이었다. 그리고 黃海冷水와 黃海暖流間의 水溫前線은 12℃를 中心으로 小黑山島~濟州道間 海域에 分布하였다.

6月の 東海岸은 東韓暖流가 平年比 强하게 北上하고 있는 반면에 北韓寒流도 沿岸側으로 平年比 强하게 南下하여 0, 50m層에서 沿岸 및 一部外海域을 除外한 大部分의 海域이 1~6℃ 高溫相을 보였다. 따라서 水溫前線도 장기갑 沿岸까지 南北方向으로 20m 以深層에서 稠密하게 形成되었다. 한편, 沿岸海域에는 水深 20m層을 中心으로 强한 水溫躍層이 形成되었다.

南海岸은 大韓暖流가 弱勢로 接岸하여 0m層에서는 大部分 海域이 平年比 1~3℃ 低溫相이었으나, 50m層에서는 大部分의 海域이 1℃ 内外의 高溫相이었다. 水溫前線은 濟州道~對馬島의 外海域에 比較的 强하게 形成되었다.

西海岸은 黃海暖類가 弱勢로서 平년에 比하여 0m層은 大部分의 海域이 1~3℃ 低溫相이었으며, 50m層에서는 黃海底層冷水가 比較的 弱하게 形成되어 一部海域을 除外한 大部分의 海域이 1~2℃ 高溫相이었다. 한편, 黑山島 近海域의 表層에서 周邊海域에 比하여 2~3℃ 낮은 低水溫域이 形成되었으며, 水溫前線은 小黑山島~濟州道間 海域에 弱하게 分布하였다.

8月の 東海岸은 東韓暖流가 强하게 北上하고, 또한 强한 太陽輻射熱에 의한 水溫上昇으로 0m層은 全海域이 平年比 2~5℃의 高溫相을 보였다. 한편, 北韓寒流는 沿岸側으로 墨湖沿岸까지 水深 20m의 水溫躍層以深層으로 南下하여 50m層에서는 墨湖以北 近海를 除外한 大部分

海域이 1~7℃ 高溫相이었다. 따라서 水溫前線은 30m 以深層에서 北東 方向으로 稠密하게 分布하였고, 水溫躍層은 全海域에서 0~20m層에 強하게 形成되었다.

南海岸은 大韓暖流가 平年比 強하게 接岸 流過하여 0m層은 全海域이 1~4℃의 高溫相을 보였으나, 10~30m層에 強하게 形成된 水溫躍層의 以深層인 50m層에서는 大部分의 海域이 1~3℃ 低溫相이었다. 水溫前線은 濟州道~對馬島間 海域의 10m 以深層에 強하게 形成되었으며, 특히 濟州道 東南方 外海域에서는 30℃ 以上の 異常溫度 現狀을 보였다.

西海岸은 黃海暖流가 平年比 強勢였으며 일사량 증가에 따른 水溫上昇으로 0m層은 1~3℃ 高溫相 이었으나, 珍島 및 黑山島 周邊海域은 潮汐混合에 의한 22℃ 以下の 低溫水가 分布하였다. 한편, 10~30m層의 水溫躍層 以深層에서는 黃海底層冷水가 南下 擴張하여 50m層에서는 中部 一部海域을 除外한 大部分의 海域이 1~4℃ 低溫相이었다.

10月の 東海岸은 東韓暖流가 平年比 強勢로 持續하였고, 北韓寒流는 弱勢이나 75m 以深層에서 10℃ 以下の 冷水가 沿岸에 近接 南下하여 장기갑 近海域까지 擴張하였으며, 울릉도 北西方 外海域에도 分布하였다. 따라서 0m層은 全海域이 1~4℃ 高溫相이었으나, 50m層은 울릉도 北西方 및 장기갑 近海域을 除外한 大部分의 海域이 1~8℃ 高溫相이었다. 한편 水溫前線은 30m層 부터 沿岸을 따라 南北方向으로 稠密하게 形成되어 200m層까지 外海側으로 멀어지면시 形成 發達하였다. 水溫躍層은 沿岸側이 30~75m層에 形成하였고 外海側으로 갈수록 깊어져 200m層까지 形成하였다.

南海岸은 濟州道 東方海域은 大韓暖流 勢力이 平年보다 強하게 接岸하여 0, 50m層 모두 濟州道 北·西方海域을 除外한 海域에서 1~7℃ 高溫相이었다.

水溫前線은 濟州道 ~ 大韓海峽間의 沿岸側에 比較的 弱하게 形成되었고 水溫躍層은 50~75m層에 形成되었다.

西海岸은 黃海暖流 勢力이 平年比 弱勢인 반면, 黃海底層冷水 勢力이 平年比 強勢로 持續하고 있어 0, 50m層의 大部分 海域이 平年比 1~5℃ 低溫相이었다. 水溫前線은 濟州道 ~ 大韓海峽間의 沿岸側에 比較的 弱하게 形成되었으며 水溫躍層은 대체로 30~50m層 사이에 形成하였다.

12月の 東海岸은 東韓暖流가 平年에 比하여 表層에서 強勢로 持續하고 있어 大部分 海域이 1~4℃ 高溫相을 보이고 있으며, 北韓寒流는 平年比 弱勢이나 75m 以深層에서 10℃ 以下의 冷水가 中部 外海域에서 丑山, 浦項沿岸까지 南北方向으로 넓게 分布하여 울릉도 周邊까지 影響을 주고 있어 장기갑에서 울릉도間 海域에는 13℃, 그리고 竹邊에서 北方 外海側으로 10℃를 中心으로 한 水溫前線이 發達하였다. 따라서 50m層은 中部外海域이 1~8℃ 低溫相이었다. 水溫躍層은 대체로 沿岸側이 水深 75~100m層에 形成되었고 外海側은 水深 150~200m層 사이에 形成되었으나 竹邊 外海域(60~100마일)에는 周邊海域에 비해 低溫水가 上昇 分布하여 30~50m層에 水溫躍層이 形成되었다.

南海岸은 大韓暖流 勢力이 平年에 比하여 全般的으로 強勢로 持續하고 있어 0, 50m層의 大部分 海域이 平年比 1~4℃ 高溫相이었다. 水溫前線은 濟州道~大韓海峽間에 18℃를 中心으로 比較的 稠密하게 分布하였으며, 水溫躍層은 거의 消滅段階이었다.

## 2. 漁 況

### 가. 東海岸

東海岸의 主要漁業은 명태(刺網, 延繩)漁業, 풍치流刺網漁業, 오징어

낚시漁業, 機船底引網漁業 등으로서, 海況의 變化에 따라 魚種別 漁場 形成 특징을 나타내었다. 명태어업은 1~3월과 11~12월에 중심어장이 형성되었으며, 4~6월과 9~12월에는 꽁치유자망어업이 봄철과 가을철로 구분되어 漁場이 형성되었다. 6月 以後 12月까지는 오징어채낚기어업의 漁場이 이루어졌으며, 機船底引網漁業은 季節에 따라 다소의 차이는 있었으나, 年中 操業이 이루어졌다.

1990年 명태의 漁獲量은 總 9,798톤으로 前年度 62%, 平年比 60%으로서 不振하였고, 꽁치는 5,341톤으로서 前年比 159%인 近年에 들어 가장 좋은 漁況을 나타내었으며, 오징어채낚기어업도 前年比 129%, 平年比 186%로 좋은 漁況을 나타내었다. 機船底引網漁業은 前年에 比해서는 173%로 좋았으나, 最近 5個年에 比해서는 77%로서 낮은 수준이었다.

#### 나. 南海岸

南海岸에서는 멸치刺網, 機船權現網, 焚寄抄網, 大型旋網, 大型트롤어업 등에 의하여 操業이 이루어졌으며, 멸치, 고등어, 정어리, 전갱이, 말리치 등의 漁獲量이 많았다. 멸치자망어업은 3~6월과 9~12월에, 機船權現網漁業은 7~12월에 걸쳐 主漁場이 形成되었으며, 大型旋網은 季節別로 主 對象魚種을 달리하였으나, 周年 漁場이 形成되었다. 멸치를 주로 漁獲하는 刺網, 焚寄抄網, 權現網漁業의 漁況은 前年 및 平년에 比하여 大폭적인 增加를 나타내었고, 大型旋網漁業은 主 對象魚種인 고등어, 정어리 등의 不振으로 前年比 78%, 平年比 89% 水準에 머물렀다. 한편 말리치를 주로 漁獲하는 大型트롤어업은 前年比 118%, 平年比 114%로서 비교적 좋은 漁況을 보였다.

#### 다. 黃海 및 東中國海

黃海 및 東中國海에서는 오징어채낚기, 近海鮫鱈網, 近海流刺網, 機船底引網 등에 의해서 주로 漁獲이 이루어졌다. 오징어채낚기어업은 6~12月, 近海鮫鱈網漁業과 近海流刺網漁業, 機船底引網漁業 등은 여름철에는 漁獲量이 多少 적었으나 周年漁場이 形成되었다. 1990년 黃海의 오징어채낚기어업은 前年比 9%, 平年比 35% 水準으로서 不振하였으나, 近海鮫鱈網漁業은 前年比 102%, 平年比 90% 水準이었다.

近海流刺網(조기)漁業은 前年比 70%, 平年比 77%로서 不振하였고 機船底引網漁業은 前年比 109%, 平年比 98% 水準이었다.

### 3. 資源動向

#### 가. 沿近海

沿近海漁業의 總漁獲量은 1960年 以後 1974년까지는 순조로운 增加를 거듭하였으나 그 후 增加率이 鈍化되기 시작하여 1981年 以後에는 一定한 水準에 머물고 있으며, 單位努力當 漁獲量은 1974年 以後 繼續적인 減少傾向을 보이고 있다.

主要 魚種에 대한 漁獲狀況을 보면, 쥐치류의 漁獲量은 前년에 비하여 45% 增加된 230千톤으로서 沿近海 魚種別 漁獲量중 가장 많았으며, 그 다음은 멸치(168千톤), 정어리(133千톤) 갈치(104千톤), 고등어(97千톤)順으로서 이들 5個 魚種이 沿近海漁業 生産量의 약 48%를 차지하고 있다.

한편, 生物學的 要因과 資源密度指數 變動의 推移 등 資源力學的인 諸要因에 의하여 分析한 沿近海 主要 魚種別 資源動向을 要約하면 정어리는 增加趨勢에 있었으며, 말쥐치, 멸치 등은 비교적 平衡을 維持하고

있으며, 참조기, 참돔 등 大部分의 底棲魚類와 전갱이, 콩치 등의 資源 狀態는 낮은 水準에 있다.

## 나. 遠洋

### (1) 遠洋漁業 全體的인 動向

우리나라의 遠洋漁業은 '57년에 印度洋에서 다랭이 延繩漁業의 試驗 操業 이래 '70年代初 政府의 經濟政策에 따른 遠洋漁業 獎勵와 水産業 界의 呼應으로 급격히 신장하여 '76年 72.4萬톤을 漁獲하여 遠洋漁業 生産의 第1次 全盛期를 맞이하였다. '70年代 중반이후 油類波動 및 沿岸國의 排他的인 200海里 水域의 宣布로 우리나라 遠洋漁業은 '70年 후반부터 '80年代初까지 操業活動에 막대한 制限을 받게 되어 停滯期 ('80年 45.8萬톤)에 이르게 되었으나 이와같은 어려운 國際漁業環境에 도 불구하고 '80年代 中반기 이후부터는 政府 및 民間의 水産外交, 遠洋漁業振興政策, 3低現象, 國際共同管理의 對處와 科學的 漁場探查 및 操業技術의 指導教育 등에 힘입어 '86年以後 遠洋漁業의 새로운 全盛期를 맞게 되어 '90년에는 92.5萬톤을 漁獲하였다.

### (2) 主對象 魚種別 資源動向

#### (가) 다랭이類 資源

##### ○ 世界漁獲量

世界다랭이類 및 새치類의 漁獲量은 '75年 205萬톤에서 계속 增加하여 '88년에 378萬톤을 漁獲하였다. 이들은 大洋別로 보면 太平洋에서는 '72年 115萬톤에서 '88년에 246萬톤으로, 印度洋에서는 '72年 24萬톤에서 '88年 77萬톤으로, 大西洋에서는 '60年代 35萬톤에서 增加

하여 '82年 62萬톤으로 最高 記錄을 보인 以後 減少하여 '88年에 55萬톤을 漁獲하였다.

#### ○ 韓國의 漁獲量

우리나라 遠洋다랭이類 漁業은 '57年 첫 試驗操業을 시도하여 '62年 5隻이 出漁操業함으로써 실질적인 資源利用에 들어갔다. 年度別 生産量을 보면 '64年 2,600톤에서 每年 增加하여 '70년에는 71千톤으로 급격한 신장을 보였고 그 以後繼續 增加하여 '77年 171千톤으로 最大漁獲을 보였으나 '78年以後 每年 減少하여 '84年에 80千톤으로 가장 낮은 水準을 보였다. '85년부터 西部太平洋의 旋網漁業의 發達로 다시 增加하여 '90年 243千톤으로 最高值를 記錄하였다. 大洋別 漁獲量을 보면 太平洋, 印度洋, 大西洋 順이며 太平洋은 '76年 69千톤에서 '84年 40千톤으로 減少하였으나 '85年以後 旋網漁業의 發達로 漁獲量이 급격히 增加하여 '90年 218千톤을 漁獲하였다. 印度洋에서는 '78年 71千톤으로 最高水準을 보인 후 減少하여 '84年에 25千톤을 漁獲하였으며 '85年以後 다시 增加하여 '88年 34千톤을 漁獲하였으나 '90年에 21千톤으로 다시 減少하였다. 大西洋에서는 1975年에 47千톤으로 最高 漁獲量을 보인 後 出漁隻數의 減少와 더불어 漁獲量이 減少하여 '90年에 4千톤을 漁獲하였다.

#### ○ 資源狀態

延繩 및 旋網漁業 對象인 다랭이類의 資源狀態를 보면 황다랭이는 大西洋과 太平洋에서 現在의 漁獲量이 最大持續的 生産量 水準에 이르고 있으며 資源狀態는 安定된 傾向을 維持하고 있다. 한편 印度洋 황다랭이는 最近 프랑스와 스페인의 旋網船團의 進出로 漁獲量 增加를 나타내고 있으며 現在는 旋網對象 利用資源으로 바뀌어 졌다. 눈다랭이는 全大洋에서 安定된 資源水準을 이루고 있으며 가다랭이는 3大洋에서 資源

評價 分析에 필요한 資料가 不足하여 資源診斷이 어려운 것으로 알려져 있지만 아직 開發의 餘地가 큰 것으로 推定되고 있다. 새치類와 小型다랭이類의 資源은 評價되지 않고 있으나 小型다랭이類는 沿岸國들의 利用이 상당히 높은 것으로 推定되고 있다.

〈表 45〉 大洋別 다랭이 資源評價

單位：千톤

		大 西 洋	印 度 洋	太 平 洋
황다랭이	漁獲量	155	179	590
	M.S.Y	117(東部)	-	150~265(東部)
	資源狀態	安定	安定	安定
가다랭이	漁獲量	119	206	891
	M.S.Y	-	-	-
	資源狀態	減少徵候없음	旋網增大	開發可能
눈다랭이	漁獲量	60	52	109
	M.S.Y	67~75	40~56	-
	資源狀態	安定	安定	安定
새치류	漁獲量	낮은水準	左同	左同

資料：大西洋다랭이保存委員會, 全美熱帶다랭이委員會, 印度太平洋다랭이 開發 및 管理計劃

註：M.S.Y은 最大持續의 生産量

(나) 베링公海의 명태漁業資源

베링公海에서 韓國트름漁業의 명태漁獲量은 '85년에 26隻이 出漁하여 66,600톤을 漁獲하였으며 以後 每年 出漁隻數의 增加와 함께 漁獲量



이 增加하여 '89년에는 41隻이 出漁 342,300톤의 最大 漁獲을 보였고, '90년에는 '89년에 비해 29% 減少한 244,000톤을 漁獲하였다. 베링公海에 있어서의 韓國, 中國, 日本, 폴란드 및 蘇聯에 의한 漁獲量은 '85年 336,300톤에서 급격히 增加하여 '88년에 147萬톤, '89년에 145萬톤으로 東部베링해(美國經濟水域)의 명태漁獲量을 增加하고 있으며 베링海 全體 海域의 명태 總漁獲量의 約 37~38%를 차지하였다.

<表 46> 베링海 명태 漁獲量

單位：千噸

海域	'85	'86	'87	'88	'89	'90
計	2,177.1	3,096.7	3,380.8	3,951.7	3,794.6	-
베링海 公海	336.3	1,069.3	1,439.3	1,470.7	1,447.6	-
韓 國	82.4	164.0	231.0	268.6	342.3	244
日 本	136.5	698.0	803.5	750.0	654.9	495
폴 란 드	115.8	163.2	230.3	298.7	268.6	223
중 國	1.6	3.1	16.5	18.4	31.1	27
소 련	-	41.0	158.0	135.0	150.7	-
동부베링海 (미국경제수역)	1,178.8	1,189.4	1,253.5	1,228.0	1,386.0	-
서부베링해 (소련경제수역)	662	838	688	1,253	961	-

資料：베링海 명태資源評價 國際硏究(1991)

註：'90年 外國操業國의 漁獲資料에 대한 情報 없음

### (다) 오징어類 資源

#### ○ 北太平洋 魷魚오징어 資源

우리나라의 北太平洋 魷魚오징어 漁業은 1979年 2隻의 試驗操業으로 시작하여 '83년부터 漁船과 漁獲量이 급격히 增加하여 '90年 142隻이 出漁하여 99千톤을 漁獲하였다. 北太平洋 魷魚오징어 漁場은 일본의 流刺網漁船 約 500隻 臺灣의 流刺網漁船 約 100隻 漁船 등이 共同으로 利用하고 있으며 이들 3國의 魷魚오징어 漁獲量은 年間 約 33萬톤에 달한다. 魷魚오징어 資源은 충분히 開發된 狀態이며 3國(韓國, 日本, 臺灣)의 操業船 및 努力量이 增加하여 最近 漁獲量은 增加하였으나 豊度(幅當漁獲量)는 海況의 影響을 받아 年해는 높고 年해는 낮은 2年 주기 的 振動을 보이고 있다.

#### ○ 포클랜드近海 알젠티오징어 資源

우리나라의 알젠티오징어對象 채낚기漁業은 포클랜드 및 알젠티近海의 經濟水域과 公海에서 '84년부터 操業을 始作하여 '86年 以後 漁獲量이 급격히 增加하여 '90年 81千톤을 漁獲하였다. 또한 우리나라 채낚기 漁船에 의한 資源豊度(싱글釣上機 1臺當 漁獲量)는 '86年 76kg에서 '89年 150kg으로 增加 傾向을 보였으나 '90년에는 126kg으로 약간 減少하였다.

#### ○ 뉴질랜드 웰링톤오징어 資源

뉴질랜드近海 오징어를 對象으로 우리나라 채낚기漁業은 1982年 부터 出漁하기 始作하였으며 漁獲時期는 12月에서 翌年 5月까지로 '82/83漁期에는 約 500톤을 漁獲하였다. '88/89漁期에는 約 6,500톤의 最大漁獲을 보였고 '88/90 漁期에 비해 約 15% 減少했다. 單位努力當漁獲量(싱글釣上機 1臺)은 '84/85漁期과 '89/90漁期가 30kg以下였으며 그의 漁期는 40kg以上 이었으며 '88/89漁期에는 75.5kg으로

가장 높은 값을 보였다.

#### 4. 沿岸漁場 環境變化

臨海工團, 都市의 開發과 國土의 外延의 擴大를 위한 埋立·干拓 등으로 沿岸漁場이 縮小되고 汚染物質의 바다 流入量이 增加되어 馬山灣, 光陽灣, 蔚山灣, 仁川沿岸 水域의 水質이 汚染되는 傾向을 보였으며, 油類汚染事故도 248件이 發生, 12,103D/M의 기름이 바다로 流出되어 '89年의 200件 1,840D/M 流出에 比하여 油類汚染 事故가 大型化되는 傾向을 나타내었다.

한편, 南海岸 一圓의 赤潮發生 狀況은 馬山灣에서 最初로 *Heterocapsa* 赤潮가 發生한 이래 6, 7월에 들어서는 馬山灣을 위시한 古縣灣 等地에서 *Prorocentrum dentatum* 赤潮가 發生하였고, 특히 7월에는 거의 全 鎭海灣 一圓에서 赤潮가 發生, 年中 가장 큰 勢力으로 나타났다. 8, 9월에는 局部的인 海域에서 *Skeletonema* 등 矽藻類 赤潮가 發生, 10月 初期에 完全히 消滅되었다.

'90年의 鎭海灣 赤潮現象의 特徵은 우리나라에서 最初로 *Prorocentrum dentatum*에 의한 赤潮가 7月初에 나타났다는 事實이며, '90.7.9~10.17까지 赤潮注意報를 發令하였고, 赤潮速報도 通報하여 赤潮에 의한 漁業被害 豫防에 寄與하였다.

**여백**

第 2 編

1990年度 水産施策

**여백**

# 第 1 章 水産資源의 造成과 保護

## 第 1 節 水産資源 造成

### 1. 人工魚礁施設

人工魚礁는 水産資源의 産卵, 棲息에 適合한 環境을 造成, 水産資源

〈表 47〉

市·道別 人工魚礁 施設實績

單位：헥타, 百萬원

	計		'71 ~ '89		'90	
	面 積	金 額	面 積	金 額	面 積	金 額
計	54,390	73,554	46,298	60,673	8,092	12,881
釜 山	471	651	295	389	176	262
京 畿	1,125	1,967	732	1,204	393	763
江 原	8,445	11,052	7,380	9,367	1,065	1,685
忠 南	2,101	2,951	1,608	2,102	493	849
全 北	1,865	2,636	1,488	1,933	377	703
全 南	11,040	15,442	9,410	12,884	1,630	2,558
慶 北	9,037	12,348	7,914	10,361	1,123	1,987
慶 南	13,633	17,939	11,903	15,468	1,730	2,471
濟 州	6,673	8,568	5,568	6,965	1,105	1,603

資料：水産廳 資源造成課

을 增强시키는 것은 물론 小型機船底引網등의 不法操業을 防止하여 水産資源을 保護하는 效果가 있어 '71년부터 沿岸水域 10~50m 水深의 開發適地에 施設하고 있으며 '90년에는 12,881百萬원을 投資, 8,092헥타에 施設하였다.

## 2. 種苗生産放流

沿岸水産資源의 增强을 위한 放流 및 養殖用種苗를 安定的으로 供給하고자 '73년부터 '89년까지 水産種苗培養場 10個所를 完工한데 이어 '90年度에는 東海岸地域 特性品種의 種苗를 大量生産하기 위하여 慶北

<表 48>

水産種苗培養場 現況

單位 : 百萬元, 千마리

	施設年度	施設費	主要生産種苗	生産實績	
				'76~'89	'90
計		13,464		108,674	38,665
北濟州	'73	425	전복, 참돔, 소라	8,851	3,809
注文津	'78	303	전복, 우렁쉥이	11,079	280
麗川	'79	350	전복, 돔, 꽃게	11,847	6,101
迎日	'80	292	전복, 우렁쉥이	7,890	328
巨濟	'82	711	전복, 우렁쉥이, 넙치	49,823	15,488
莞島	'84	975	전복, 우렁쉥이, 돔	12,547	580
保寧	'85	959	전복, 조피볼락, 대하	6,142	6,500
扶安	'86	955	전복, 조피볼락, 대하	395	935
南濟州	'87	974	돔, 넙치	100	3,270
南海	'88~'89	3,275	어류, 갑각류, 패류等	-	1,374
蔚珍(施工中)	'90~'92	4,245	어류, 갑각류, 패류等	-	-

資料 : 國立水産振興院



蔚珍에 大規模種苗培養場 1個所를 新設코자 敷地를 買入하고 設計를 完了한 바 있다.

國立水産振興院에서는 '90년에 전복 2,153千마리, 브리새우 및 대하 11,200千마리, 참돔 669千마리, 꽃게 750千마리, 넙치, 조피볼락 328千마리 등 總 38,665千마리의 種苗를 生産, 漁村契와 民間 養殖場등에 分讓하거나 沿岸에 放流하였다.

또한 沿岸漁場 資源造成의 加速化와 資源造成의 民間 參與를 誘導하기 위하여 民間 種苗培養場에서 生産한 水産種苗를 '86년부터 買入, 沿岸에 放流하고 있으며, '90年度에는 151百萬원을 投資하여 꽃게, 우럭, 새우 등 2,425萬마리를 買入, 放流하였다.

〈表 49〉 民間種苗 買入放流實績

單位：萬마리, 百萬원

	'86~'89		'90	
	物 量	金 額	物 量	金 額
計	2,496	405	2,425	151
꽃 게	218	68	30	11
우 렵	329	244	36	29
새 우	1,949	93	2,359	111

資料：水産廳 資源造成課

대구 人工受精卵 放流事業은 '81년부터 主要産卵場인 慶南 鎮海灣에서 慶南道 主管下에 實施하였지만 '87년부터는 水産業協同組合中央會에서 對漁民還元事業으로 實施하고 있으며, '90년에는 30百萬원을 投資하여 494百萬알의 受精卵을 放流하였다.

〈表 50〉

대구 人工受精卵放流実績

單位：百萬알, 百萬원

	計	'81~'88	'89	'90
放 流 量	15,657	14,537	626	494
金 額	578	517	31	30

資料：水産廳 資源造成課

## 第 2 節 養殖漁業 開發

### 1. 漁場開發

政府 支援事業과 地先漁民의 所得増大를 위한 漁村契 및 水協에 의한 漁場開發 等 不可避한 境遇外에는 原則的으로 新規開發漁場을 抑制하여 改正 水産業法에 의한 水面의 綜合的인 利用開發이 推進될 수 있도록 對備하였다.

고막, 가무라, 바지락 等과 같이 養殖技術이 普遍化된 品種은 多數漁民이 共同 參與하는 漁村契 所得源으로만 開發토록 하였고 魚類, 眞珠 조개 等과 같이 蓄積된 技術과 많은 資本을 必要로 하는 品種은 開發能力을 갖춘 漁民이 開發을 할 수 있도록 함으로써 漁場利用의 效率化와 養殖漁業의 均衡發展을 圖謀하였다.

그러나 김, 미역, 톳, 굴(垂下式), 피조개는 生産調節을 위하여 新規開發을 一切 抑制하고 生産性 및 品質向上에 注力하였다.

## 2. 生産基盤施設擴充

養殖漁場의 安定的 生産과 經營合理化를 위하여 種苗培養場, 飼料貯藏庫 등 養殖生産 基盤構築事業을 每年 政府에서 積極支援 推進하고 있으며, '90年度에도 900百萬원을 投資하여 魚類種苗培養場 3個所와 飼料貯藏庫 6個所 等 總 9個所를 施設하여 安定的 經營을 圖謀하였다.

〈表 51〉 養殖漁場生産基盤施設 支援實績

單位：百萬元

事業名	事業量	計	融 資	自 擔
計	9個所	900	720	180
魚類種苗培養場	3 "	300	240	60
飼料貯藏庫	6 "	600	480	120

\* 支援率：融資80%，自擔20%

資料：水産廳 增殖課

## 3. 漁場管理·指導

養殖漁場의 效率의인 管理를 위하여 全養殖漁業權에 대하여 年 1回 以上 精密 實態調査를 實施하여 密殖, 漁場過占, 他人支配, 任意品種變更 等 不實管理 漁業權은 關係法規에 따라 整備 措置하는 한편, 水産廳 또는 市·道主管 關係機關 合同指導團束을 實施하여 無免許, 不法漁業 強力團束으로 漁場秩序를 確立하여 나가고 있다.

또한, 漁場性을 勘案한 適正施設 管理指導와 함께 主要養殖品種 主産團地에 대한 漁場豫察을 強化하여 被害 事前豫防 等 安定生産 管理토록 하고 있다.

### 第 3 節 内水面漁業 開発

#### 1. 資源造成

遊休 大單位内水面等に 稚魚를 放養하여 良質의 淡水魚를 増産하고 遊漁 環境을 造成하기 위하여 404百萬圓을 들여 잉어, 떡붕어, 향어, 송어 등의 稚魚 21.5百萬마리(體長 5~7cm)를 昭陽湖, 衣岩湖, 狹川湖에 각각 放養하였다.

이를 魚種別로 보면 잉어, 떡붕어는 10百萬마리를, 향어는 7.4百萬마리, 송어 4.1百萬마리를 放養하였으며, 水面別로는 昭陽湖에 송어 4.1百萬마리, 衣岩湖에 잉어, 떡붕어, 향어 6.7百萬마리, 狹川湖에 잉어, 떡붕어, 향어 10.7百萬마리를 放養하여 内水面資源을 造成하였다.

<表 52>

内水面 稚魚放養實績

單位：百萬마리, 百萬圓

	'70~'89		'90	
	物 量	金 額	數 量	金 額
計	695	7,393	21.5	404
○ 잉어, 떡붕어	624.4	5,966	10.0	150
○ 향어	43.6	658	7.4	129
○ 송어	27	769	4.1	125

資料：水産廳 資源造成課

## 2. 內水面 潛在力 調査

'70年 潛在力調査 以後 漁場의 施設과 댐湖等 大單位水面的 造成等 으로 우리나라 內水面的 與件은 많은 變化를 가져왔다. 따라서 既存 生態系 및 內水面 利用等 諸般與件 變化에 따른 科學的인 基礎資料를 蒐集하여 效率的이고 計劃的인 利用方案을 樹立, 內水面開發을 推進코자 國立水産振興院 主管으로 2個年('89~'90)에 걸쳐 現地調査를 實施하였고 調査範圍는 댐湖, 貯水池, 江, 河川等 全內水面을 對象으로 內水面的 基礎環境, 棲息生物 狀態, 水面的 利用實態, 生産狀況, 生産潛在力, 水質汚染 與否, 其他 關聯與件等を 調査하여 이를 整理分析 完了後 內水面潛在力調査 報告書를 發刊에 있다.

## 3. 技術開發 및 消費促進

內水面 試驗研究 機能을 活性化하기 위하여 國立水産振興院 傘下 3個 內水面研究所 京畿, 江原, 忠北, 忠南, 全北, 全南, 慶北, 慶南道 內水面開發試驗場에서 地域特性에 알맞는 養魚技術을 開發 普及하고 있다. 또한 全國의 均衡있는 內水面開發을 위하여 7億원(國庫50%지원)을 投入, 江原道 內水面開發試驗場을 與件이 좋은 春城郡(現在 三陟郡)으로 移轉 現代式 施設을 갖춘 試驗場을 保有하게 되었다.

그리고 限定된 內水面的 生産性 提高와 經濟性 魚種에 對한 養魚 技術 開發을 爲하여 高密度 循環濾過式 養魚 技術 開發과 슈피송어, 틸라피아 遺傳育種等的 定着化를 爲한 種苗生産 및 養魚技術을 開發에 있다.

한편 淡水魚는 水産物食糧化 및 漁民所得 增大를 爲한 量産體制를 確

立하였고 國民所得의 增加로 嗜好度가 높은 活魚狀態의 需要가 漸増됨에 따라 消費가 擴大되고 있으며, 韓國 內水面漁業協會의 淡水魚直賣場 設置 運營, 料理法開發, 講習會 및 展示會等 弘報活動을 實施, 持續的으로 淡水魚 消費促進을 推進하고 있다.

#### 4. 연어 人工孵化 放流

政府에서는 江原(三陟), 慶北(江口)에 道立內水面 開發試驗場을 設置하여 '67년부터 人工孵化 放流를 實施하여 왔으며, 이를 더욱 擴大하기 위하여 江原 襄陽 南大川邊에 大規模 襄陽 內水面 研究所(國立水産振興院)를 '84年度에 施設하였다.

연어는 자신이 태어난 河川으로 다시 찾아오는 母川回歸性을 利用하여 얕은 河川으로 올라오는 것을 손쉽게 잡을 수 있으므로 漁獲經費가 적게 들어 零細漁民들에게는 아주 좋은 所得源이며, 연어의 需給에 있어서도 現在는 國內資源이 不足하여 外國으로부터 輸入하고 있어 연어 資源을 持續的으로 造成하여 東海岸의 主産魚種으로 生産함으로써 外貨節約 및 農漁民 所得增大를 기할 수 있도록 연어 人工孵化 放流事業을 擴大 推進하고 있다.

<表 53> 연어 放流 및 採捕 實績

	計	'67~'88	'89	'90	'90/'89(%)
放流量	62,683 千마리	43,355	9,028	10,300	114
採捕量	107,027 마리	55,945	21,540	29,542	137

資料 : 水産廳 資源造成課

### 第 4 節 沿岸漁場保全管理

#### 1. 淸淨海域 및 保全水域 管理

'72. 11. 24 締結된 韓·美貝類衛生協定과 輸出用貝類의 生産管理 및 加工品 檢査에 關한 規則과 關聯하여 指定된 淸淨海域(輸出用貝類 生産 海域)은 巨濟-閑山灣, 紫蘭-蛇梁海域, 山陽海域, 駕莫灣海域 等 4個所 에 21千ha 指定되어 있으며, 國土利用管理法에 依據 水産動植物의 産卵, 棲息環境을 保護하고 水産資源을 育成하기 위하여 指定된 水産資源 保全地域은 現在 全國에 29個所가 있으며, 이 中 海面에는 淺水灣, 靈光, 莞島, 得糧灣, 汝自灣, 駕莫灣, 南海·統營 I, II, 閑山灣, 鎮東灣 等 10個所에 413千ha가 指定되어 있다.

이들 海域은 水産資源의 安定的 保護育成을 위하여 매우 重要한 海域 으로서 淸淨海域에 對하여는 161個 調査地點을 選定, 海水 및 貝類에 對한 細菌含量 等 衛生調査를 實施하는 한편, 水産資源保全地域에 對하여는 140個調査地點을 選定, 一般水質汚染度 및 重金屬汚染調査를 實

〈表 54〉 淸淨海域 指定現況

指 定 番 號	海 域 名	面 積	最 初 指 定 日
計	4 個 所	20,614ha	
第 1 號	巨濟-閑山灣	2,121	'74. 7. 5
第 2 號	紫蘭-蛇梁海域	9,492	'84. 5. 23
第 3 號	山陽 海 域	4,425	'87. 11. 25
第 4 號	駕 莫 灣	4,576	'87. 11. 25

資料 : 水産廳 增殖課

施하여 水質保全管理을 위한 基礎資料로 活用토록 하였다. 또한, 이들 海域 및 그 周邊에 對하여는 家畜放牧, 工場設置 等を 禁止토록 하고, 公有水面 埋立, 浚渫行爲를 強力히 抑制하는 한편 海洋汚染의 根本的인 原因이 되고 있는 工場廢水 및 生活下水, 糞尿, 廢棄物 等 各種 汚染物質의 海洋流入 防止를 위하여 環境處 主管 關係部處合同의 沿岸汚染防止 綜合對策을 樹立, 各種汚染物質 淨化處理施設을 擴充하고 汚染物質의 海洋投棄行爲를 強力히 規制團束해 나가는 등 關聯部處와의 緊密한 協調下에 淸淨海域 및 水産資源保全地域의 水質保全管理에 徹底를 기해 나가고 있다.

## 2. 漁場環境淨化

沿岸漁場의 各種 病害 및 汚染被害를 豫防하고 漁場生産性を 提高하기 위하여 '86년부터 始作한 漁場環境淨化事業은 老化된 漁場의 底質을 改善하고 海底에 放置된 各種 廢棄物을 收去하는 한편 불가사리 等 害敵生物도 除去하여 沿岸漁場의 環境改善 및 生産力增大에 크게 寄與하고 있을뿐만 아니라, 沿岸漁場保全管理에 對한 漁民認識 提高에도 크게 寄與하고 있어, '86년부터 '89년까지 國費 911百萬원을 支援, 沿岸漁場 47千ha를 淨化한데 이어 '90년에는 國費 487百萬원을 支援, 13千ha의 全國 主要沿岸漁場에 對하여 漁場底質改善 및 放置된 廢棄物을 收去, 害敵生物除去 等 漁場環境淨化事業을 實施하였다.

## 3. 赤潮被害 豫防

主로 여름철 高水溫期에 沿岸海域에서 頻頻하게 發生하는 赤潮로부터 有用 水産動植物의 被害豫防을 위하여 沿岸汚染防止 綜合對策의 一環으



로서, 赤潮發生防止 및 被害豫防對策을 樹立, 仁川, 木浦, 麗水, 忠武沿岸과 鎮海灣一圓 等 赤潮多發海域에 61個 調查地點을 選定, 赤潮生物分布 및 赤潮發生環境 等を 調査하는 한편 赤潮發生이 憂慮되는 海域에는 漁村指導公務員의 常駐配置와 漁民 赤潮監視員 指定으로 赤潮發生情報를 蒐集하고 水產振興院 試驗船의 調査 및 關係機關 合同 航空監視도 實施하여 迅速하고 正確한 赤潮豫報를 實施토록 하였다.

또한, 京畿·仁川, 全南, 慶南 等 3個地域에 대하여는 赤潮對策委員會를 構成하여 關聯機關, 團體間 協調體制強化로 赤潮發生防止 및 被害豫防에 徹底를 期하였다.

## 第 5 節 漁業秩序確立 및 安全操業指導

### 1. 漁業秩序確立

'80年代以後 沿近海漁業의 伸張率이 顯著히 鈍化되고 一部 沿近海資源의 減少 및 濫獲現象이 두드러지게 나타나고 있는 바, 이는 沿近海漁業의 外延漁場 擴大 制限, 隣接國과의 操業競爭 深化, 大單位 메립·干拓 및 水質汚染등에 의한 沿岸 漁場의 縮小와 漁場環境의 變化에도 原因이 있으나, 一部漁民에 의한 不法漁業이 根絶되지 않고 있음에도 그 原因이 있어, 漁民들의 自律的인 漁業秩序確立를 誘導하고, 不法漁業豫防 및 再發防止를 위해 改正된 水產業法에 無許可漁業에 對한 罰則을 大幅 強化하였고, 특히 産卵·성육기인 5월과 10월을 全國一齊 團束期間으로 設定하여 關係機關(檢察·海警)의 協調下에 小型機船底引網, 中型트롤과 같은 상습적이고 痼疾的인 不法漁業을 優先的으로 團束하였으

며, 아울러 有許可 漁船의 許可事項 違反漁船도 集中 團束하여 漁業秩序 確立에 寄與하였다.

이에 따라 漁民들의 不法漁業 自制로 '90年の 團束實績은 前年보다 362件이 減少한 2,862件으로 海域別로는 南海岸이, 1,862件으로 65.1%를 차지하고 있으며, 東海 및 西海는 34.9%인 1,000件으로 나타났다.

漁業別로는 機船底引網과 機船桁網이 1,430件으로 50.0%를 차지하고 있다.

또한 이와같은 指導團束 強化와 團束方法의 改善만으로는 不法漁業이 根絶될 수 없음을 勘案, 指導團束 機能 및 裝備를 補強하기 위하여 全國 沿岸 市·郡에 指導團束 專擔係 32個所를 增設하였으며, 小型快速艇 45隻을 建造 配置하여 團束活動의 圓滑을 기하도록 하였다.

<表 55> 漁業指導船 現況

所 屬	計	톤 급 별			
		10~49	50~150	300~500	1,300
	59隻	29	21	7	2
水 産 廳	14隻	1	4	7	2
市 · 道	45隻	28	17	-	-

資料 : 水産廳 指導課

<表 56> 不法漁業 團束實績

單位 : 件

	'79	'84	'89	'90
計	2,861	3,033	3,224	2,862
大·中型機底	44	55	112	104
小型機底	1,476	1,539	1,577	1,216
小機船桁網	412	451	218	110
潛船水器	61	146	95	120
漁船引網	13	16	28	48
流刺網	161	191	109	138
其他	694	635	1,085	1,126

資料 : 水産廳 指導課

## 2. 安全操業指導

海上에서의 安全操業指導를 위하여 東海大和堆 오징어 盛漁期(6.15~12.31), 黃海·東中國海 병어 盛漁期(3.1~7.31), 西海 흥어 盛漁期(10.1~다음해 4.30)에는 500톤급 以上 大型指導船을 配置하여 漁撈保護 및 操業紛爭 豫防指導를 기하고 특히 遠海漁場에는 1,300톤급의 福祉母船을 出動시켜 操業漁船에 油類, 얼음, 機關附屬品 등의 船用品을 供給하고 應急患者에 대한 治療도 實施하였다.

특히 '89.9.8 合意된 韓·美 流刺網漁業 規制에 관한 合意事項 履行을 위하여 처음으로 北太平洋 漁場에 1,300톤급 福祉母船 2隻이 130日間 出動하였으며, 同 福祉母船은 現場에서 우리 漁船들에 대한 安全操業指導와 患者診療는 물론 合意事項에 따른 遡河性 魚族 採捕防止, 漁網目 規制事項 履行指導 및 標識의 履行與否 確認등의 任務를 遂行하여 韓·美間 漁業問題의 圓滑한 推進에 크게 寄與하였다.

沿近海 出漁船의 安全操業을 위하여 全國 主要港口 39個所에 所在하고 있는 船舶出入港 申告機關인 統制所 및 合同申告所에 水協의 漁船 安全點檢要員 96명을 配置하여 出漁船에 대한 出漁登錄, 漁船團 編成을 指導하고 無電機, 海圖등 重要 航海裝備과 各種 具備書類를 確認 點檢함으로써 漁船이 航海 또는 操業中에 發生할지 모르는 各種 海難事故 및 越線 被拉事故를 미연에 방지토록 指導하고 있으며 東·西海漁撈保護本部에 乘船指導員 各10명을 配置하여 操業 現場에서의 安全操業 指導를 遂行하였다.

船員의 安全操業을 위하여 地區別 또는 業種別水協 주관으로 船主, 船長, 機關長, 通信長等 92,624명을 對象으로 政府施策, 職務技術 및 安全操業에 관하여 教育을 實施하였고, 盛漁期 出漁時에는 特別教育을 實施하였다.

### 3. 操業水域 擴張 및 期間延長

沿近海 漁民의 所得增大과 效率의인 漁撈保護를 위하여 漁場擴大, 操業時期延長, 出漁範圍 擴大 등을 骨子로 한 沿近海漁船의 安全操業을 위한 規制事項(水産廳 告示)을 改正하여 '90.10.1부터 施行하였다. 그 內容을 보면 東海大和堆 오징어 漁場의 북쪽 操業自制線을 北緯 40도에 서 北緯 42도로 120마일 北上 擴大함으로써 沿近海漁民의 오랜 宿願事項을 解決하였고, 西海 大靑島 漁民의 操業期間도 3~12월에서 年中 操業할 수 있도록 함으로써 大靑島 漁民의 要求事項을 受容하였다.

또한, 颱風注意報가 내렸을 때 15톤未滿 漁船에 대하여는 出漁를 禁止하여 왔으나 現地 氣象으로 보아 出入港申告所長이 出漁가 可能하다고 判斷할 때에는 5톤以上 漁船에 한하여 全國 沿岸의 內灣이나 島嶼 周圍에 出漁를 許容토록 調整하였다.

### 4. 漁業無線局 運營

沿近海 出漁船의 操業狀況을 每日 確認하고 漁業氣象豫報, 主要 委販場의 魚種別 委販時勢 및 海·漁況 放送을 實施함으로써 海上에서의 安全操業指導와 漁民 所得增大에 重點을 두고 漁業無線局을 運營하였다.

한편, 漁業無線局 職員으로 하여금 漁船의 通信裝備 4,597臺를 無料 修理 奉仕하였으며, 小型無電機(27MHz帶 SSB) 設置漁船에 對한 竣工檢査(914局)를 手數料를 받지 않고 檢査하여 줌으로써, 1,300餘萬圓의 漁民負擔을 줄였고, 또한 漁民 25,838名에 對하여 緊急報告要領等 漁船通信士 資質向上을 爲한 通信教育을 實施하였다.

漁業無線局의 運營 效率을 높이기 爲하여 交信加入漁船이 10餘隻에

不過하여 利用實績이 低調한 丑山, 浦項 簡易漁業無線局을 廢局시키고, 隣近에 있는 江口, 九龍浦 漁業無線局으로 統合 運營케 하였으며, 國庫 補助金 561百萬원을 支援, 巨津 無線測位局의 方向探知機를 新型 裝備로 代替하고 測位局 廳舍도 新型裝備 機能 發揮에 알맞는 場所에 옮겨 無線測位의 效率을 提高시키는 한편, 釜山 漁業無線局外 10個所의 通信 裝備 13臺를 交替 補強하였다.

## 第 2 章 沿近海漁業의 構造調整

### 第 1 節 漁業構造 調整

漁業構造調整은 沿近海漁業資源이 限界에 이르러 漁船勢力이 增大되어도 漁業總生産量은 150萬톤 水準에서 停滯되어 있고 漁船의 單位生産性的 低下와 漁業人口의 減少, 市場開放 등 漁業與件이 크게 변하고 있어 이에 效率的으로 對處함으로써 國民食糧資源인 水産物을 安定的으로 供給함은 물론, 漁業의 競爭力을 높이고 能率的인 産業으로 發展시키는 데 그 目的을 두고 推進하고 있다.

그 推進方向으로서 資源造成的 擴大, 기르는 漁業의 育成, 漁船裝備의 現代化 및 漁業專門人力 開發등 水産施策으로 既推進중인 事業은 繼續 推進하고 이와 並行하여 沿近海 漁業構造調整을 통한 資源水準에 適合한 漁船勢力을 維持할 수 있도록 囊長網등 細網을 使用하여 資源保護에 有害한 漁業, 漁獲强度가 큰 漁業, 不實漁業 등을 中心으로 漁船勢力을 減縮하는 반면, 漁業別 適正漁船勢力 範圍內에서 個別漁船은 競爭力과 經濟性이 保障되는 適正規模로 漁船代替建造를 誘導하고 人力減少에 對備한 漁業의 省力化를 積極 推進하고자 '90年度에는 漁業構造調整을 體系

的이고 꾸준하게 推進하기 위한 制度 마련에 力點을 두고 農漁村發展特別措置法에 漁業構造調整을 위한 支援根據을 마련하고 關聯 水產業法 및 附屬法令整備도 補完하는 한편, 關係部處 및 水產各界에 漁業構造調整의 必要性 등 認識을 擴散시키는 데 重點의인 努力을 傾注하였다.

## 第 2 節 漁業制度的 整備·補完

### 1. 水產業法 改正

우리나라 水產業은 그동안 對內外的인 어려운 與件속에도 꾸준히 努力하여 漁業生産에 있어 눈부신 發展을 이룩하였다.

그러나, 근년들어 新海洋秩序의 定着에 따른 遠洋漁業與件 不利와 埋立·干拓과 産業化 및 都市化의 進展에 따른 沿岸漁場 喪失과 漁場環境의 變化, 이에 따른 補償이 社會問題化되고 있고 漁具漁法の 發達과 漁船勢力的 增大에 따른 漁業實態와 資源의 變動, 市場開放에 따른 漁業競爭力問題 등 國內·外 漁業與件의 變化에 따라 直面하고 있는 當面課題가 산적하고 있어, 이에 能動的으로 對處하고 向後 漁業發展에 副應하기 위하여 새로운 制度의 發展이 要求되어 政府에서는 1984년부터 水產業法改正資料를 위한 基礎資料를 蒐集하여 '86년에는 漁民團體, 學界, 元老水產人 등 各界人士 및 專門家의 參與下에 改正資料에 대한 用役調査를 實施하고 '88년에는 同 調査結果를 基礎로한 改正試案에 대하여 8個市·道 및 中央公聽會를 開催하여 各界各層의 意見을 收斂하였으며 '89年度에는 그간의 檢討結果 및 收斂된 意見을 綜合하여 改正案에 反映, 關係部處와 協議를 거쳐 立法豫告를 實施, 最終의으로 政府案을

確定, 第150回 臨時國會('90.7.14)에서 審議 議決되어 '90.8.1.公布 하여 '91.2.2.부터 施行한 바 있다.

今番의 水産業法 改正에 있어 그 基本方向은,

- 現行 水産業法이 '53年 制定된 이래 12次에 걸쳐 部分的으로 改正 施行되고 있어 漁業與件의 變化에 따라 그간 施行過程에서 나타난 不合理한 要素와 制度上的 未備點을 現實에 맞게 改善하고,
- 漁業間的 調整, 資源管理 및 漁場利用制度의 改善으로 漁業部門間 漁民階層間的 均衡發展과 合理的인 資源利用을 圖謀하는 한편,
- 民主化, 地方化등 社會發展 趨勢에 맞추어 水産制度 및 施策運營에 있어 漁民의 參與를 擴大하는 등 水産調整委員會 機能을 劃期的으로 強化하여 漁業 民主化의 根本機構로 育成하고,
- 國際化 및 産業化등 經濟社會發展에 副應하여 漁業의 被害補償制度를 補完 發展시키는 등
- 漁業의 與件變化와 水産發展段階에 맞는 漁業制度를 確立하여 健全하고 均衡的인 漁業發展과 水産物의 經濟的 安定的供給의 基盤을 構築하기 위한 기틀 마련에 力點을 두고 있으며,

그 主要改正 內容으로는,

- 陸上の 私有地에 人工的으로 造成한 海水面에서 養殖하는 漁業은 免許漁業에서 許可漁業으로, 海藻類 種苗를 生産하는 등 小規模의 種苗生産漁業은 許可漁業에서 申告漁業으로 緩和 調整하고,
- 漁業免許의 優先順位를 改善하여 技術이 普遍化되고 共同管理가 容易한 漁業은 漁村契에 優先的으로 免許하도록 하고, 새로운 技術과 많은 資本이 所要되는 漁業은 經驗이 있는 個人에게도 繼續 開發할 수 있도록 하며,
- 不法漁業을 하여 漁業免許 또는 許可가 取消된 경우 一定期間 漁



業免許 또는 許可를 받을 수 없도록 하고, 不法漁業施設을 代執行 節次에 따라 撤去할 수 있도록 하고,

- 漁村契는 共同漁場에 有料낙시터를 指定받아 漁民所得源으로 開發 運營할 수 있도록 하고, 水産廳長은 水産資源의 繁殖保護등을 위 하여 必要한 境遇 一部 水面을 낙시制限區域으로 設定할 수 있도록 하였으며,
- 水産資源의 增殖保護등 公益上 必要에 의하여 漁業을 制限하거나 取消할 境遇 지금까지는 免許漁業에 한하여 損失을 補償하도록 하던 것을 許可漁業과 申告漁業에 대하여도 補償하도록 하는 것으로 되어 있다.

## 2. 水産資源保護令등 關係法令

母法인 水産業法이 全面改正됨에 따라 關聯 附屬法令도 당연히 改正된 水産業法에 맞도록 整備가 되어야 하므로, 整備對象의 關聯下位法令을 區分하여 보면, 첫째, 大統領令으로 되어 있는 水産業法施行令, 水産資源保護令, 漁業登錄令이 있으며 둘째, 部令으로는 漁業免許및 漁場管理에 관한規則, 漁業許可및 申告등에 관한規則, 漁獲物運搬業許可에 관한規則, 水産業에 관한手數料規則, 水産關係 法令違反行爲에 對한 行政處分の基準과節次에 관한規則 등이 整備對象의 法令으로서 이를 改正 및 새로 制定하여 公布·運營中에 있으며,

從前의 水産資源保護令의 漁業規制는, 漁網目制限을 包含한 漁具漁法制限, 漁期 및 漁場制限, 採捕物禁止體長 制限, 漁獲努力量 制限등을 그 主要內容으로 하고 있으나, 이에 대한 制限內容을 各界各層으로부터 補充 또는 改正을 要望한 建議과 國立水産振興院의 沿近海漁業資源의

調査研究 등 科學的인 調査結果를 綜合的으로 反映하고 漁場環境의 變化 등 現實事件을 勘案한 水産資源의 保護管理, 漁業紛爭調整, 不法漁業의 取締 등에 主眼點을 두고 沿近海漁民의 漁業經營 및 福祉向上에 도움을 줄 수 있는 漁業制度確立을 위하여 水産業法改正內容과 맞추어 一括 整備하여 大統領令 13,333號로 '91.3.28 改正 公布한 바 있다.

### 3. 漁業許可에 관한 規則 改正

水産業法 및 水産業法施行令의 全文改正에 따라 漁業許可에 관한 規則을 그 改正內容과 體制에 맞도록 整備·補完하고, 現行規則의 施行過程에서 나타난 未備點과 漁民의 不便事項을 解消하기 위하여 同 規則의 題名을 “漁業許可 및 申告 등에 관한 規則”으로 變更, 全文改正을 推進中에 있으며 그 主要骨子は 다음과 같다.

첫째, 沿岸水産資源을 保護하고 沿岸漁船과의 操業紛爭을 解消하기 위하여 小型旋網漁業에 있어서 從前의 規定에 의하여 漁業許可를 받아 附屬船을 使用하고 있는 漁船외에는 附屬船 使用을 禁止토록 하고,

둘째, 沿近海漁業의 遠洋漁業進出을 促進하고 漁業經營의 安定을 圖謀하기 위하여 沿近海漁業의 許可를 받은 자가 當該漁船으로 遠洋漁業에 進出하는 境遇 3年の 範圍內에서 沿近海漁業의 許可를 猶豫하도록 하며,

셋째, 漁業許可가 取消된 漁船이나 漁具에 대한 規制의 實效性を 圖謀하기 위하여 漁業許可가 取消된 漁船이나 漁具를 賃借한 자의 許可制限期間을 當該漁業의 許可가 取消된 자와 同一하게 하고,

넷째, 損失補償을 받고 漁業이 廢止된 漁船에 대하여는 許可받은 老朽漁船을 代替하는 境遇외에는 漁業許可를 받지 못하도록 하며,

다섯째, 新設된 區劃漁業의 許可對象을 從前의 第2種 및 第3種共同漁業의 漁業權者 및 行使者와 이들이 當該漁業에 使用中인 漁船으로 限定하여 許可토록 하고,

여섯째, 從前의 規則은 遠洋漁業·近海漁業·沿岸漁業 및 種苗生産漁業등 許可漁業에 대한 事項만을 規定하였으나 今番 改正된 規則은 이들 漁業외에 許可漁業으로 新設된 陸上養殖漁業 및 區劃漁業의 許可, 試驗·敎習漁業의 許可 또는 承認, 申告漁業의 申告, 有害漁法의 使用許可, 施設物撤去義務의 免除와 操業水域調整 申請節次 등에 관한 事項을 追加로 規定하는 것 등이다.

### 第 3 章 遠洋漁場の 持續的 開發

#### 第 1 節 漁業協力 強化

##### 1. 漁業協定締結 및 更新

'90年度에는 新規 兩國間 漁業協定 締結은 없었으나 韓·뉴질랜드 漁業協定 延長('90.10.~'94.9.30)과 불란서, 키리바티, 쿡도서, 투발루

〈表 57〉 附屬約定 更新 現況

協 定 名	更新日字	主要 合意 內容		
		入 漁 期 間	隻 數	入 漁 料
○ 韓·佛漁業協定	'90.1.10	'90.1.20~ '91.1.19	122	3,425千Fr
○ 韓·키리바티 漁業協定	'90.2.28	'90.2.12~ '91.2.11	113	960千\$
○ 韓·투발루 漁業協定	'90.8.2	'90.7.1~ '91.6.30	100	154千\$
○ 韓·쿡漁業協定	'90.5.29	'90.6.1~ '91.5.31	40	100千\$

資料：水産廳 國際協力擔當室

등과 附屬約定을 更新하여 入漁期間등을 延長하였다.

또한 漁業協定の 원활한 遂行과 運用 및 遠洋漁場의 安定的 確保, 漁業協力등을 위하여 美國, 濠洲, 뉴질랜드, 蘇聯에 漁業 交涉團을 派遣하였으며, 日本, 美國등 12個國과 兩國間 會議을 19回 開催하고, FAO 水産委員會등 國際會議에 15回 參席하였으며, 兩國間 漁業協力 增進을 위하여 수리남 國會議長 가이아나 外務長官, PNG 水産長官등 水産關係 有力人士를 招請하여 兩國間 漁業協力 方案을 協議하였다.

## 2. 漁獲 쿼타 確保

우리나라는 北太平洋 公海에서 大型트롤漁船이 '77.2月까지는 自由로 操業하여 遠洋漁業 生産量의 約 55%를 生産하여 왔으나, '77.3月 美·蘇의 200海里 漁業管轄水域 宣布로 蘇聯水域에서는 撤收하게 되었고, 美國水域에서는 韓·美 漁業協定을 締結하여 繼續操業을 하게 되었으며, 蘇聯水域에서 撤收한 漁船들은 當時 代替漁場으로서 北海道 周邊水域과 뉴질랜드水域으로 進出하였다.

### 가. 美國

韓·美 漁業協定締結에 依據 쿼타 操業으로 轉換한 以來 '84년까지는 漁獲쿼타가 每年 增加하여 왔으나 그 以後 美國은 水産資源의 自國化政策을 強化함으로써 '87년에 我國의 主操業海域인 北太平洋水産管理委員會 管理 水域(베링海, 알류우산, 알라스카 灣)에서 漁獲物이 3千톤으로 激減하였으며 '88年 以後에는 直接漁獲 쿼타의 割當이 終熄되었다.

한편, 美國은 自國業界와 操業國들의 業界間에 相互契約을 締結케 하

〈表 58〉

## 直接귀타 및 共同漁業實績

單位：톤

	直 接 귀 타				共 同 漁 業	
	귀 타 量	消 盡 量	消 盡 率 (%)	隻 數	實 績	隻 數
'83	324,690	272,568	83.9	28	57,323	15
'84	329,757	268,432	81.4	27	98,166	22
'85	250,219	221,294	88.4	27	176,767	28
'86	116,169	98,596	84.9	28	375,570	30
'87	32,400	3,182	9.8	27	447,840	31
'88	-	-	-	-	359,449	31
'89	-	-	-	-	142,127	32
'90	-	-	-	-	24,923	30

資料：水産廳 遠洋生産擔當室

고 共同漁業事業의 物量을 配定하여 올림픽 방식에 의한 操業을 遂行토록 해 왔으나 每年 共同漁業事業의 物量도 減縮시켜 마침내 '91年度부터는 共同 漁業事業마저 終熄되었다.

우리나라는 美國의 直接漁獲귀타 및 共同漁業事業의 終熄에 對應하여, 公海操業과 韓·蘇 共同漁業事業을 積極 推進하고 있으며, 특히 共同漁業事業에 依한 生産物이 '87.5.1부터 輸入으로 着做되어 關稅를 賦課한 바 있었으나, 同事業의 漁獲物이 國民經濟에 미치는 影響을 考慮하여 '89.1.1부터 關稅를 免除하고 있다.

## 나. 蘇聯

'77.3月 蘇聯의 200海里 經濟水域 宣布로 撤收한 以來 中斷되었던 蘇聯水域 進出을 위하여 多角的으로 努力한 結果, '89년부터 共同漁業事業으로 進出케 됨으로써 蘇聯水域內 操業이 再開되었으며 '89년에

78千톤, '90년에는 61千톤의 實績을 舉揚하였다.

한편, 韓·蘇 國交正常化에 따라 우리나라 漁船들의 安定的인 蘇聯水  
域 進出을 위하여 政府間 漁業協定 締結을 推進中에 있다.

다. 뉴질랜드

'77.3 美·蘇의 200海里 經濟水域 宣布로 一部 트롤漁船이 뉴질랜  
드 近海로 移動 操業하였으나 '77年 뉴질랜드도 200海里 經濟水域을  
宣布함에 따라 '78.3 韓·뉴 漁業協定을 締結하고 쿼타操業을 始作하였다.

그러나 最近 뉴질랜드 政府는 自國漁民 保護 및 漁業資源管理 側面을  
考慮하여 自國民에 대한 쿼타는 擴大하고 對外國 쿼타 割當을 점차 줄  
여 나가는 同時에 쿼타 配定도 漁獲不良 水域으로 集中 配定하여 쿼타

<表 59> 年度別 뉴질랜드 쿼타 消費實績

單位 : 톤

	業種別	쿼타量	消費量	消費率(%)	出漁隻數
83/84漁期	트롤	20,985	12,930	62	6
	오징어채낚기	6척	1,985	-	6
84/85漁期	트롤	20,540	14,886	72	6
	오징어채낚기	6척	1,066	-	6
85/86漁期	트롤	8,390	6,103	73	5
	오징어채낚기	1,500	1,092	73	6
86/87漁期	트롤	8,662	4,060	47	4
	오징어채낚기	1,500	1,408	94	6
87/88漁期	트롤	5,781	3,053	53	4
	오징어채낚기	1,325	1,324	100	3
88/89漁期	트롤	2,916	1,802	62	2
	오징어채낚기	807	807	100	3
90/91漁期	트롤	1,017	全量返納		

資料 : 水産廳 遠洋生産擔當室

消盡實績이 不振하였다.

'90/'91 漁期에는 管理魚種의 擴大와 채낚기 쿼타 終熄으로 總 1,017 톤의 트롤쿼타를 제의받았으나 쿼타량 全部가 전갱이로서 經濟性이 없 어 쿼타량은 返納하고 個別入漁로 操業하고 있으며 앞으로 뉴질랜드水 域에서의 쿼타割當은 終熄될 展望으로 있어 個別入漁 및 合作投資事業 을 積極 推進해 나가야 할 것이다.

### 3. 對外 技術協力

政府의 開發途上國 技術供與事業은 16個國으로부터 水産分野 研修生 21名 招請, 漁撈技術, 船舶機關, 水産一般등 訓練을 實施하였다.

地域別로는 아세아 2名, 아프리카 8名, 中南美 5名, 中東 3名, 태평 양島嶼 3名이다.

〈表 60〉 對外 技術協力 現況

	'68~'88	'89	'90	計
訓練生招請訓練(名)	470	33	21	524
專門家 派遣 (名)	26	-	1	27

資料 : 水産廳 國際協力擔當室

## 第 2 節 新漁場 開發

### 1. 新漁場, 新漁法 開發

世界沿岸國들의 200海里 經濟水域 宣布와 漁業資源 自國化 政策등



各國의 漁業 規制에 對處한 海外漁場의 安定的 確保를 위하여 沿岸國들과의 漁業協力과 公海漁場 및 新漁法에 依한 漁場 開發을 積極 推進하고 있다.

‘90年 漁業協力에 依한 漁場開發은 印度, 모잠비크, 에멘漁場에 트롤漁船 4個社 6隻, 페루, 콜롬비아漁場에 오징어채낚기漁船 5個社 7隻, 기네漁場에 鮫鱈網 1個社 1隻이 出漁하여 操業한바 있으며 新漁法에 依한 漁場開發은 아프리카 中西部 公海水域에 둥立延繩漁船 1個社 1隻과 韓國漁業技術訓練所 試驗調查船 1隻으로 北太平洋에서 中層流刺網 試驗操業을 實施한 바 있다.

## 2. 漁業合作事業

遠洋漁業은 漁業資源 自國化 政策에 따라 外國漁船에 대한 單純 入漁 禁止 및 規制 團束을 強化하고 있으며 특히 美國의 경우는 北太平洋의 直接漁獲 割當量의 終熄 및 共同事業物量의 大幅減少 등 사실상 外國漁船의 入漁가 不可能한 實情에 있다.

따라서 長期的으로 海外資源을 確保하기 위하여는 대부분의 沿岸國들이 장려하고 있는 海外合作事業이 不可避한 實情이다.

合作事業을 通한 漁場進出은 ‘90.12末 現在 美國等 19個國에 57個 業體가 61個의 合作社를 設立하여 進出하고 있으나, 이들중 水産物 國內 輸入을 目的으로 海外資源開發事業法에 依한 許可를 받은 業體는 6個國(美國, 칠레, 아르헨티나, 뉴지, 인도네시아, 中國)에 19個 業體가 進出하고 있으며, 이들 業體가 ‘90年度중 國內에 輸入한 量은 6個國에서 21,930톤이며 主要어종은 오징어, 연육, 전갱이 등이다.

### 3. 南水洋漁場 進出

地球上의 마지막 資源 寶庫라고 일컬어지는 南水洋에는 未來의 食糧 資源인 Krill이 5~10億톤 潛在해 있는 것으로 推定되고 있으며 年間 漁獲 可能量은 5~7萬톤으로 評價되고 있다.

이에 따라 Krill 資源의 確保와 南水洋, 南極大陸分割 및 領有權 主張에 對備하여 우리나라는 '78년부터 '87년까지 7회에 걸친 試驗調查 事業을 實施하여 出漁實績을 蓄積하고 海洋環境을 科學的으로 調查한 結果, 南水洋 海況과 漁場性이 把握되었고 漁具, 漁法 및 操業技術이 開發되어 進出基盤을 確固히 하였으며 國際水産機構 및 研究機關에 調查實績을 提出하는 등 調查研究에 多角度로 努力한 結果 '85.11.19 南極海洋生物保存委員會에 加入하였으며 '86.11.28에는 南極條約에 加入하여 國際的으로 南水洋 進出國이 되어 南極水産資源管理에 參與하게 되었다.

이와 같은 南水洋에 대한 研究開發實績을 土臺로 '88년부터는 政府 補助事業에서 出漁에 所要되는 資金의 一部를 融資해 주는 民間商業漁業으로 轉換하였으며 '89/'90 漁期에는 2,000톤급 트롤漁船 2隻을 出漁시켜 4,583톤의 Krill을 漁獲함으로써 漁獲實績 舉揚 側面에서는 所期の 成果를 거두었으나 '90/'91年度 漁期에도 8億원을 融資, 2,000톤급 트롤漁船1隻을 盛漁期에 出漁시켰으나 同漁期에는 海上氣象惡化日 數가 많아 431톤의 Krill을 漁獲하였다.

따라서 그간의 事業實績과 成果를 土臺로 南水洋 進出國으로서의 位置를 確固히 함과 同時 Krill 資源의 利用度를 提高하기 爲하여 今後에도 每年 持續的으로 財政融資에 依한 商業漁業으로 出漁하되 消費促進 施策 側面을 考慮 研究機關 및 食品業界의 製品開發을 促進시키고 წყсы

미끼 및 魚類蕃養餌料用 國內市場擴大 等 Krill 國內需要擴大施策도 並行할 方針이다.

#### 4. 特殊地域 漁場進出

北方社會主義 國家와의 漁業協力は 새로운 漁場開發과 이들 國家와의 關係改善을 통한 漁業協定 締結로 正常的인 漁業協力 關係 樹立을 目標로 積極的으로 推進하고 있다.

소련水域은 '89年度에 처음으로 共同漁撈 事業을 實施한 以來 90年度에는 3個社 8隻이 進出하여 61,084톤을 收買함으로써 北洋出漁 大型 트롤船의 代替漁場開發 및 명태需要의 새로운 供給源을 確保할 수 있다 는 點에서 큰 成果를 가져왔다고 볼 수 있다.

이밖에 中國水域에 4個社 21隻이 進出하여 4,376톤을 漁獲하였다.

### 第 3 節 遠洋漁業 育成指導

#### 1. 經營改善

遠洋漁業의 生産에 直接的인 影響을 미치는 沿岸國의 漁業資源 自國化 政策 深化 및 國際水産機構의 資源管理 擴大等으로 遠洋漁業이 어려움에 처해 있다. 이에 對處하기 위하여 既存漁場의 持續的인 確保와 沿岸國 漁場開發 및 特殊地域 漁場 進出을 積極 推進하고 아울러 新漁法을 開發하여 遠洋漁場을 安定的으로 確保토록 努力하였다.

適正漁船勢力 維持와 老朽漁船 代替等 漁船의 圓滑한 供給과 漁船員

의 福祉增進을 통한 操業能率 向上으로 生産性を 높이고 아울러 消費者의 嗜好에 맞는 水産 加工品の 開發 擴大와 品質을 高級化하여 內需基盤을 더욱 擴大하는 한편 內賣있는 企業經營으로 財務構造를 改善하여 遠洋漁業 與件變化에 적응력을 確保하도록 指導하였다.

## 2. 勞使協調와 安全操業

船員處遇改善을 위하여 固定給과 轉載手當 및 主·副食費를 引上하였고, 勤續獎勵金과 名節 假拂金을 新設하였는바, 그 主要內容은 下級船員의 月 平均 最低固定給을 '89年度 355千원에서 '90年度 411千원으로 15.7%, 主·副食費는 '89年度 1日 1人 基準 4,300원에서 4,800원으로 引上되었고 漁撈契約 滿期 終了後 同一會社 船舶에 再乘船하는 船員에게는 月固定給의 1個月分을 追加 支給하는 勤續獎勵金 制度和 秋夕 等の 名節에는 月固定給의 50%를 支給하는 名節假拂金 制度를 實施하는 等 實質的으로 船員의 處遇가 改善되도록 努力하였으며,

勤勞環境改善을 위하여 釜山港 및 海外基地에 碇泊中인 40隻의 遠洋漁船을 訪問, 船內居住 衛生施設 및 賃金支給實態 等を 點檢하여 導出된 問題點 및 改善事項을 該當業體에 通報, 補完 및 是正토록 措置하였다.

그리고 船員厚生 福祉增進을 위하여 사모아, 라스팔마스, 파라마리보 等 海外船員會館을 船員福祉 爲主로 運營하여 6,843名の 船員이 利用하였으며 船員家族 激勵 및 士氣振作을 위하여 '90.10.30 遠洋 漁船員 家族 1,000名을 招請하여 釜山市民會館에서 慰安會를 開催, 模範船員 家族表彰 및 紀念品을 贈呈하였다.

沿岸國의 被拉防止와 各種 事故防止 等 安全操業을 위하여 國立水産

振興院(船長教育), 韓國漁業技術訓練所(素養教育, 安全教育), 海外基地教育 및 業體 自體 教育을 通하여 8,753名의 遠洋漁船員에 對하여 沿岸國 規制動向, 船員法 解說, 操業中 安全守則 等の 教育을 實施하였으며, 海難事故를 未然에 防止하기 爲하여 142隻에 對한 自體 船舶 安全點檢을 實施하였고, 業體에 對하여 77回의 安全操業指導를 實施하는 等 安全操業指導에 努力한 結果 違反漁船이 例年에 比해 顯著히 減少되었다.

## 第 4 章 漁業基盤施設の 擴充

### 第 1 節 漁港建設

우리나라 全國 沿岸에는 水産廳長이 管理하는 83個 1·3種漁港과 市·道知事가 管理하는 316個의 2種漁港이 各各 漁港法에 따라 指定, 開發되고 있다.

〈表 61〉 全國 漁港指定 現況

	指定港數	水産廳長管理		市·道知事管理
		1種	3種	2種
計	399個港	50	33	316
釜山	8	1	-	7
仁川	7	-	-	7
京畿	37	-	4	33
江原	26	10	-	16
忠南	35	4	1	30
全北	18	1	4	13
全南	123	10	14	99
慶北	35	9	2	24
慶南	94	10	6	78
濟州	16	5	2	9

資料：水産廳 漁港課

### 1. 1·3種漁港

'90년까지 1·3種漁港은 83個港의 計劃物量 90km 중 56km를 施設함으로써 62%를 開發하였다. '90年中 1·3種漁港 開發은 完工爲主 方向으로 漁船의 安全收容을 爲하여 防波堤 등 外廓施設 開發에 重點을 두고 推進하였으며 忠南의 安興港 등 25個港에 491億원을 投資, 防波堤 등 5,191m를 施設하였고 江原道 大津港 등 9個港의 基本施設을 完成하였다. 또한 漁港의 機能提高를 爲하여 6個港에 35億원을 投資, 老朽·脆弱 施設에 對한 補修·補強事業도 推進하였다.

### 2. 2種漁港

市·道知事 管理港인 2種漁港은 計劃物量 116km 중 '90까지 76km 를 施設함으로써 65.5%를 開發하였다. '90年中 2種漁港開發도 完工爲 主의 漁港建設에 重點을 두고 既着手港에 78億원(國費50%, 地方費 50%)을 投資하여 防波堤 등 2,448m를 施設하였다.

〈表 62〉

漁港開發 現況

單位：個, 億원

	總 計 劃		'89까지		'90		殘 量	
	港 數	金 額	港 數	金 額	港 數	金 額	港 數	金 額
計	399	11,073	115	3,401	17	604	267	7,068
1·3種漁港	83	7,337	32	2,797	9	526	42	4,014
2 種 漁 港	316	3,736	83	604	8	78	225	3,054

資料：水産廳 漁港課

## 第 2 節 漁撈施設の現代化

### 1. 漁船建造

’90년에는 政府補助 및 財政投融资特別會計資金에 의한 老朽漁船代替 및 農漁村發展基金에 의한 經濟性漁船建造事業과 國民投資基金에 의한 計劃造船事業을 實施하여 海難脆弱 老朽漁船의 代替에 注力하였으며, 또한 40톤 未滿의 小型漁船은 壽命이 길고 維持·補修 등 管理費가 節減되어 經濟性이 優秀한 合成樹脂 (FRP) 漁船으로 代替토록 하여 漁船의 船質改良을 積極 誘導함으로써 漁船 現代화와 漁業經營改善을 통한 漁民所得 向上에 寄與하였다.

### 2. 漁船機關代替 및 裝備, 設備改良

漁船의 操業能率向上과 海難事故를 未然에 防止하고 油類費 節約을 위하여 燒球 및 陸上用機關 등의 低效率機關과 老朽機關을 效率이 좋고 性能이 優秀한 船舶用 디젤機關으로 代替토록 함은 물론 漁撈設備의 機械化·自動화를 위한 漁撈裝備 및 設備의 代替와 新規支援, 漁獲物の 鮮度維持를 위한 冷凍設備 改良, 船員住居環境 改善, 航海安全裝備의 支援으로 漁業生産性向上과 安全操業을 圖謀하였으며, 특히 오징어自動釣上機設置支援으로 많은 人力을 必要로 하는 오징어채낚기 漁業의 人件費 節減 등으로 漁業經營改善에 크게 寄與하였다.

또한 漁船用機資材 生産業體에 대한 運營資金을 支援함으로써 漁船用機資材의 品質向上과 圓滑한 需給을 기하여 漁船의 安全性 및 漁民 便



益을 增進시켰다.

### 3. 制度改善

漁船의 安全性確保로 海難事故를 未然에 防止하고 安全操業을 圖謀하기 위하여 全動力漁船과 總噸數 5噸以上 無動力漁船에 대하여 漁船檢査를 實施하고 있으나, 小型漁船 檢査에 다른 漁民의 不便을 解消하기 위하여 漁船法施行規則을 改正하여 1噸未滿 動力漁船과 5噸未滿 內水面動力漁船은 最初 定期檢査만 받고 그 以後 定期檢査를 免除하여 18,564隻

<表 63>

漁撈施設事業 實績

單位：百萬元

事業別	數量	物量	事業費			
			計	補助	融資	自擔
計			57,797	1,226	41,420	15,151
○ 漁船建造	320隻	8,452噸	43,193	1,226	29,933	12,034
- 老朽漁船代替	183	1,832	7,154	1,226	3,679	2,249
- 經濟性漁船建造	116	1,508	6,763	-	5,059	1,704
- 計劃造船	21	5,112	29,276	-	21,195	8,081
○ 漁船機關代替	420	60,942馬力	7,186	-	5,605	1,581
○ 漁船裝備 및 設備改良						
- 裝備改良	2,005臺	-	4,826	-	3,089	1,017
· 無電機	175	-	168	-	128	40
· 레이다	75	-	280	-	215	65
· 로란	118	-	187	-	148	39
· 魚群探知機	153	-	312	-	243	69
· 오징어自動釣上機	1,484	-	3,879	-	3,075	804
- 設備改良	12隻	-	1,279	-	1,023	256
○ 漁船用機資材生産支援	5個社	-	1,313	-	1,050	263

資料：水産廳 漁船課

이 檢査緩和 惠澤을 보게 되었다.

또한, 適期出漁 및 安全操業을 위하여 漁船檢査執行地를 62個所에서 82個所로 大幅 增設하고 巡廻檢査도 年1回에서 年2回로 增回하였으며, 合成樹脂漁船의 渠船檢査對象을 15톤未滿에서 40톤未滿까지로 擴大하는 등 漁船檢査와 關聯된 많은 制度를 改善함으로써 漁民의 負擔輕減과 便益을 提供하였다.

그리고 漁業別漁船의 適正規模(雙當上限噸數) 및 基準總船腹量告示를 大幅 緩和하여 漁獲强度가 크고 水産資源에 影響이 많은 近海漁船 10個 業種만을 船腹量告示하여 增噸建造規制로 인한 漁民不滿을 解消하였으며, 漁船登錄·檢査 등에 관한 手數料規則, 漁船讓受·讓渡 등 許可 要領 및 韓國漁船協會 定款 등을 現實에 맞도록 改正하였다.

## 第5章 水産物 價格安定과 食糧化

### 第1節 流通構造 改善

#### 1. 流通施設 擴充

水産物の 迅速한 揚陸과 販賣, 衛生的 處理와 系統出荷, 漁船에 免稅油類와 食水供給 등을 위해 '90年度에 事業費 2,650百萬원을 投入, 委販場 2,040평, 給油·給水施設 8個所 (8,585 D/M)를 支援하여 産地 地區別 水協의 流通 機能提高와 漁船의 圓滑한 操業活動을 支援하였다.

#### 2. 流通機能 強化

沿近海 水産物 生産量 2,315千톤의 73.9%인 1,711千톤(13,182億원)을 産地水協에 上場 販賣하여 漁民 受取 價格 提高와 漁獲物의 迅速한 分散 流通이 이루어지도록 하였고 ㅓ, 천초등 委販 脆弱 品目에 대하여 완도, 서귀포등 10個 組合에 農安基金 28億원을 支援, 5,773톤

의 共同收集販賣事業을 實施하였으며 또한 水協共販場을 통한 內陸地 系統出荷 實績은 前年에 비해 3千톤이 늘어난 117千톤의 實績을 거두었고 大量 需要處와 直賣場을 통하여 29천톤의 產地·消費地 直去來 供給을 하였다.

產地 委販機能을 強化하기 위하여 休憩所 등 漁民便宜施設 擴充은 물론 피쉬펌프, 콘베아벨트 등 委販 裝備의 機械化를 積極 推進하도록 하고 FAX, 自動應答機, 魚代金支給 電算機 등을 設置하여 委販業務의 迅速한 處理와 對漁民 서비스 改善에 힘썼다.

그리고 全國의 委販場과 共販場의 環境을 淨化시키고 水産物의 衛生 管理 指導를 積極的으로 推進함으로써 新鮮하고 衛生的인 水産食品을 供給하도록 하였으며 夏節期에 發生하기 쉬운 水因性 傳染病 등의 豫防 措置에도 徹底를 기하였다.

또한 漁獲物의 品質向上과 去來秩序 確立을 위하여 仲買人등 委販 從事者와 生産漁民에 대하여 水産物의 取扱管理 啓蒙 및 弘報를 實施하였으며 漁獲物의 品質向上과 去來單位 規格化를 促進하도록 하였다.

### 3. 水産物 規格化

水産物의 規格化 및 包裝 改善으로 商品性を 提高하고 水産物 去來 單位의 標準化를 早期 定着시키기 위하여 '90年度에는 새우젓外 4個品目에 農安基金 35億원을 年利 3%의 低利로 支援하여 13,356톤의 水産物을 規格出荷하였다.

<表 64>

規格出荷 事業 實績

單位 : 톤, 百萬元

	出 荷 組 合	出 荷 實 績		農安基金 支援	
		物 量	金 額	件 數	金 額
計		13,356	35,532	562	3,500
새우젓	강화, 용진, 신안	2,470	3,782	120	594
건멸치	여수, 완도, 삼천포 권현망, 진도, 약산, 거제	10,001	29,341	331	2,054
꽃 게	용진, 진도	235	822	40	459
굴	용진, 굴수하식	416	1,407	55	285
멸치젓	경주	234	180	16	108

資料 : 水産廳 漁政課

## 第 2 節 水産物 價格安定

### 1. 政府 備蓄事業

水産物은 生産의 非任意性으로 計劃生産이 어렵고 一時 多獲性, 季節性으로 魚價가 不安定하여 需給 調節에 어려움을 겪고 있는 特性을 지니고 있다. 이러한 水産物의 需給 調節을 圓滑히 하기 위하여 農水産物 價格安定基金을 支援, 政府 備蓄事業을 實施하여 主 生産期에 產地 水協을 통하여 收買함으로써 價格 下落을 防止, 生産漁民의 受取價格을 提高시키고 盛需期 消費都市에 集中 放出하여 價格 安定을 圖謀해 오고 있다.

'90年度에는 冷凍고등어, 冷凍갈치를 新規로 收買 對象品目에 追加, 農安基金 331億원을 支援하여 總8個品目에 11,400톤을 收買할 計劃으로 備蓄事業을 實施하였으나 김 334톤(167萬속), 冷凍오징어 787톤,

〈表 65〉

政府 備蓄事業 実績

單位：톤, 百萬元

	計 劃		實 績		對 比 (%)	
	物 量	金 額	物 量	金 額	物 量	金 額
計	11,400	33,098	1,564	9,885	13.7	29.9
김	400	6,897	334	5,659	83.5	82.1
간 미역	2,000	1,456	-	-	-	-
마른멸치	300	1,702	81	391	27.0	23.0
마른오징어	200	2,739	-	-	-	-
冷凍오징어	2,500	5,346	787	1,836	31.5	34.3
冷凍조기	2,000	11,715	362	1,999	18.1	17.1
冷凍고등어	3,000	1,368	-	-	-	-
冷凍갈치	1,000	1,875	-	-	-	-

註：冷凍조기는 輸入備蓄

마른멸치 81톤, 冷凍조기 362톤 등 4個品目, 1,564톤(99億원)을 收買하여 盛需期에 放出, 水産物 需給 調節과 價格安定을 圖謀하였다.

특히 秋夕 盛需期 조기값 安定을 위하여 昨年에 이어 今年에도 中國産 冷凍 조기 362톤을 政府 備蓄事業으로 輸入하여 秋夕 盛需期에 放出함으로써 조기값 安定에 寄與하였다.

그러나 간미역, 마른오징어, 冷凍고등어, 冷凍갈치는 産地 去來價格이 높게 形成되어 收買 事業이 이루어 지지 못하였다.

## 2. 民間價格安定事業

'90年度의 水産物 民間價格安定事業은 總 1,019億원의 農安基金을 支援하여 갈치, 명태, 오징어, 굴, 미역, 김 등 收買對象 水産物 175

千톤을 收買하여 價格支持에 기여하였다.

事業別로는 收買支援 事業에 지난해 보다 43億이 增額된 381億원을 支援하여 134千톤의 水産物을 收買하였고 輸出促進事業에는 115億원을 支援하여 24千톤을 收買, 輸出토록 하였으며 生産者團體 出荷調節事業에는 지난해 보다 33億원이 늘어난 113億원을 支援하여 17千톤의 水産物을 出荷調節케 하는 한편 水協 委販場에 대한 漁獲物 委託 販賣事業을 圓滑히 할 수 있도록 出荷 促進資金을 150億원 늘려 400億원을 支援하였다.

그러나 '90年度의 水産物 總 收買實績은 水産物의 生産 減少와 높은 魚價上昇, 輸出 與件의 어려움에 직면하여 前年보다 14.8%가 減少하였으나 生産者團體 出荷調節事業은 資金 增額 支援에 힘입어 32.4%가

<表 66>

民間價格安定事業 實績

單位 : 千, 百萬元

事業別	收買實績		事業別	收買實績	
	物量	金額		物量	金額
計	175,362	176,786	計	175,362	176,786
○ 收買支援	134,354	108,147	갈치	7,763	7,968
- 冷凍保管	89,208	60,560	고등어	6,398	3,295
- (水協)	81,968	50,549	조기	2,101	4,923
- (韓冷)	7,240	10,011	가자미	8,198	3,910
- 통조림加工	23,877	17,745	연안명태	2,917	578
- 간미역加工	1,893	1,903	원양명태	57,718	34,306
- 김加工	410	7,053	정어리	7,365	3,909
- 煉製品加工	17,338	20,328	연안오징어	4,719	8,482
- 乾魚脯加工	1,628	558	원양오징어	21,551	27,225
○ 輸出促進	23,990	43,363	꽃게	2,210	2,164
- 冷凍水産物	11,226	15,245	귀치	2,846	798
- 活鮮魚貝類	4,371	17,164	잡오징어	1,262	1,412
- 水産통조림	8,393	10,594	꽃게	17,865	15,705
○ 生産者(團體) 出荷調節	17,018	25,276	꽃게	2,366	6,466
			김	695	11,203
			간미역	1,893	1,903
			기타		

資料 : 水産廳 漁政課

收買 増大되어 價格支持에 寄與하였다.

한편 '90年度부터는 從前의 輸出促進 部門에 支援되던 乾魚脯加工 事業을 收買支援事業으로 轉換하였으며 煉製品加工, 김加工, 감미역加工, 乾魚脯加工事業 資金은 產地 水協에서도 貸出實行이 되도록 制度 改善하여 事業者의 便宜를 圖謀하였다.

### 3. 需給 및 價格管理 強化

水産物 消費者 物價를 한자리수로 安定 目標을 設定하고 需給 安定을 위한 水産物 供給 확대와 價格安定事業의 實施로 需給 調節을 기하였다.

특히 명태, 오징어, 조기, 김, 마른멸치등 5個 主要 品目の 生産, 搬入, 輸出入, 在庫, 出荷 등 需給 狀況을 点檢 管理하고 積極 對處하였다. 秋夕 盛需期 조기 需給安定을 위하여 '90.6.20 冷凍조기 輸入 計劃을 確定, 政府 備蓄事業으로 農水産物流通公社에서 500톤, 그리고 生産者團體인 水協中央會에서도 自體資金으로 500톤을 輸入토록 하여 秋夕期間中 中國産 冷凍조기 444톤(流通公社 362톤, 水協 82톤)을 導入 放出하여 조기값 安定을 圖謀하였다.

또한 고등어의 生産 不振으로 價格 급등세가 持續됨에 따라 沿近海 漁民에게 被害가 없도록 고등어 盛漁期가 지난 '90.9.25 고등어값 安定對策을 樹立, 冷凍고등어 2,000톤과 고등어와 消費 代替性이 강한 冷凍전갱이 2,000톤(군납용 1,500톤 包含)을 輸入토록 水協中央會에 示達하여 고등어 2,083톤과 전갱이 1,318톤(군납용 833톤)을 導入하였다.

예년과 같이 설날, 秋夕, 김장, 年末 盛需期에는 特別對策을 樹立 推進하였으며 특별히 2월중에도 別途 對策을 樹立하여 水産物の 需給 및



價格安定을 위하여 積極 努力하였다.

成需期 對策期間中에는 物價對策狀況室의 設置와 全國 12個 物價指導班을 運營하여 水協, 韓國冷蔵, 民間 保有 在庫物量의 出荷를 積極 督勵하고 盛需品의 生産, 搬入, 在庫, 價格動向을 日日 把握 對處하였다.

이와같은 努力으로 水産物 消費者 價格은 前年末에 비해 6.4% 올라 最近 5年동안 가장 낮은 오름세를 示顯하였다.

### 第 3 節 水産物 食糧化

#### 1. 加工製品 生産

'90年度 水産物 加工製品生産은 873千톤으로 前年度의 841千톤보다 4% 增加하였다. 製品形態別로는 高次加工品이 28% 增加한 반면 單純加工品은 9% 減少하였다.

이 중 加工品の 大宗을 이루고 있는 冷凍品은 443千톤으로 高等 어, 정어리, 명태, 갈치 등의 原形凍結이 349千톤으로 79%, 명태, 봉장어, 새우, 연육 등의 處理凍結이 94千톤으로 21%를 차지하고 있다.

魚肉 煉製品은 船上煉肉 利用으로 全般的으로 品質이 高級化되고 있으며, 消費者 嗜好에 맞추어 多樣的 製品이 開發되어 國民의 食生活 改善에 寄與하고 있으며, 年間 97千톤을 生産하여 前年同期보다 13% 增加하였다.

통조림은 참치통조림의 需要急增에 따라 前年보다 18% 增加한 58千톤

<表 67>

水産加工品 生産推移

單位：千

	'79	'84	'89	'90	'90/'89(%)
計	315,037	588,144	841,034	872,859	104
○ 高次加工品	73,560	218,744	290,511	370,497	128
- 處理凍結	33,459	79,110	97,845	93,597	96
- 煉製品	4,125	71,989	85,499	96,833	113
- 湯조림	15,706	27,965	49,372	58,026	118
- 魚油粉	13,491	18,206	36,289	90,478	249
- 調味加工品	6,141	20,823	20,714	30,935	149
- 寒天	638	651	792	628	79
○ 單純加工品	241,477	369,400	550,523	502,362	91
- 原形凍結	137,779	254,974	421,291	349,028	83
- 海藻製品	28,998	57,946	57,785	88,437	153
- 乾製品	45,178	44,946	36,165	31,902	88
- 鹽辛藏品	26,078	7,548	25,447	20,702	81
- 其他	3,444	3,986	9,835	12,293	125

資料：農林水産部 農林水産統計年報

註：遠洋製品 除外

을 生産하였고 調味加工品도 調味오징어 및 쥐치포의 生産好調로 31千  
톤의 實績을 올려 前年보다 49% 伸張되었다.

또한 海藻製品生産은 88千톤으로 前年보다 53% 增加한 바, 이는 鹽  
藏미역의 生産好調에 基因되었고 乾製品과 鹽辛藏品은 前年보다 減産으  
로 各各 32千톤 및 21千톤의 生産에 머물었다.

## 2. 加工·製造業體의 育成

國民 所得水準의 向上에 따라 水産物의 消費趨勢가 單純加工品에서

<表 68>

加工業體 支援 實績

單位：百萬원

	'85		'89		'90		'90/'89 (%)
	個所	支援額	個所	支援額	個所	支援額	
計	83	4,901	108	18,700	106	19,000	102
○ 施設 資金	19	1,199	16	9,200	16	9,200	100
- 冷凍·冷藏新設	-	-	6	7,200	6	7,200	100
- 冷凍·冷藏改補修	1	300	10	2,000	10	2,000	100
- 其他 加工	10	899	-	-	-	-	-
○ 運營 資金	64	3,702	92	9,500	90	9,800	103
- 冷凍·冷藏品	11	710	38	2,800	42	3,200	114
- 용조림 製造業	12	920	21	2,700	19	2,800	104
- 調味 加工業	10	500	13	500	6	300	94
- 海藻 加工業	5	220	7	500	12	500	100
- 煉製品 加工業	26	1,550	13	3,000	11	3,000	100

資料：水産廳 製造課

高次加工品으로 變化되어 가고 있다.

이에 따라 水産加工業은 漁業 生産物의 最大販路로 되어 있으며, 또한 水産物을 加工함으로써 保存性を 增大하고 消費者에게 周年 安定的으로 供給할 수 있게 되었다.

그리고 不可食部分의 除去 및 保存性的의 向上에 의한 鮮度維持 經費를 낮추게 함으로써 水産物 流通 費用의 節減을 圖謀하는데 水産物 加工은 큰 役割을 하고 있다.

水産物 加工製品의 生産增大와 加工業體의 育成發展을 위하여 '89年度에는 冷凍, 冷藏施設의 新設 및 改補修에 16個所 92億원의 施設資金

을 支援하였으며, 煉製品, 통조림, 冷凍品, 調味加工品, 海藻加工品 生産業體 92個所에 95億원의 運營資金을 支援하여 總 108個所에 187億원의 施設 및 運營資金을 支援하였다.

'90年度에는 冷凍·冷藏 施設資金은 前年度와 같은 16個所 92億원을 支援하였고, 運營資金은 前年度에 비하여 다소 增加된 90個所 98億원을 支援하여 總 106個所에 190億원을 支援하였다.

### 3. 食生活改善 및 消費擴大

水産物 消費를 擴大하기 위하여 정어리, 고등어 등 등푸른 生鮮과 굴, 미역, 김 등 多獲性 水産物 및 魚肉煉製品에 대한 TV, 라디오, 新聞, 雜誌 등 言論媒體를 통한 弘報를 80回 實施하였으며, 水産物 料理冊, 팜프렛 및 리후렛(23,000枚)를 製作, 配布하였고, 굴 消費를 위한 廣告版(와이드 칼라)도 設置하였다.

또한 등푸른 生鮮, 煉製品, 김, 미역, 갈치, 오징어의 料理講習, 展示, 試食會를 서울, 釜山, 大邱, 光州, 全州 등 消費都市에서 7회에 걸쳐 開催하였고, 정어리, 고등어, 미역 등 多獲性 水産物과 加工食品인 魚肉煉製品 消費擴大를 위하여 10,217톤을 軍納하는 등 食生活改善 및 水産物 消費擴大運動을 꾸준히 展開하였다.

그리고 消費者를 保護하고 品質高級化를 위하여 10個社에서 참치통조림, 어묵, 계맛살, 조미김, 조미오징어 등 5個品目에 대한 KS表示許可를 獲得하였다.

## 第 4 節 水産物 檢査

### 1. 檢査動向

'90年度 水産物 檢査實績은 247千톤으로서 前年度 實績 256千톤에 比하여 4%가 減少하였으며, 製品의 加工形態에 있어서는 單純加工品인 乾製品이 前年度보다 增加한 반면 冷凍品 등 高次 加工品은 減少하였다.

이와같이 檢査實績이 감소하게 된 要因은 主要 輸出魚種의 漁獲減少로 인한 原料 確保의 어려움과 原資材 價格 및 賃金 上昇으로 인한 輸出採算性 惡化에 基因하였기 때문이다.

<表 69>

水産物檢査 推移

單位 : 千톤

	'79	'84	'89	'90	'90/89(%)
檢 査 量 (指 數)	197 (100)	205 (104.1)	256 (129.9)	247 (125.4)	96.5
高次加工品 (構成比:%)	161 (81.7)	161 (78.5)	204 (79.7)	195 (78.9)	95.6
單純加工品 (構成比:%)	36 (18.3)	44 (21.5)	52 (20.3)	52 (21.1)	100

資料 : 國立水産物檢査所, 水産物 檢査年報

註 : 高次加工品: 冷凍品, 調味加工品, 鬆조림, 魚油, 魚粉, 寒天, 魚肉煉製品,  
           冷蔵貝類  
       單純加工品: 乾製品, 鹽藏品, 海藻類

## 2. 制度改善

UR과 先進 交易國家의 通商壓力 등으로 인하여 水産物의 輸入自由化 擴大措置가 不可避함에 따라 輸入量이 增加하고 魚種도 多樣化되어 輸入檢査의 專門性이 絶실히 要求됨에 따라 이에 副應할 수 있는 水産 施策 樹立을 爲하여 保社部와 協議, 食品衛生 檢査機關 指定要件을 갖 춘 國立水産物檢査所 釜山支所를 '91.1.3자로 檢査機關으로 指定 받아 全體輸入量의 85%以上을 차지하고 있는 釜山地域의 輸入水産物을 檢査 하고 있다.

아울러 外貨獲得用 原料 輸入推薦 및 事後管理 部門에 있어서도 民 願人의 便宜와 事後管理 品目を 現實性있게 調整하고 基準所要量 告 示品目を 擴大, 迅速한 輸出業務를 圖謀하였는 바 그 內容은 다음과 같다.

가. 國立水産物檢査所 本所에서만 管掌하여 오던 關稅割當 推薦業 務를 釜山支所에서도 處理할 수 있도록 推薦機關을 擴大 措置하였으며, 나. '90年度 輸入自由化 品目으로 指定된 연어와 송어를 輸入推薦 品目에서 削除하고 高價品目으로 國內流出 可能性이 높은 홍어, 아귀를 追加 指定하여 沿岸漁民 保護와 貿易 去來 秩序를 確立하였고

다. 外貨獲得用 原料 基準所要量 告示 100個 品目에서 105個 品目으 로 5個品目(코토니, 冷凍명태 Fillet Block, 調味오징어에 所要되는 설탕, 명란의 플라스틱 케이스, 冷凍魚類의 Inner C/T)을 擴大 告示 하였다.

## 第 5 節 水産物 輸出入 對策

### 1. 輸入 自由化

우리나라는 '89年以前에는 國際收支赤字를 理由로 GATT 會員國으로 부터 輸入制限을 할 수 있도록 認定되었으나, '86~'88年の 國際收支 黑字示顯과 貿易基盤 確立으로 '89.10 GATT/BOP 委員會에서 '92~'97年 사이에 2次에 걸친 自由化 豫示計劃을 GATT에 提出토록 合意되었다.

이에 따라 政府에서는 一時에 自由化할 境遇의 混亂과 被害 防止를 위해 '89~'91年까지의 年度別 自由化品目을 '89.4 豫示하였으며 이에 따라 '90.1.1 冷凍 날개다랭이 등 31個 品目を 輸入 自由化하였다.

<表 70> 農林水産物 輸入自由化豫示現況

	總品目數	自由化 品目數 ( '90. 1. 1 )	豫示 品目 ( '91 )	留 保
全 體	10,274	9,898(96.3)	91(97.2)	285
農畜水産物	1,790	1,438(80.3)	85(85.0)	267
水 産 物	339	195(57.5)	37(68.4)	107

資料：水産廳 貿易課

註：( )는 輸入自由化率이며, 品目數 등은 HS 品目番號 調整('90.1.1) 以後의 數值임.

細部品目は 아래 表와 같으며, 當初 豫示된 內容에 비해 品目數 및 HS 番號가 一部 相異한 것은 '90.1.1 HS 分類番號를 一部 調整하였기 때문이다.

〈表 71〉 '90 輸入自由化 品目內譯

H S	品 目	H S	品 目
0302 11 0000	송어(新鮮 冷蔵)	0307 99 1990	기타 수생무척추동물(冷凍)
0303 41 0000	날개다랭이(冷凍)	99 2920	해삼(乾燥)
42 0000	황다랭이 (〃)	99 2930	우렁쟁이(〃)
49 1000	눈다랭이 (〃)	0307 99 3190	기타연체동물(鹽藏 鹽水鹽)
49 9000	기타다랭이(〃)	99 3920	해삼 (〃)
79 9050	달고기 (〃)	99 3990	기타 수생무척추동물(〃)
0304 10 2000	어류의연육(新鮮冷蔵)	1604 13 9000	정어리조제품(통조림 以外의 것)
0305 69 9000	명태(鹽藏 鹽水藏)	1605 10 1020	게살(燻製)
0306 12 0000	바다가재(冷凍)	10 9000	게조제품(통조림 以外의 것)
19 0000	기타갑각류(〃)	20 9010	새우와 보리새우의 조제품(燻製)
24 2000	게(乾燥)	20 9090	〃 (其他)
0307 10 2000	굴(冷凍)	90 1099	기타연체동물, 수생무척추동물(통조림)
39 1000	홍합(〃)	90 2090	기타연체동물(燻製)
39 9000	〃 (鹽藏 鹽水藏)	90 9090	기타연체동물, 수생무척추동물(其他調製品)
91 1910	재첩(산것, 新鮮 冷蔵)		
91 9010	성게(新鮮 冷蔵)		
91 9090	기타 수생무척추동물(〃)		

資料 : 水産廳 貿易課

註 : '90. 1.1 HS 改編으로 削除된 品目: 0307.99.2910 성게(乾燥)

品目番號變更: 1605.90.1090→1605.90.1099



既往에 輸入自由化된 品目の 輸入은 總 195個 品目中 100個 品目の 輸入이 있었으며, 品目別로는 活凍, 연어, 대구, 복어, 임연수어, 해삼의 輸入이 늘어났다.

<表 72>

既輸入自由化 品目 輸入動向

單位 : 톤, 千\$

品 目	'90		'89		對 比 (%)	
	物 量	金 額	物 量	金 額	物 量	金 額
計	119,457 (100)	119,219	93,346 (87)	77,386	128	154
活 鮮 魚	1,102 (14)	11,529	282 (12)	3,642	391	317
冷 凍 品	45,072 (20)	53,751	32,941 (18)	32,413	137	166
海 藻 類	3,419 (9)	4,005	3,261 (10)	3,293	105	122
鹽 藏 品	5,758 (7)	10,843	3,713 (5)	7,022	155	154
통 조 립	277 (17)	1,381	233 (14)	1,335	119	103
遠洋魚類 (참치류)	613 (7)	2,569	1,790 (6)	2,794	34	92
其 他	63,216 (26)	35,141	51,126 (22)	26,887	124	131

資料 : 水産廳 貿易課  
註 : ( )은 品目數임.

그러나, '89~'91년까지의 輸入自由化 品目は 競爭力이 優位이거나, 輸入可能性이 적은 品目, 國內 生産量이 적은 品目 爲主로 自由化되었기 때문에 31個品目中 18個 品目만이 輸入實績이 있었으며, 통조림 原料 및 칫감용인 다랭이류와 中華飲食店用인 해삼을 除外하고는 그 수량이 그리 많지 않았다. 해삼류는 輸入自由化에 의해 새로 輸入量이 늘어났다기 보다는 自由化 以前에는 旅行客 또는 소위 보따리장사에 의해 少量씩 携帶 搬入됨으로써 統計化되지 않던 것이 自由化와 더불어 貿易商에 의해 輸入됨으로써 統計化되었기 때문인 것으로 推定된다.

〈表 73〉 '90 輸入自由化 品目 輸入動向 單位：톤, 千\$

品 目 別	物 量	金 額	用 途	輸 入 國
計	3,007	13,871		
다랭이류(冷凍)	1,804	6,236	내 수 용	일본
달 고 기 ( " )	67	67	"	싱가폴, 뉴지
기타어류(鹽藏, 鹽水藏)	1	6	"	일본
바다가재(冷凍)	11	431	관광업소용	미국, 호주
기타갑각류( " )	31	219	"	일본, 미국
굴 ( " )	2	12	내 수 용	일본
홍 합 ( " )	91	105	"	기타
성 게 (新鮮冷凍)	4	93	관광업소용	캐나다, 미국, 일본
기타수생무척추동물(其他)	60	50	중화업소용	기타
해 삼(乾燥)	431	4,682	"	인도네시아, 필리핀, 미국 등
해 삼(鹽藏, 鹽水藏)	12	66	"	필리핀, 캐나다 등
계 조제품(통조림以外の 것)	2	36	관광업소용	일본, 미국
새우와보리새우의 조제품	1	3	"	인도네시아
기타연체동물 및 수생무척추동물(통조림)	2	13	중화업소용	대만, 태국
기타연체동물 및 수생무척추동물(其他調製品)	555	1,919	중화업소용	일본, 터키, 뉴지 등

資料：水産廳 貿易課

이러한 水産物 輸入은 우리나라 水産物 需要의 增加, 國內水産資源의 減少, 國內魚價의 高價形成, GATT/BOP 合意事項 履行, 今後의 UR 協商 등을 綜合的으로 勘案할 때 繼續 增加될 것으로 推定되며, 이에 대한 효율적인 對應은 國際 競爭力 確保로 要約될 수 있다.

國際競爭力 確保는 곧 水産資源造成 등 生産基盤 造成과 漁獲努力量의 縮小, 漁業 構造調整과 直結된다.

이러한 水産政策은 投資費의 過多, 利害關係의 對立 등으로 一時에

이루어질 수 없는 어려운 점이 있으나, 投資의 優先順位를 自由化 補充 對策 事業에 두고 이를 積極 推進해 나가고 있다.

## 2. 輸出支援

水産物 輸出은 '82年以後 年平均 20%의 꾸준한 增加趨勢를 보여 왔으나, '87年末 부터 시작된 急速한 元貨切上과 主要 沿近海 水産物の 生産減少로 '88年을 頂点으로 하여 '89년부터 減少하기 始作하여 '90年度에는 1,637百萬\$을 輸出함으로써 前年度 1,821百萬\$의 90% 水準의 輸出實績을 나타냈다.

이러한 輸出不振 現象의 克服과 輸出促進을 위해 輸出用 活鮮魚貝類 및 冷凍原料魚의 收買 加工用 資金으로 12,500百萬원을 支援하였으며, 主要 輸出品의 輸出指導價格 引上을 통한 適正 輸出價格維持 및 輸出 隘路要因 打開을 위한 활갯지렁이, 간미역 등의 輸出制度를 改善하였고, 優秀加工業體에서 生産하는 輸出品에 대하여는 水産物 輸出檢査項目을 緩和 또는 免除하고 있는 등 水産物 輸出檢査 節次를 簡素化하여 施行하여 오고 있으며, 主要輸出對象國에 대한 交易 障礙要因 緩和를 위한 關稅引下 및 非關稅障壁 撤廢 등의 協商을 推進하였다.

## 3. 制度改善

水産物の 輸出促進과 輸出秩序 維持를 위하여 활갯지렁이, 간미역 등 主要 輸出品目的 輸出制度를 改善하였으며, 輸出推薦品目으로서 輸出規制 對象이던 활삼치 등 6개品目的 輸出 自由化 措置 및 外貨獲得用 原料 輸出入制度를 改善하였다.

〈表 74〉 輸出用 水産物 收買 促進資金 支現況

單位：百萬圓

	'88	'89	'90	'90/'89(%)
計	11,200	13,300	11,500	86.5
冷凍水産物	3,500	3,900	4,000	102.6
活鮮魚貝類	1,000	1,000	1,500	150.0
乾魚物	700	400	-	-
水産품조립	6,000	8,000	6,000	75.0

資料：水産廳 貿易課

註：財源은 農水産物 價格安定基金

할갓지렁이의 對日 輸出 制度는 지난 '80年度부터 輸出 窓口는 2個社, 日本地域 輸入 窓口는 1個社로 각각 制限하여 오던 것을 '90年度부터 일정한 資格을 갖춘 貿易業 許可者에게 輸出에 參與할 수 있도록 함으로써 22百萬 \$의 輸出實績을 記錄하여 前年對比 47%가 增加하는 등 輸出增大에 寄與하였으며, 對日地域 간미역 輸出制度를 改善하여 韓·日 양국간 輸出入合意物 量을 前年度 24,500톤에서 24,800톤으로 增量하였고, '90新規 增加物量 300톤에 대해서는 漁村契 協業加工增加物量으로 水協中央會에 增配하여 健全漁村契 育成 및 漁民所得增大에 寄與하였고, 간미역의 原藻代金은 水協이 漁民에게 直接 支拂토록 하여 原藻代金 支拂 遲延으로 인한 漁民被害 發生素 地를 事前 豫防함으로써 原藻收買代金 對漁民 精算體制를 確立하였다.

또한, 輸出 推薦品目으로서 輸出 規制 對象이던 활삼치를 비롯한 4 個 品目(가자미, 전갱이, 고등어, 실지렁이) 및 新鮮冷蔵한 鬻망어 등 6個品目を 輸出 自由化하여 輸出節次를 簡素化하였고, 外貨獲得用 原料로서 살아있는 貝類 중 輸入 禁止 品目이던 가리비의 5個品目(키조개, 피조개, 새조개, 백합, 개량조개)을 輸入推薦品目으로 轉換하여 主 輸

出 品種인 피조개 등 主要貝類의 國內 生産 減少로 인한 加工, 輸出業  
界의 原料確保를 容易하게 함으로써 輸出促進을 圖謀하였으며, 外貨獲  
得用 原料인 연어, 송어를 輸入推薦對象에서 輸入自由化品目으로 轉換  
하는 등 輸出入制度 改善을 통한 輸出業界 隘路要因을 解消하였다.

## 第 6 章 水産研究 強化와 技術開發 普及

### 第 1 節 水産振興院의 活性化

#### 1. 研究機能強化

##### 가. 研究員 資質向上

日本, 프랑스, 美國 等に 增養殖分野 9名, 海洋環境分野 1名, 漁業資源分野 3名, 水産加工分野 2名, 其他 9名 等 總 24名을 派遣 長·短期 海外研修를 實施하였고, 國內大學에서도 博士課程 14名, 碩士課程 32名, 其他 6名이 研修를 實施하였다. 特히, 優秀研究人力을 活用하기 爲하여 名譽研究官 制度를 導入, 停年退任한 研究員을 다시 活用할 수 있도록 하는 한편, 프랑스, 日本 等地에서 專門家 4名을 招請하여 共同 研究를 通한 技術協力 增進과 先進技術 導入에 寄與하였다.

##### 나. 試驗器機補強

沿岸漁場의 海洋環境 및 漁業資源調查 等 水産試驗研究事業의 效率의인 推進을 爲하여 最新調查裝備를 搭載한 中型試驗船(300噸級) 1隻을 建造中에 있으며, 試驗器機는 政府 一般會計 豫算으로 104點을 購入, 補強하였다.

## 第 2 節 所得과 直結되는 技術開發

### 1. 增養殖 技術

#### 가. 種苗生産試驗

沿岸資源 造成과 地域特性에 맞는 養殖對象 品種의 種苗生産 技術開發을 위하여 注文津水産種苗培養場 等 10個 水産種苗培養場에서 魚類5種(넙치, 조피불락, 참돔, 감성돔, 숭어), 貝類4種(전복, 소라, 오분자기, 진주조개), 甲殼類3種(보리새우, 대하, 꽃게), 其他3種(보라성게, 북쪽말뚝성게, 김사상제), 그리고 넙치와 참돔의 受精卵 등 '90年度 計劃量 總16種 13,060萬尾(受精卵:11,238萬粒)를 生産하여 分讓, 放流하였으며, 해삼, 조피불락, 농어, 능성어, 복어, 범가자미, 닭새우 등에 대하여 種苗生産 基礎技術開發試驗을 實施하였다.

#### 나. 魚類養殖 技術開發試驗

魚類의 遺傳育種學的 研究로서 有用海産魚類의 品種改良을 目的으로 넙치에 對하여 染色體工學, 性轉換, 遺傳學的 同定 및 生理活性物質 試驗을하였다.

그리고 南海岸 主要魚類 養殖場에 대한 環境調查를 實施하여 魚類 養殖場의 環境變化 및 魚病實態를 把握하였으며, 海産魚類의 陸上養殖技術開發을 위하여 閉鎖式 循環濾過 飼育水槽에서의 濾過材別 濾過能力 調查와 넙치 및 자주복의 陸上水槽 飼育의 適正 飼育密度試驗 및 飼料 供給回數와 營養強化에 따른 陸上水槽에서의 越冬試驗, 새로운 魚類養殖技術開發을 目的으로 海上가두리를 利用하여 참돔 및 자주복에 대한

飼育試驗을 實施中에 있다.

한편, 海産魚 配合飼料의 開發試驗을 實施하여 조피볼락用 配合飼料의 開發 및 加工副産物을 利用한 넙치 配合飼料를 開發하였다.

#### 다. 貝藻類 遺傳學的 研究

貝類品種改良 普及을 위한 遺傳育種學的 基礎研究로서 溫度 및 藥品 刺戟에 의한 참굴 및 전복의 3倍體 生産 研究結果로서 3倍體 誘導率, 浮游幼生 成長度 및 生存率이 確認되었고, 참굴은 3倍體 稚貝의 成長度 및 生存率이 調査되고 있다. 海藻 育種으로는 다시마에 대하여 研究하였는데 自生 다시마의 地域別 分布調査, 形質特性調査 및 交雜豫備試驗을 통해 앞으로의 育種研究 基礎資料로 活用되게 되었다.

#### 라. 有用 貝藻類 增産試驗

陸上의 垂直空間을 多面的으로 利用할 수 있는 전복 陸上 飼育試驗을 實施하여 水槽形態別, 水槽단수別, 먹이別, 給水方式別 成長度 및 生存率을 把握하였고, 가리비 養殖技術開發을 위한 가리비採苗試驗을 實施하여 가리비 幼生の 出現時期, 수층별 幼生分布 등을 把握하여 自然採苗을 위한 基礎資料를 提供하였다.

海藻類 養殖開發試驗의 일환으로 養殖미역의 病害原因 및 對策에 대하여 研究하였고, 김品種 改良試驗으로 漁場別 김의 適品種開發, 病理 調査 및 害敵生物 驅除試驗을 하였으며, 吳 養殖開發, 김의 附着生物驅除試驗을 實施하여 좋은 結果를 얻었고, 특히 미역에서는 바늘구멍病의 原因生物의 同定 및 生活環境을 究明하였다.



#### 마. 淺海有用生物 養殖技術開發試驗

淺海有用生物의 養殖技術開發을 위해 東海岸 分布種인 털게의 生殖, 生態의 特性究明 및 幼生, 새끼게에 대한 初期成長 調査로 털게류 種苗 生産을 위한 基礎資料를 蓄積하였고 성게 種苗를 放流하여 성게 放流效果의 調査와 아울러 食性 및 棲息生物相 調査로 성게 放流效果에 대한 基礎的 分析資料가 確保되었다.

#### 바. 海產魚病研究

魚病迅速診斷 技術開發을 위한 방어의 류결절증을 螢光抗體法으로 진단할 경우 平板塗抹法보다 原因균을 신속, 精確하게 檢出할 수 있었으며, 또한 養殖 넙치의 細菌性 疾病에 대한 血液學的 및 血清化學的 分析 結果는 魚類健康을 評價하는 資料로 活用할 수 있었다. 그리고 陸上 養殖 넙치 疥癬증의 原因究明을 위한 細菌學的 檢査를 遂行한 結果, 대다수 病魚에서 비브리오균이 檢出되었다.

#### 사. 담수어 試驗研究 및 技術普及

淡水魚類의 優良種苗生産 普及擴大에 의한 內水面 資源增強과 養殖品種의 多樣化 및 品種改良을 위하여 잉어, 이스라엘잉어, 찬넬메기, 털라피아, 초어류 등 優良種苗 378千尾를 分讓, 放流하였고, 回歸性 魚種인 연어 資源造成과 回歸率 向上을 위해 '90年度 生産한 연어치어 7,400千尾를 南大川, 北川, 明波川, 連谷川에 放流하였다. 內水面 養殖魚種에 대하여 遺傳育種學的 技術을 利用한 優良品種改良을 위해 잉어의 雌性2倍體魚 生産試驗과 털라피아 초용성어 生産試驗을 遂行함과 아울러, 메기, 쏘가리, 산천어, 열목어 養殖技術開發과 水質汚染 防止를 위한 浮上飼料 效果試驗을 實施하였다.

## 2. 漁業 技術

### 가. 音響, 火光, 氣泡에 의한 魚群制御研究

尖端漁法 개발을 위하여 몇종의 刺戟源을 이용한 魚類行動 反應 및 漁獲效果試驗을 실시한 결과,

音響에 의한 魚群制御 試驗의 경우에는 오징어 채낚기 어업에 8종의 人工音을 사용한 바 FISH PHONE No.6 音을 放聲時 非放聲時보다 약 3.0倍 漁獲이 增加하였고, 水槽에서 참돔을 대상으로 電磁石을 이용한 自動衝擊 斷續音을 放聲한 결과 초기에는 驅集效果가 있는 것으로 나타났다. 火光에 의한 魚群制御 試驗의 경우에는 水槽에서 농어를 대상으로 連續光과 斷續光을 이용하여 시험한 결과 連續光에서는 誘集效果가, 斷續光에서는 驅集效果가 있는 것으로 나타났으며, 氣泡에 의한 魚群制御 試驗의 경우에는 水槽에서 농어와 참돔을 대상으로 氣泡幕에 대한 反應試驗 결과 遮斷 및 誘導效果가 있는 것으로 나타나 魚群制御 技術開發 基礎資料를 확보하였다.

### 나. 장어 통발의 選擇의 漁法研究

資源의 合理的 이용을 위한 研究의 일환으로 장어를 대상으로 탈출구 크기를 달리한 6종의 통발을 製作, 水槽 및 海上試驗을 실시한 결과, 장어 採捕禁止 體長 35cm 이하인 未成熟魚의 混獲率은 탈출구 직경 6mm에서 72.1%, 9mm에서 71.5%, 12mm에서 61.4%, 15mm에서 40.0%, 18mm에서 18.8%, 21mm에서 14.3%로 나타났다.

따라서 통발 탈출구 직경을 현행 6~9mm에서 15~18mm로 代替할 경우 未成熟 장어의 混獲率을 70%에서 40~20%로 減少시킬 수 있는 것

으로 判斷되었다.

#### 다. 꽃새우 漁具漁法 開發試驗

꽃새우 漕網의 漁獲性能 究明과 他資源 및 海底面에 미치는 影響을 감소시킬 수 있는 方法을 究明하기 위하여 既存漁具(A)와 改良漁具(B)로 海上試驗을 실시한 결과 漁獲量은 B網이 A網의 약 35.2%였고, 底質에 미치는 영향은 중량이 가벼운 B網이 적게 미칠 것으로 판단되었다.

본 결과로 꽃새우 漕網漁業의 合法化 검토가 가능하게 되었다.

#### 라. 刺網 揚網裝置 開發試驗

沿近海 刺網漁業의 人力減少를 위하여 공기유자망을 대상으로 油壓式揚網機를 製作, 海上試驗을 實施한 결과 最大揚網力은 약 63kgf, 最大揚網速度는 약 75M/Min였으며, 操業時 揚網力은 17~25kgf, M/Sec 였다.

금후 揚網機 Drum의 Home 構造, Drum 앞쪽에 Guide Roller 부착 등 일부를 보완할 경우 實用성이 클 것으로 판단되어 刺網漁業의 機械化가 가능하게 되었다.

#### 마. 끝낚시 漁具漁法 改良試驗

끝낚시 漁業의 人力 減少와 操業能率向上을 위하여 電子感應式 自動揚繩機를 考案, 製作하여 海上試驗을 실시한 결과 漁獲與否 自動感知와 揚繩은 물론 漁獲量에 따라 揚繩 與否, 揚繩速度의 任意 調整이 가능하여 實用성이 매우 큰 것으로 판단되었다.

따라서 人力을 현재보다 약 50% 減少시킬 수 있고, 操業能率 향상이 가능한 것으로 판단되었다.

### 3. 水産物 利用加工 技術

多獲性 水産物の 利用度 提高를 위하여 정어리에 대한 製品 開發試驗을 實施하였다.

既히 試驗 開發한 정어리 醱酵液化物의 加工方法에 있어 보다 速成化하고 産業의 適用에 實效성을 높이기 위한 試圖로서 加溫 前處理 操作中에 加水(20%)와 食鹽을 段階의 으로 添加함으로써 熟成期間의 短縮과 收率을 높일 수 (16.5%) 있는 速成醱酵液化物의 加工 條件을 補完하였다. 이 以外도 醱酵液化物의 最終 製品에서 生成되는 白色結晶成 物質의 生成防止 方法 究明과 液化物를 利用한 顆粒狀製品의 加工方法도 檢討하였다.

또한 1987년에 加工方法을 開發한 改良煉肉을 素材로 하여 製造한 정어리 버거(burger), 부침개 등 製品의 組織感 改善과 비린냄새 隱蔽(masking)로 商業的 製品化 可能性도 確認하였다.

水産物の 營養價値와 利用에 따른 科學的 基礎資料 提供을 위하여 主要 水産物 78種에 대한 아미노酸 組成과 海藻類 22種에 대한 食餌性 纖維素 含量을 究明하였으며 이들 調査 結果는 1989년에 既히 發刊한 韓國水産物 成分表에 今後 補完 收錄할 계획이다.

그리고 韓·美 貝類衛生協定 運營과 關聯하여 輸出用 貝類生産 指定 海域과 그 인근 水域을 包含하는 38,000ha에 대한 細菌調査와 더불어 貝類에서의 비브리오敗血菌의 消長, 貝毒 및 殺蟲劑 汚染調査를 實施하였으며, 이 以外도 優良 醱酵菌株 開發을 위한 選拔菌의 形質改良에 관한 研究를 實施하였다.

'91年度에는 정어리, 꽂치, 고등어 등의 精肉통조림 量産化 技術 開發 試驗과 醱酵液化物의 加工試驗을 繼續하고 있으며 主要 水産物에 대한 아미노산 및 核酸含量을 調査中에 있다. 또한 韓·美 貝類衛生協定

의 運營을 위한 關聯試驗調查를 비롯하여 貝類養殖場에 대한 放射能調查, 貝類 梅毒調查와 것갈 加工技術開發을 위하여 醱酵에 關여하는 微生物의 形質改善 研究 등을 實施中에 있다.

### 第 3 節 基礎調查事業

#### 1. 海洋環境

##### 가. 海洋

우리나라 沿近海 海洋環境의 合理的 利用, 管理 및 保全을 위한 科學的인 基礎調查로서 韓國近海漁場의 海洋觀測調查(海洋物理, 化學, 生物學的 調查)를 東·西·南海의 22개 定線 175개 定點의 年6回 調查(西海는 5回)와 西海南部海域의 18개 定點에서 年2回 前線調查를 實施하였으며, 특히 人工衛星映像 受信裝備로 NOAA 人工衛星의 海面映像을 受信하고 周邊海域에서 操業하고 있는 漁船으로부터 現場表面水溫을 通報받아 海況을 把握하는 海洋遠隔探查를 並行하여 實施하는 한편 81개 沿岸定地觀側所에서 每日 海洋物理 및 氣象學的 調查를 實施하였다. 아울러 22개소에서 年4回 人工魚礁 效果調查를 實施하고, 人工魚礁의 構造의 特性을 究明키 위해 六角魚礁를 開發하여 既 開發된 魚礁(3種)와 比較 研究코자 慶南의 2개 海域에서 年3回 調查, 室內水槽에서 年2回 實驗을 實施하였다.

한편, 南海西部 沿岸海域 40개점에서는 底質組成 및 變動狀況을 把握하기 위해 年2回 底質調查를 實施하고 國內·外의 海洋科學資料와 情報蒐集, 處理分析, 保管, 交換 및 配布를 위한 韓國海洋資料센터(KODC)를 運營하였다.

#### 나. 環境

沿岸漁場 環境汚染 調査를 위하여 全國主要 臨海工團 및 周邊 水域에 設定된 255個 調査點에서 化學的酸素要求量, 溶存酸素 및 營養鹽類 등 理化學的 水質指標成分에 대하여 年4回, 海水, 水産物 및 底質中の 重金屬 含量調査 年 2回 實施하여 全國 沿岸의 環境汚染 變化 樣相을 把握하였다.

또한, 赤潮에 의한 養殖生物의 被害를 輕減시키기 위하여 南·西海岸에서 赤潮豫察을 年7回 以上 實施하고, 海水 및 貝類中の 有毒性플랑크톤의 出現種과 出現量을 調査하였으며, 沿岸汚染 指標生物로 중요한 種에 대해서는 室內 人工培養 實驗에 의해 그들의 生理生態의 特性을 究明하였다.

한편, 鎮海灣 일원에서 주로 夏季에 發生하는 貧酸素水塊의 形成機構와 그 變動狀況을 精밀 파악, 水産物의 被害를 극소화하기 위하여 溶存酸素의 變動狀況 追跡 및 化學的 特性 調査를 實施하였다.

全國 水産資源保全地域(海面 10個所, 內水面 19個所)에 設定된 153個 調査點에 대하여 化學的酸素要求量을 비롯한 理化學的 水質 指標成分을 年 4回(內水面은 年 3回), 魚·貝·藻類의 生産動向 및 出現種 調査를 年 2回 실시하여 水産資源保全地域의 水質環境變化를 파악하여 水域 保全管理의 基礎資料로 活用하고 있다.

#### 2. 遠洋漁業資源

遠洋漁業資源의 持續의 利用과 合理的인 管理를 위하여 다랭이延繩, 다랭이旋網, 트롤, 새우트롤, 오징어流刺網, 오징어채낚기, 공기棒受網 등 7個 主要漁業을 對象으로 漁獲統計 및 生物學的 資料를 蒐集, 分析

하여 資源의 動態를 把握하고 황다랭이, 눈다랭이, 가다랭이, 날개다랭이, 명태, 꽁치, 빨강 오징어, 웰링톤오징어, 알젠틴오징어, 골드오징어 등의 10個 主要魚種을 對象으로 漁獲物 크기, 成熟狀態등의 生態調査를 實施하였다. 遠洋出漁船으로부터 蒐集한 操業實績報告書 및 生物學的 調查資料와 實驗室內에서의 魚體精密測定資料, 其他 海外情報資料를 利用하여 遠洋漁業資源의 動態 및 生態把握과 資源評價를 實施하였고 分析된 結果는 遠洋漁業의 政策資料 및 漁業活動에 필요한 情報로서 提供되었으며 國際水產機構 및 雙務會議(韓·美, 韓·뉴지, 韓·漾, IOFC, ICCAT, CECAF, NAFO, FAO, CCAMLR, IPTP, IATTC, IPFC, SPC)에 提出되었다. 또한 韓·美漁業資源專門家會議, 大西洋다랭이 保存委員會, 北太平洋公海漁業管理會議, 베링해명태 國際심포지움 등의 6個 國際會議에 參席하여 我國의 權益을 保護하는 한편, 北太平洋漁場의 안정적 確保를 위하여 試驗調査船 釜山851號에 우리나라 및 美國의 研究陣이 共同으로 乘船하여 漁業生物의 特性, 分布와 漁場環境과의 關係 究明으로 操業船의 能率向上과 漁獲增産에 奇與하였고 오징어, 꽁치 등 産業的으로 重要한 魚種과 生態系에서 重要한 位置를 차지하고 있는 水產生物의 相互關係를 究明하여 漁業對象種을 追加로 開發함으로써 遠洋漁場의 안정적 確保를 支援케 하였으며 오징어 流刺網漁業에 의한 關係國의 保護對象資源인 연어, 海洋哺乳動物(물개, 고래류 등)의 附隨的 漁獲狀態 把握을 위한 基礎資料를 축적함으로써 國際漁業紛爭解消과 合理的인 資源管理에 對處하였다.

### 3. 沿近海 漁業資源

沿近海 漁業資源의 最大持續的 生産性維持를 圖謀하기 爲하여 沿近海

主要漁業資源 18種에 대한 資源生物學的 調査 研究을 실시함과 동시에 主要漁業(13個 漁業) 對象資源의 動態調査와 主要 漁業資源의 分布生態 및 資源量을 迅速 正確하게直接的으로 調査할 수있는 새로운 방법인 科學魚探에 의한 漁業資源調査를 實施하였다.

또한, 韓·日 漁業資源 共同調査를 실시하여 韓·日漁業共同委員會 運營에 필요한 資源 評價資料를 提供하였다.

한편, 沿近海 漁業의 漁獲能率 向上을 위하여 主要 漁業(10個 漁業)에 대한 月別, 週別 漁況豫測을 실시하여 魚群分布 密度가 높은 中心 漁場에서 漁船이 操業할 수 있도록 弘報資料를 提供하였다.

## 第 4 節 水産技術 指導 普及

### 1. 技術指導 및 弘報

#### 가. 水産技術普及

科學的 營漁技術普及으로 安定的 生産 및 漁家所得向上을 위하여 全國 1,588개 漁村契 및 內水面에 대하여 漁村指導 公務員을 專指 配置, 延 41千여회에 걸쳐 現地巡廻指導를 實施하여 807千톤의 養殖生産(淺海, 內水面)을 올리는 데 寄與하였다.

增養殖 漁業秩序確立과 適正生産을 위하여 養殖施設前 漁場整理 및 整備와 適正施設을 하도록 事前 指導를 強化하였으며, 指導事業의 效果 提高와 安定生産을 위하여 27개 主要養殖團地와 39개 沿岸 港浦口를 對象으로 漁場豫察을 強化, 海況과 作況, 病蟲害 發生動向 등을 把握하여 漁民과 有關機關에 通報, 이에 對處할 수 있도록 함은 勿論, 地域特



性を考慮한 專門指導班을 編成, 品種別 養殖 重要時期에 病蟲害豫防과 治療對策 및 害敵生物驅除 등에 대하여 重點指導함으로써 安定生産에 寄與하였으며, 이와 아울러 54개 赤潮豫察班과 34개 災害豫防 督勵班을 編成 運營함으로써 被害最小化 指導에 積極 努力하였다.

또한 이미 開發된 技術의 普及과 새로운 所得源으로 開發이 必要한 品種에 대하여 地域別로 示範漁場 35個所를 運營함으로써 營漁技術의 迅速하고도 效率의인 普及에 寄與하였다. 특히 굴, 전복 등 8개 品種의 養殖漁場 適正管理 成功事例 25件을 發掘, 成功事例集으로 發刊·配布함으로써 漁民들의 養殖漁場 保全意識을 鼓吹시켰다.

그리고 研究開發된 水産技術과 漁業情報를 迅速히 傳達·普及하기 위하여 魚類疾病對策 및 養殖場 環境管理 등 6개 分野를 對象으로 비디오, 슬라이드, 刊行物(技術誌) 등의 水産弘報資料를 製作, 供給하여 對 漁民指導時 活用토록 함은 勿論, 新聞, 放送(3.4千回)등을 통하여 新技術과 時期別 漁場管理事項, 海漁況情報 및 水産施策內容을 每週, 每月 單位로 弘報하였으며, 또한 養殖豫報를 隨時로 發刊·配布하고 漁村指導 事例의 發掘·弘報과 國立水産振興院에 마련되어 있는 水産에 관한 展示室 開放 등의 對 漁民 弘報活動을 展開함으로써 時宜에 맞는 水産情報傳達과 漁民들의 理解增進에 크게 寄與하였다.

#### 나. 漁民教育 및 漁民後繼者指導

高度産業社會에서 漁村의 社會, 經濟的 環境 및 沿岸漁業構造를 둘러싸고 있는 漁業環境의 變化에 對處해 나갈 수 있도록 營漁技術普及 및 政府의 水産施策 弘報를 위하여 漁民教育을 實施함으로써 漁業經營의 合理化를 圖謀하고 나아가서 健全漁村을 育成 하는데 目標을 두고, 全國의 20개 漁村指導所에서 水協과 合同으로 漁民 48千여名에게 集合教

育을 實施함과 同時에, 主要養殖品種에 대해서는 地域別 漁業循期에 맞추어 專門指導班을 編成하여 全國의 1,588개 漁村契를 巡廻하면서 漁民 46千여名에게 技術教育을 實施하였다.

한편, 漁業에 從事할 漁村靑少年을 對象으로 이들을 福祉漁村建設의 旗手로 育成하여 漁村에 完全 定着시키는데 目標을 두고, '81~'90년까지 選拔된 4,447名の 漁民後繼者를 地域 水産發展을 主導할 수 있는 專門 水産人으로 育成하기 위해 漁民後繼者 個人別 專擔指導士를 指定配置, 現場中心의 巡訪指導를 32千回 實施함으로써 事業推進能力을 培養토록 함은 勿論, 各種 水産技術誌 5種 59千部를 漁民後繼者들에게 配付, 水産技術情報를 適期에 提供함으로써 營漁活動의 科學化를 꾀하였다.

또한, 地域別 漁民後繼者 事業推進評價會를 開催함과 同時에 地域別 漁民後繼者 自生組織協議會 137個所를 對象으로 先進地 見學, 懇談會 開催 등을 통한 水産情報 交流 및 相互 親善圖謀를 꾀하였고, 특히 地域社會 參與 活動 指導를 통하여 漁民後繼者들이 漁村의 指導者로 活動하는 등 漁村社會의 中樞의인 役割을 遂行하도록 하는 데 寄與하였다.

## 2. 漁村指導 機能 強化

沿岸 主要 市·郡地域의 20개 漁村指導所를 對象으로 새로운 技術普及과 情報交換등 地域漁民들에 대한 指導據點 機能을 強化하기 위하여 漁村指導所 施設 擴充을 年次的으로 推進키로 하고 水産勢力이 큰 地域을 優先的으로 選定, '89년까지 全南의 莞島 및 麗水漁村指導所의 廳舍를 增築한 것을 비롯하여 '90年度에는 全南의 高興漁村指導所의 廳舍를 增築하였으며, 江原道の 東海漁村指導所에 官舍를 新築함으로써 20개 漁村指導所의 官舍確保를 完了하였다.

아울러 보다 效率的인 對漁民指導 活動을 위하여 忠南의 泰安漁村指導所 등 5개 漁村指導所에 車輛을 新規로 確保하여 '90년까지 총 14개 漁村指導所에 車輛을 配置하였으며, 顯微鏡, 二輪車 및 分光光度計 등 適地調査 裝備을 包含하여 총 11종 36점의 專門技術 指導裝備을 補強하였다.

한편, 漁民들의 새로운 專門技術指導 需要가 많은 分野인 魚類繁殖과 疾病對策등에 關하여 漁村指導公務員 20名에게 國立水産振興院 傘下 水産種苗培養場과 內水面研究所 등에서 主要漁業時期를 攄하여 1個月에 걸쳐 現場 實技實習 爲主의 專門技術教育을 實施함과 아울러, 國立水産技術訓練所에서 漁村指導公務員 50名을 對象으로 1週間의 經營教育을 實施하였고, 水産研究財團基金 등에 의한 海外研修를 實施하여 '90년에는 漁村指導公務員 8名에게 日本研修를 實施함으로써 先進技術과 情報交流 등을 통한 對漁民 指導事業의 專門化에 努力하였다.

國立水産振興院의 對漁民 指導事業에 漁村契長, 模範 漁民後繼者 또는 篤漁家 등 漁村地域내 指導級 人士의 自進參與를 擴大하기 위하여 '87年度에 自願 漁村指導者 36名을 委囑한 것을 始作으로 '90年度에 75名을 追加로 委囑함으로써 그동안 총 200名의 自願漁村指導者를 確保하여 이들을 통하여 自己의 漁場을 開放하거나, 漁民教育 등 各種 臨時 營漁事例 發表 등의 現場體驗 傳播, 漁村動向 把握 및 漁村指導事業方向 諮問 등의 協助를 통한 地域特性에 副應한 對漁民 指導事業의 機能을 強化하고 漁民의 自律的 參與 基盤을 造成함으로써 指導效果를 높이는데 寄與하였다.

그 밖에 全國의 1,588개 漁村契를 對象으로 指導業務와 關聯된 現況資料를 體系的으로 整理하여 活用토록 하기 위한 漁村契 指導現況 카드를 作成 備置토록 하였으며, 內水面分野 指導需要에 能動的으로 對應할

수 있도록 '90. 8月부터 忠北일원의 內水面分野 指導를 擔當토록 할 忠州駐在(忠北道 內水面開發試驗場내)를 新設하여 漁村指導公務員을 配置 內水面 指導活動을 遂行토록 하였다.

## 第 5 節 漁業技術 向上과 訓練

### 1. 水産技術訓練

#### 가. 基本教育

水産關係 公務員을 對象으로 公職觀과 使命感에 透徹한 水産公職者像 定立과 補修教育을 통한 職務教育 遂行能力 培養을 教育의 目標로 두고 中堅管理課程 1回 34名, 實務者 補修課程 5回 283名, 新規實務者課程 63名等 7回 380名에 對하여 教育을 實施하여 發展的인 業務遂行 能力을 涵養하였다.

특히 行政의 專門化 趨勢에 副應하기 爲하여 教育對象者의 職務性格에 따라 班을 細分化하고 班의 特性에 適合한 教科目을 編成, 運營함으로써 教育效果提高에 寄與하였다.

#### 나. 專門教育

水産行政의 國際化, 專門化, 科學化 趨勢에 能動的으로 對處해 나갈 수 있는 專門技術 要員 養成을 目標로 政策開發班 1回 32名, 水産經營班 1回 93名, 資源保護管理班 1回 74名, 內水面魚類繁殖班 1回 73名, 漁家經濟調查班 1回 60名, 電算實務者班 5回 131名等 10回 463名을 教育하였다.

#### 다. 漁民教育

漁村에 定着하여 福祉漁村을 이끌어갈 漁民後繼者를 對象으로 漁船漁業分野 1回 89名, 水產繁殖分野 12回 298名에 對하여 營漁技術教育을 實施하였다. 特히 教育對象者의 特殊性을 勘案, 業種에 따라 教育班을 設定하여 關聯事業場에서 實技·實習 爲主의 教育과 先進水產業體 現場 巡迴教育 實施로 經驗式·參與式等 教育技法을 多樣化하고 收益性이 높은 有望開發品種에 對한 集中教育 및 地域 特性에 符合된 教育으로 教育效果를 높였다.

또한 全國 漁村契長을 對象으로 漁民이 自律的으로 水產資源을 保護 하도록 不法漁業 根絶教育(1回 61名)을 實施하였다.

#### 라. 漁船員 教育

海洋汚染防止로 淸淨한 海洋環境 保存과 國民健康 및 財産을 保護하기 爲한 海洋汚染防止管理人 教育을 3回(318名) 實施하여 漁船의 汚染防止管理 能力을 높였으며, 漁船員 海上生活의 安全한 海外旅行時 國威 宣揚을 爲한 漁船員 素養教育은 教育生의 便宜를 爲해 '90.8.1 韓國漁業技術訓練所에 移管하였다.

## 2. 海技員養成

韓國漁業技術訓練所에서는 '90년까지 6,239名의 海技員(海技士課程 3,500, 普通船員課程 2,607, 通信課程 132)을 養成하였고, '86.7월 에 新設된 漁船海技士 安全教育課程을 履行한 船員은 16,286名이었으며, 政府의 對外技術供與計劃에 의한 外國人 訓練生은 總 80個國 524 名을 輩出하였다.

〈表 75〉 韓國漁業技術訓練所 教育訓練 實績

課程	年度								
	計	'66~'84	'85	'86	'87	'88	'89	'90	
計	23,049	5,225	389	1,223	3,848	5,887	4,099	2,368	
内 國 人	6,239	4,959	312	210	254	238	169	97	
・ 海 技 士 課 程	3,500	3,146	119	23	62	59	46	45	
・ 普 通 船 員 課 程	2,607	1,681	193	187	192	179	123	52	
・ 通 信 課 程	132	132	-	-	-	-	-	-	
外 國 人	524	276	27	46	28	43	33	21	
(國 家 數)	(80)	(63)	(33)	(26)	(20)	(18)	(20)	(16)	
海 技 士 安 全 教 育	16,286	-	-	967	3,566	5,606	3,897	2,250	

資料：水産廳 國際協力擔當室

註：國家數중 重複된 나라는 除外하였음.

## 第 7 章 漁村開發과 漁民支援

### 第 1 節 漁村開發

#### 1. 漁村綜合開發

우리 漁村은 大部分이 島嶼 또는 奧地에 所在하고 있고 交通手段 等 社會間接資本이 未備하며, 臨海工團의 建設·埋立 等으로 漁場面積이 縮小되고 工場廢水, 生活下水의 流入으로 水質이 汚染됨으로써 漁獲量 增加勢가 鈍化되고 있다.

따라서 政府는 漁村의 定住基盤을 造成하여 漁民들의 離村을 防止하고 地域間·産業間의 均衡있는 發展을 圖謀하기 위하여 漁業開發 潛在力과 協業事業 遂行能力이 있는 低所得漁村을 對象으로 1個 漁村當 2~6個 範圍의 地域與件과 特性에 알맞는 漁民 希望事業을 選定하여 全額補助로 支援하고 있다.

<表 76>

漁村綜合開發事業 推進實績

單位：百萬元

	計	'88	'89	'90
物量(個所)	32	2	15	15
事業費	9,405	392	4,413	4,600

資料：水産廳 協同組合課

## 2. 漁民福祉會館 建立

漁船員 및 漁民들의 厚生福祉增進을 圖謀하고 漁業生産性增進에 寄與하기 위하여 '90년에는 5個所(江原, 慶北, 全北, 全南, 濟州)의 漁民福祉會館建立을 위해 1,261百萬원의 豫算을 支援하였다.

## 3. 漁民後繼者 育成

60年代 以後 工業化 내지는 都市化가 急速 하게 推進됨으로써 相對的으로 落後된 漁村에서는 有能한 靑少年들의 離漁現象으로 새로운 知識과 技術普及 未洽, 漁業勞動力의 質의 低下, 都市·漁村間 所得隔差 深化로 漁村經濟의 活力이 低下되어 漁村의 成長과 生産力 向上의 鈍化 現象이 나타나고 있다. 政府는 이러한 問題를 解決하기 爲하여는 漁村을 發展시킬 核心的인 人力養成의 必要性을 認識하고 漁村에 定着하여 漁業을 營爲할 意思와 能力이 있는 有能한 靑少年을 發掘, 支援하는 事業을 繼續하고 있으며, 最初 着手年度인 1981년부터 1990년까지 總4,447名의 靑少年을 選拔하여 34,348百萬원의 長期 低利資金을 支援,

<表 77>

漁民後繼者 育成 實績

單位：名, 百萬元

漁業別	計		'81~'89		'90	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額
計	4,447	34,348	4,297	32,848	150	1,500
漁船漁業	2,689	21,973	2,602	21,103	87	870
魚貝類養殖	842	6,616	796	6,156	46	460
海藻類養殖	872	5,489	856	5,329	16	160
水産物加工	44	270	43	260	1	10

資料：水産廳 協同組合課



漁村에 定着케 하였다. 그 結果 이들은 漁村社會의 有能한 指導者로 浮刻되어 新技術과 新品種의 普及據點의 役割로 새로운 所得源의 開發, 生産原價의 節減, 漁民所得의 增大等 漁村經濟의 活性化를 促進시켜 나가고 있다.

#### 4. 漁村觀光 所得源開發

國民所得의 持續的인 向上으로 國民의 生活與件이 好轉됨에 따라 休息空間, 觀光地, 文化空間에 대한 需要가 크게 늘고 있다.

政府는 이러한 都市民의 레저需要를 豊富한 觀光資源을 지닌 漁村地域으로 誘致하여 國民情緒의 涵養은 勿論, 漁村 遊休勞動力의 雇傭機會 創出과 所得增大를 圖謀함으로써 漁民들의 漁村 定着基盤을 마련하고자 '90年 처음으로 漁村觀光 所得源開發事業을 推進하기 위하여 賦存資源의 開發效果가 期待되고 事業經營能力이 있는 漁村契를 選定. 農漁村開發基金 融資 195百萬元, 地方費 12百萬元, 自擔113百萬元, 計 420百萬元을 投入하여 筏집(活魚場) 4個所를 施設토록 支援하였으며 融資金의 償還期間은 3年据置 7年償還에 金利는 年 8%이다.

## 第 2 節 水産資金 供給擴大

### 1. 營漁資金

'90年度 營漁資金 支援은 '89年度보다 1,200億원이 增加된 6,000億원으로 沿近海漁業에 5,190億원, 遠洋漁業에 810億원을 供給하였으며 資

金調達 能力이 微弱한 零細 小規模漁業 및 共同·申告漁業 漁民을 優待 支援하기 위하여 漁業經營 規模가 적을수록 融資비율을 높이는 差等 支援 制度를 마련 施行하였다.

<表 78>

營漁資金供給実績

單位：億圓

		'89	'90	増(△)減
所 供 給	要 給 額	8,146	9,110	964
	給 率	4,800	6,000	1,200
	率(%)	59	66	7
調 達	財 政 資 金	648	765	117
	轉 銀 借 入 金	1,878	2,617	739
	水 協 自 體 資 金	2,274	2,618	344
運 用	沿 近 海 漁 業	4,210	5,190	980
	遠 洋 漁 業	590	810	220

資料：水産廳 協同組合課

## 2. 水産振興財政資金

水産振興財政資金 85億圓은 營漁資金을 支援받지 못하는 製造加工分野 및 水産用 機資材 生産等に 支援함으로써 漁業과 水産製造業의 均衡 發展을 圖謀하였다.

<表 79>

水産振興財政資金運用実績

單位：百萬圓

	'89	'90	増(△)減
計	8,500	8,500	-
○ 水産物製造加工	6,500	6,500	-
- 冷凍·冷蔵加工	3,000	3,000	-
- 号조림加工	2,500	2,500	-
- 調味加工	500	500	-
- 海藻加工	500	500	-
○ 漁網生産	2,000	2,000	-

資料：水産廳 協同組合課

### 3. 農漁村發展基金

農漁民後繼者育成基金, 農業機械化促進基金, 水産振興基金과 農漁村地域開發基金 등을 統廢合하여 새로이 設置한 農漁村發展基金은 '90年度 水産業分野에 總 343億원을 支援하였다. 細部事業別로는 經濟性漁船建造 1,600톤에 51億원, 水産物處理加工 施設 16個所에 92億원, 漁民後繼者 150名에 15億원, 委販場廢水處理施設 및 漁村觀光開發事業等에 78億원을 支援하여 漁船漁業의 經營合理化와 水産物食糧化事業을 推進하였으며 漁民後繼者의 漁村定着事業을 착실히 遂行함으로써 水産業의 構造를 改善하는 한편, 漁船設備改良 및 低效率機關 代替事業에 107億원을 支援하여 安全操業과 生産性 向上에 寄與하였다.

〈表 80〉 '90 農漁村發展基金 運營規模 單位：百萬元

事業別	'89		'90		金利 (%)	融資期間(年) 据置/償還
	物量	金額	物量	金額		
計		27,100		34,297		
○ 水産業構造調整		23,100		23,565		
- 經濟性漁船建造	1,600톤	5,120	1,600톤	5,120	5	3/10
- 水産物處理加工施設	20個所	17,980	16個所	9,200	8	3/5
- 漁民後繼者支援			150名	1,500	5	3/7
- 廢水處理, 觀光開發			12個所	1,255	7	3/7
- 製造加工 및 機資材 生産等運營資金支援			45個所 31隻	6,490	8	3/7
○ 輸入補充對策費		4,000		10,732		
- 漁船設備 및 裝備改良	586대	1,184	51隻	5,100	5	1/4
- 漁船機關代替	22,000	2,816	44,000	5,630	5	1/4

資料：水産廳 協同組合課

#### 4. 水協 自體資金

水協 自體資金의 圓滑한 調達을 위하여 一般與受信店鋪 6個所('90末 115個所)와 相互金融店鋪 38個所('90末 219個所)를 增設하였고 全 店鋪에 온라인 網을 構築 顧客에 대한 서비스를 強化하므로서 水協의 自體資金을 '89年度보다 2,287億원이 增加한 1兆4,352億원을 調達 運用 하였다.

<表 81>

水協 自體資金 造成 및 運用

單位 : 億원

區 分		'89		'90		增(△)減率 (%)
		金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	
調 達	自 體 資 金	5,595	46	7,060	49	26
	- 預 受 金	3,236	26	4,448	31	37
	- 特別會計預託	1,175	10	1,029	7	-12
	- 會員換決濟	1,184	10	1,583	11	34
	借 入 金	5,699	47	6,502	45	14
	- 韓 銀	2,028	17	2,341	16	15
	- 財 政 資 金	1,527	13	1,709	12	12
	- 諸 基 金	2,075	17	2,452	17	18
- 外 貨	69	-	-	-	-	
其 他	771	7	790	6	2	
計		12,065	100	14,352	100	19
運 用	貸 出 金	9,309	77	11,105	77	19
	- 金 融	5,400	45	6,585	46	22
	- 財 政	3,909	32	4,520	31	16
	他 事 業 支 援	685	6	415	3	-39
	現 金 及 預 置 金	1,043	9	1,492	11	43
	其 他	1,028	8	1,340	9	30

資料 : 水協中央會

### 第 3 節 水産團體 育成

#### 1. 水産業協同組合

##### 가. 組織

水産業協同組合法 改正(法律 第4,084號, '88.12.31)으로 水産業協同組合의 組織 및 運營의 自律性과 民主性이 擴大 保障됨에 따라 過去 組合整備時 統·廢合된 組合을 中心으로 組合의 分割·設立움직임이 擴大되었다.

그러나 組合 設立後의 自生能力을 勸案 事業量 및 經營基礎를 確保하여 組合運營이 可能的 것으로 判定된 泗川郡水産業協同組合等 5個所의 地區別水産業協同組合을 分割·設立認可함으로써 水協組織은 中央會와 78個組合(地區別組合62, 業種別組合14, 水産物製造組合2)으로 擴大 改編되었다.

〈表 82〉 水協의 組織

	單位	'80	'84	'89	'90
水協中央會	個所	1	1	1	1
會員組合	"	86	72	73	78
- 地區別	"	69	56	57	62
- 業種別	"	15	14	14	14
- 製造業	"	2	2	2	2
組合員	千名	124.5	137.3	149.8	153.9

資料 : 水協中央會

〈表 83〉 '90年度 新設組合現況

組 合 名	認可日字	組合員數	業 務 區 域
泗川郡水協	'90. 6. 16	495名	慶南 泗川郡 西浦面 一圓
金日 "	'90. 6. 19	922 "	全南 莞島郡 金日邑 "
樂山 "	'90. 6. 19	1,013 "	" " 樂山面 "
蕙瑟浦 "	'90. 8. 1	1,379 "	濟州道 南濟州郡 大靜邑 "
遠德 "	'90. 11. 17	547 "	江原道 三陟郡 遠德邑 "

資料：水産廳 協同組合課

나. 運營

(1) 事業規模

'90年度の 水協의 總事業規模는 59,488億원(中央會：34,332億, 會員組合：25,156億원)으로 前年度에 比하여 9,513億원이 增加한 19%의 成長趨勢를 記錄하였는 바, 이는 주로 會員組合의 販賣, 相互金融, 信用事業等이 꾸준히 伸張하고 있는데 基因하고 있다.

〈表 84〉 水協事業規模

單位：億원

區 分	'80	'84	'89	90	'90/'89(%)
計	12,962	26,825	49,975	59,488	119.0
中 央 會	7,650	16,100	28,915	34,332	118.7
會 員 組 合	5,312	10,725	21,060	25,156	119.4

資料：水協中央會

(2) 收支狀況

'90年度の 水協中央會의 事業收益은 前年度에 比하여 31,228百萬원이 增加한 406,264百萬원이었으나 事業費用은 39,496百萬원이 增加한

413,642百萬元으로 7,378百萬원의 赤字를 記錄하였다.

<表 85> 水協中央會 收支狀況 單位：百萬元

	'80	'84	'89	90	'90/'89(%)
收 益	57,311	271,887	375,036	406,264	108.3
費 用	56,824	270,751	374,146	413,642	110.5
剩 餘	477	1,136	890	△7,378	△828.9

資料：水協中央會

한편 會員組合은 地區別水協의 境遇 委販手數料과 貸出利子가 主된 收益源으로, 收益은 前年對比 42,273百萬元이 增加한 204,886百萬元 이며 費用은 大部分이 借入金利子, 事業管理費 등으로 '89年度보다 41,442百萬元이 증가한 195,301百萬元으로 9,585百萬원의 當期 純利益을 示現하였다.

<表 86> 會員組合 收支狀況 單位：百萬元

	'80	'84	'89	90	'90/'89(%)
收 益	66,291	80,611	162,613	204,886	125.9
費 用	65,441	78,522	153,859	195,301	126.9
剩 餘	850	2,089	8,754	9,585	109.4

資料：水協中央會

### (3) 出資金 造成

水協自立基盤 確立의 基礎가 되는 出資金은 '90年度 水協中央會가 '89年對比 6%가 增加한 12,935百萬원을 擴大 造成하였으나 經營實績의 不振으로 會員組合에 對한 出資配當은 하지 못하였으며, 會員組合은 '89年度에 비해 0.8%가 增加한 64,679百萬원을 造成하였고 組合員에 대하여 4,714百萬元(基準出資金平殘 7.2%)의 出資配當을 하였다.

<表 87>

出資金 造成 狀況

單位：百萬圓

	'80	'84	'89	90	'90/'89(%)
計	13,915	36,597	76,302	77,614	101.7
水協中央會	2,239	7,397	12,193	12,935	106.1
會員組合	11,676	29,200	64,109	64,679	100.8
- 地區別	9,616	23,949	53,785	53,863	100.1
- 業種・製造別	2,060	5,251	10,324	10,816	104.7

資料：水協中央會

2. 水産物 輸出團體

水産物 輸出團體는 對外貿易法에 의하여 設立된 韓國水産物輸出組合과 水産者團體이면서 輸出團體로서의 機能을 遂行하고 있는 水産業協同組合中央會, 韓國遠洋漁業協會, 韓國內水面漁業協會, 大韓漁網工業協會 등 5個 團體가 있다.

<表 88>

水産物 輸出團體 現況

團體名	根據法律	認可者(認可日)	輸出推薦品目
韓國水産物輸出組合	對外貿易法 第55條	商工部 長官 ('86.5.1)	活・鮮, 冷凍魚類, 軟體動物 간미역, 취치포등(53個品目)
水産業協同組合中央會	水産業協同組合法	水産廳長 ('62.4.1)	굴통조림(1個 品目)
韓國遠洋漁業協會	民法 第32條	水産廳長 ('64.4.1)	新鮮・冷蔵, 冷凍참치류(8個 品目)
韓國內水面漁業協會	民法 第32條	水産廳長 ('70.4.15)	活 뱀장어(1個 品目)
大韓漁網工業協會	民法 第32條	水産廳長 ('66.3.31)	網 및 끈類(16個 品目)

資料：水産廳 貿易課

註：輸出推薦品目數는 HS 分類(10單位)에 의함.

이들 水産物 輸出團體는 對外貿易法 第18條의 規定에 의한 輸出入公告上으로 委任받은 輸出對象品目の 輸出推薦業務를 管掌함으로써 當該



品目的 輸出增大에 寄與하고 있고, 그의 輸出秩序의 維持 및 會員社에 대한 輸出支援資金의 配定등 會員 共同利益 增進을 위한 業務를 遂行하고 있다.

### 3. 水産關聯 社團法人

91.7月末 現在 設立된 水産關聯 社團法人은 韓國遠洋漁業協會등 17 個 團體가 있으며 그 現況은 다음과 같다.

<表 89> 水産關聯 社團法人 現況

法 人 名	代表者	設立年月日	所 村 地
韓國 遠洋漁業協會	金在哲	64. 6. 4	서울·麻浦·桃花 2洞 173 (삼창프라자 빌딩 10층)
大韓漁網工業協會	梁映奎	55. 7. 18	서울·江南·三成洞159 (貿易會館 19층)
大韓冷凍協會	李順天	65. 5. 20	釜山·西區·南富民洞 694-4
韓國水産會	李義秀	65.11.16	서울·中區·中林洞355(대왕빌딩 630)
韓國漁船通信士協會	全世興	67. 8. 3	釜山·西區·南富民洞 151-22
韓國內水面漁業協會	鞠基一	70. 4. 15	서울·麻浦·城山洞 158-12
韓國水産冷凍運搬船協會	崔鎮太	77.10.19	釜山·中區·中央洞 3街12-3 (미진빌딩 5층)
全國漁士會聯合會	崔志永	81. 2. 5	서울·江南·新沙洞 514-15 (삼화빌딩 3층)
韓國미역加工協會	李容錫	81.10.15	서울·中區·會賢洞 1街 199-6 (자유빌딩 606호)
水 友 會	金命年	83.11.8	서울·中區·南大門路 5街 541 (대우빌딩 19층)
韓國 沿岸養魚協會	林德燮	85. 1. 19	慶南·忠武·港南洞 150-52
韓國水産技術研究院	金太準	87. 3. 30	釜山·影島·大平洞 1街 23
韓國 漁港協會	孫井植	87. 6. 3	서울·江南·論峴洞78(동일빌딩 302호)
韓國遠洋오징어流刺網協會	梁忠模	88.10.11	釜山·中區·南浦洞 6街 55
全國水産物仲買業協會	徐寬善	88.10.11	서울·麻浦·합정동 286-8
韓國水産物容器協會	權奇益	90. 9. 5	釜山·西區·南富民洞 691-3
機 船 引 網 協會	鄭相輝	91. 6. 12	全南·麗水市·南山洞 4

資料：水産廳 法務擔當官室

## 第 4 節 被害復旧 및 災害補償

### 1. '90被害復舊推進

豪雨·暴風 등 自然災害로 因하여 10次에 39,682百萬원의 水産被害가 發生, 이에 대해 被害復舊費 29,403百萬원을 支援하였으며 間接支援으로 中·高等學生 授業料 免除, 罹災民 救護, 無償糧穀支給, 營漁資金 償還延期 및 利子減免을 하여 被害漁民이 生業에 早速 復歸할 수 있도록 하였다.

<表 90>

被害 및 復舊費 支援內譯

單位：百萬元

區 分	被 害		復 舊 費 支 援					
	物 量	金 額	物 量	計	國 庫	融 資	地方費	自 擔
計		39,682		29,403	14,038	7,434	395	7,536
漁 船	997隻	1,702	954	3,863	708	2,193	-	962
漁 港	40個所	2,645	36	1,458	1,063	-	395	-
增養殖	64,229件	28,322	64,193	17,041	11,885	68	-	5,088
漁 網	17,887統	6,894	17,826	6,923	382	5,114		1,427
沉杭木	15,381本	119	14,731	118		59		59

資料：水産廳 施設課

### 2. 漁船 및 船員共濟 支援

漁船共濟 事故中 商法에서 定하고 있는 共濟者의 法定 免責事由인 戰爭, 其他의 變亂으로 發生한 事故의 範疇에 暴動·騷擾 등을 포함하고, 漁船의 自然消耗·瑕疵 等도 共濟者의 免責事由로 明示함으로써 災害補

償과 관련된 紛爭 素地를 事前에 防止토록 하고, 支給 共濟金 5,000萬 원 이상 漁船의 分損事故에 대한 共濟審査委員會 附議 制度를 廢止함으로써 共濟金을 迅速히 支給할 수 있도록 改善하였다.

또한 共濟料 割引·割増率을 縮小 調整하여 割増率 過多 適用에 따른 漁民의 共濟料 負擔을 緩和하는 한편 災害補償 責任이 있는 者가 船員法上 災害補償基準에 相應하는 充分한 金額으로의 共濟加入을 誘導하기 위해 船員特殊共濟 加入船員의 船員普通共濟 加入을 制限하였으며 30톤未滿 小型漁船員은 補助率을 35%에서 40%로 上向 調整하여 '90年度에 總41,005名에게 1,152百萬元을 支援하였다.

<表 91>

船員共濟料 國庫補助金 支援實績

單位：百萬元

區 分	'79	'84	'89	90	'90/'89(%)
人 員 (名)	39,937	47,767	46,667	41,005	87.9
補 助 額	90	473	1,114	1,152	103.4

資料：水産廳 協同組合課

### 3. 農漁業災害對策法 改正

颱風, 暴風, 海盜 等に 의한 水産被害는 風水害對策法에 依據 支援되고 있으나, 異常潮流, 赤潮現象 等に 의한 水産養殖物 被害는 支援制度가 없어 被害 發生時 營漁資金 融資 等 間接支援에 依存하여 왔다.

그러나, 農林水産部の 農業災害對策法을 '90.8.1 農漁業災害對策法으로 改正함으로써 '90年度부터 異常潮流 및 赤潮現象으로 인하여 發生된 水産養殖物 被害復舊費 支援이 可能하게 되었다.

## 第 5 節 水産關聯 稅制改善

### 1. 漁業用 機資材 附加價値稅 零稅率 適用

漁民이 使用하는 漁網, 浮子, 養殖 및 定置漁業用 로平等 13個 品目의 漁業用 機資材에 대하여 1989년부터 附加價値稅 零稅率을 適用하게 되어 漁民은 年間 約 84億원의 附加價値稅를 免除받고 있다.

그러나 아직도 他産業에 비하여 相對的으로 所得이 낮은 漁民들이 實質所得增大을 위하여는 漁船 및 附屬器機·裝備, 漁業用 로平等 零稅率 適用對象에서 除外되어 있는 主要機資材에 대하여도 附加價値稅 免稅를 위하여 關係部處와 緊密히 協議하고 있으나 他産業과의 稅制 衡平等 租稅政策上的 問題로 이의 實現을 보지 못하고 있다.

〈表 92〉 零稅率 適用 機資材 品目

1. 어망	2. 부자	3. 집어등	4. 자동조상기
5. 양망기	6. 양승기	7. 통발	8. 초호
9. 낚시	10. 연승	11. 발장	
12. 해녀용 잠수복·잠수복지·물안경 및 태약			
13. 폴리에틸렌로푸 및 폴리프로필렌로푸(양식어업 또는 정치어업용)			

資料 : 水産廳 漁政課

### 2. 所得標準率 引下

政府에서는 '90年度에 發生한 所得에 대한 所得稅 賦課時 適用할 所得標準率 調整에 있어 水産業의 경우 24個 全業種에 대한 所得標準率

構造를 收入金額에 따라 4段階로 適用하던 것을 2段階로 縮小 調整하여, 最高率을 다른業種(基本率의 1.36倍)의 절반 水準인 1.18倍로 낮추고, 最高率에 適用되는 收入金額의 區間幅도 다른業種(基本率의 1.36倍)보다 2배로 引上함으로써 實質的인 所得稅 減免效果를 가져왔으며, 특히 '90年度에 經營이 不實했던 延繩漁業은 基本率을 10%引下 함으로써 所得稅 輕減에 따른 經營改善에 이바지하였다.

<表 93> 水産業 分野 所得標準率 調整內譯

單位 : 百萬元, %

業 種 別	'89年度分				'90年度分			
	基本率		最高率		基本率		最高率	
	金額	率	金額	率	金額	率	金額	率
저 인 망	36-186	5.4	256	7.4	187	5.4	374	6.4
유 자 망	36-186	5.4	256	7.4	187	5.4	374	6.4
안강망(기선)	36-155	6.5	212	8.8	155.3	6.5	310.6	7.7
" (기타)	36-159	6.3	219	8.6	160.3	6.3	320.6	7.5
선 트 망	36-144	7.0	197	9.5	144.2	7.0	288.4	8.3
선 트 벌 어	36-130	7.7	197	11.6	131.1	7.7	262.2	9.1
통 벌 어	36-162	6.2	223	8.4	162.9	6.2	325.8	7.4
선 인 망	36-168	6.0	250	8.9	168.3	6.0	336.6	7.1
선 채 낚	36-168	6.0	230	8.2	168.3	6.0	448.8	5.4
연 기 승	36-203	5.0	276	6.8	224	4.5	336.6	7.1
정 치 망 (대형)	36-184	5.5	251	7.5	183.6	5.5	367.2	6.5
" (소형)	36-226	4.5	307	6.1	224.4	4.5	448.8	5.4
잠 수 기	36-168	6.0	230	8.2	168.3	6.0	336.6	7.1
포 경	36-168	6.0	230	8.2	168.3	6.0	336.6	7.1
기 타 어	36-184	5.5	251	7.5	183.6	5.5	367.2	6.5
내 수 면 양	36-80	11.5	110	15.7	87.8	11.5	175.6	13.6
패 류 (투석식)	36-101	9.0	138	12.3	112.2	9.0	224.4	10.7
" (살포식)	36-159	5.7	219	7.8	177.1	5.7	354.2	6.3
" (수하식)	36-144	6.3	197	8.6	160.3	6.3	320.6	7.5
해 조 류	36-155	5.9	212	8.1	171.1	5.9	342.2	7.0
해 면 어 류 양	36-87	10.5	120	14.3	96.1	10.5	192.2	12.4
내 수 면 어	36-101	10.0	138	13.6	101	10.0	202	11.8
어 업 서 비 스	36-184	5.5	251	7.5	183.6	5.5	367.2	6.5
자 기 포 획 환	36-126	8.0	173	10.9	126.3	8.0	252.4	9.5
어 류 원 시 가 공								
매 입 한 어 류 원 시 가 공	40-140	7.2	192	9.9	140.2	7.2	280.4	8.5

資料 : 水産廳 漁政課

## 3. 免稅油類 擴大供給

附加價値稅 10%와 特別消費稅 9%(휘발유 85%)를 免稅하고 있는 漁業用 油類(市中價格보다 輕由1드림當 9,288원 低廉) 供給事業은 '90年度에 는 前年에 比하여 2.3% 增加한 4,362千드림을 供給함으로써 年間 381億 원의 漁民負擔이 輕減되고 있다.

특히 從前까지는 沿近海 및 內水面漁業用 船舶과 裸潛漁業 從事者의 更衣室 煖防用 施設에 한하여 供給하던 免稅油類를 '91.3월부터는 沿岸漁民의 숙원이었던 水産物 生産基礎施設中 水協, 漁村契 및 漁民이 經營하는 施設에 대하여도 免稅油類를 供給케 되어 全體施設 4,094個所중 約 95%에 該當하는 3,888個所에 年間 約 74萬드림의 油類를 免稅供給하고 있어, 이에 따른 燃料費 節減額은 年間 약 69億원에 달하여 김, 미역, 멸치, 오징어 乾燥 및 煮熟施設을 運營하는 漁民들의 所得增大는 물론, 一般大衆이 주로 消費하는 김, 간미역, 마른 오징어, 멸치 등의 製造原價 節減으로 價格安定에도 寄與할 수 있게 되었다.

〈表 94〉

免稅油類 供給實績

單位 : 千드림

	'87	'88	'89(A)	'90(B)	B/A(%)
計	3,624	3,980	4,264	4,362	102
輕 油	2,966	3,359	3,670	3,796	103.4
輕 質 重 油	598	573	537	498	92.7
重 油	33	18	20	23	115.0
其 他	27	30	37	45	121.6
漁民受惠(百萬원)	35,721	35,310	36,724	38,114	103.8

資料 : 水産廳 漁政課

第 3 編

1991年度 水産施策

**여백**



## 第 1 章 水産施策의 基本方向

### 第 1 節 指標와 重點施策

우리나라 水産業은 '60年代에는 漁撈手段, 裝備, 技術의 落後 등으로 沿岸 採捕漁業이 주된 漁業形態였으나 '70年代에 들어와 새로운 水産技術을 開發, 普及하고 遠洋漁業의 急伸張에 힘입어 水産業의 劃期的인 發展을 가져왔다.

'80年代에는 이러한 成長과 發展을 土臺로 安定的인 成長을 거듭하여 1990년에는 水産物 生産은 330만톤, 輸出은 16億달러로 각각 世界 8位, 6位등 명실공히 先進水産國으로서의 位置를 確保하고 있으며 蘇聯, 日本과 함께 世界 3大 遠洋漁業國으로서 現在 800餘隻의 漁船이 5大洋에 進出하여 年間 93萬톤의 水産物을 漁獲하고 있으며 國民 動物性蛋白質의 절반가량을 供給하는 重要한 食糧産業으로서의 役割도 擔當하고 있다.

이러한 發展過程에서 沿近海漁業은 漁撈施設의 現代化, 大型化로 漁獲強度가 높아지고 干拓, 埋立과 産業化에 따른 漁場의 縮小와 沿岸汚染등으로 水産資源은 날로 減少하고 있어 漁業經營이 漸漸 어려워지고

있다.

養殖漁業에 있어서는 '70年代 後半에 잡는 漁業에서 기르는 漁業爲 主의 政策轉換으로 育種學등을 利用한 生産増大와 品種의 多樣化를 가져와 漁民所得向上에 커다란 寄與를 하여오고 있으나 一部品種의 過剩 生産으로 需給 및 價格의 不安定과 内水面養殖에 있어서는 上水源의 汚染 現象이 새로운 問題點으로 擡頭되고 있다.

또한 遠洋漁業도 世界沿岸 143個國中 112個國이 200海里 排他的 經濟水域을 선포, 資源自國化 政策 및 公海操業에 대한 規制를 強化하고 있어 南太平洋 참치漁業, 北太平洋 오징어流刺網漁業, 포클랜드 오징어 채낚기 漁業에서도 어려움에 직면하고 있다.

특히 最近에는 世界各國의 輸入開放壓力増大와 遠洋漁獲物の 搬入 擴大등으로 沿近海漁民들은 深刻한 葛藤과 不安이 高潮되고 있는 現實이다.

따라서 이와같은 水産業의 興件 變化에 따른 對應方案을 다각도로 講究할 뿐만 아니라 “바다를 보다 豐饒로운 漁民의 生活터전으로 가꾸고, 水産業을 競争力 있는 食糧産業으로 育成하며, 漁村을 定住環境이 갖추어진 生活圏域으로 開發”하기 위해 금년에는 水産物 生産 345만톤, 輸出 16억달러를 指標로 設定하고 다음과 같은 重點施策을 積極 推進해 나갈 計劃이다.

目 標

- 生 產 : 345萬M/T
- 輸 出 : 16億\$

〈 福社漁村建設 〉

重 點 施 策

- 輸入開放化에 能動的 對處 -

- 水產資源의 造成 및 養殖漁業 開發
- 沿近海漁場 環境 保護
- 沿近海漁業의 構造調整
- 遠洋漁業의 積極的 對應
- 價格安定 및 流通改善
- 漁業基盤施設 擴充과 漁民支援 強化
- 水產技術의 高度化

## 第 2 節 投融資 規模

### 1. 水産部門 豫算

'91年 水産部門의 總 豫算額은 1,861億원으로서 '90年の 1,697億 원에 비해 9.6%가 増加된 規模이며, 이는 政府 總豫算의 0.6%, 農林 水産 豫算의 7.6%를 차지하고 있다.

〈表 95〉 '91 水 産 豫 算

○ 會計別

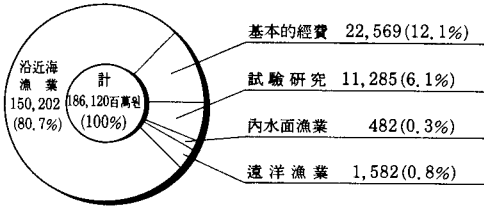
單位：百萬圓

	'91 豫 算	'90 豫 算	增 (△) 減	%
一 般 會 計	160,416 〔6,000〕	139,019 〔6,500〕	21,397 〔△500〕	15.4
財 特 會 計	25,704	30,730	△5,026	△16.4
計	186,120 〔6,000〕	169,749 〔6,500〕	16,371 〔△500〕	9.6
事 業 費	163,551 〔6,000〕	150,601 〔6,500〕	12,950 〔△500〕	8.6
基 本 的 經 費	22,569	19,148	3,421	17.9
・ 人 件 費	17,981	15,136	2,845	18.8
・ 基 準 經 費	3,798	3,253	545	16.8
・ 官 署 運 營 費	790	759	31	4.1

\* [ ] 是 國庫債務 外書

資料：水産廳 企劃豫算擔當官室

○ 漁業別



○ 事業別

單位：百萬圓

	'91 豫算	'90 豫算	增(Δ)減	%
計	186,120 (25,704)	169,749 (30,730)	16,371 (Δ5,026)	9.6 (Δ16.4)
1. 事業費	163,551 (25,704)	150,601 (30,730)	12,950 (Δ5,026)	8.6
○ 水產資源造成	16,546	12,812	3,734	29.1
○ 漁業秩序確立與安全操業指導	13,980	8,972	5,008	55.8
			[Δ2,500]	
○ 漁港建設	57,472 (6,000)	58,021 (4,000)	Δ549 (2,000)	Δ0.9
○ 漁撈施設	6,623 (3,816)	6,335 (3,797)	288 (19)	4.5
○ 水產物流通施設	1,194 (682)	1,119 (639)	75 (43)	6.7
○ 海外漁業協力	1,582 (1,400)	124 (-)	1,458 (1,400)	1,175.8
○ 漁民負擔輕減	37,941 (15,200)	39,207 (22,000)	Δ1,266 (Δ6,800)	Δ3.2
○ 漁村所得源開發	11,048 (4,606)	10,469 (4,294)	579 (312)	5.5
○ 試驗研究與技術普及	11,285	9,503	1,782	18.6
○ 其他經常事業	5,880	4,039	1,841	45.6
2. 基本的經費	22,569	19,148	3,421	17.9

\* ( ) 是財特內書, [ ] 是國庫債務外書

資料：水產廳企劃豫算擔當官室

## 2. 各種 水産資金 支援

政府豫算외에도 漁業經營 및 水産物 價格安定을 위해 營漁資金, 農水産物 價格 安定基金 등 各種 水産資金을 前년에 비해 194億원이 늘어 난 7,765億원을 支援할 計劃이다.

<表 96>

'91 水産資金 支援計劃

單位：億圓

		'91 運用	'90	增(△)減
資 金 別	營 漁 資 金	6,000	6,000	
	水産振興財政資金	85	85	-
	農漁村發展基金	344	343	1
	農水産物價格安定基金	1,246	993	253
	國民投資基金	90	150	△ 60
計		7,765	7,571	194
運 用	運 營 資 金	7,387	7,143	244
	· 沿 近 海 漁 業	5,190	5,190	-
	· 遠 洋 漁 業	810	810	-
	· 水産物流通, 製造業	141	150	△9
	· 價 格 安 定	1,246	993	253
	施 設 資 金	378	428	△50
	· 漁 撈 施 設	206	158	48
	· 水産物流通, 製造施設	82	120	△38
	· 計 劃 造 船	90	150	△60

資料：水産廳 企劃豫算擔當官室

## 第 2 章 水産資源의 造成 및 養殖漁業開發

### 第 1 節 水産資源 造成

#### 1. 人工魚礁 施設

沿近海 水産資源의 産卵·棲息場을 造成하기 위하여 '91년에는 15,647

<表 97>

人工魚礁 施設計劃

單位：헥타

	既施設('71~'90)	'91計劃	總施設('71~'91)
計	54,390	9,000	63,390
釜 山	471	100	571
京 畿	1,125	300	1,425
江 原	8,445	1,200	9,645
忠 南	2,101	600	2,701
全 北	1,865	550	2,415
全 南	11,040	1,800	12,840
慶 北	9,037	1,400	10,437
慶 南	13,633	1,800	15,433
濟 州	6,673	1,250	7,923

資料：水産廳 資源造成課

百萬원을 投資, 9個市·道の 施設適地 9千헥타에 人工魚礁를 施設하고 既施設한 海域중 16個所에 대하여 漁獲效果和 魚礁의 保存狀態를 調査하며, 各 水域 및 魚種에 適合한 魚礁를 開發하고자 試驗研究를 積極推進에 나갈 計劃이다.

## 2. 種苗生産·放流

東海岸地域 高級水産 種苗의 量産體制 確立과 새로운 品種의 種苗生産 技術開發을 위하여 慶北 蔚珍에 年間 1,200萬마리의 種苗 生産 能力을 가진 中間種苗育成場을 갖춘 大規模 水産種苗培養場 1個所를 新設코자 種苗培養場 施設 工事を '91年 5월에 着工하여 '92年 10월에 完工할 計劃이다.

그리고 既存10個 種苗培養場에도 貝藻類爲主에서 魚類 및 甲殼類爲主의 施設로 補強하기 위하여 586百萬원을 投資하고 4,800萬마리의 有用種苗를 生産하여 漁村契 및 養殖漁民들에게 分讓하고 沿岸에 放流할 計劃이다.

또한 沿岸漁場 資源造成의 加速화와 資源造成의 民間參與를 誘導하기 위하여 民間種苗培養場에서 生産한 水産種苗를 '91年에도 165百萬원을 投資, 2,423萬마리를 買入, 沿岸漁場에 放流할 計劃이며, 연어稚魚는 '90年에 비해 36% 增加한 1,400萬마리를 東海岸 12個河川에 放流하였고 연어의 回歸率을 높이기 위하여 遡上河川의 整備와 孵化用水의 改善, 稚魚飼育 技術등을 繼續 開發할 計劃이다.



<表 98>

培養場別 種苗生産計劃

單位：千尾, 千貝, 千粒

	計	注文 津	保 寧	扶 安	莞 島	麗 川	迎 日	巨 濟	南 海	北濟 州	南濟 州
計	48,000	2,850	6,200	2,200	3,450	6,200	500	15,200	2,300	3,700	5,400
넙 치	350						50	100	100		100
참 돔	600				100	100				150	250
감성돔	200					200					
돌 돔	50									50	
조 피 락	400	50	50	100	100				50		50
송 어	100		50		50						
전 북	1,950	400	100	100	200	300	300	100	50	400	
소 라	50									50	
진 주	100								100		
조 개											
오 분 자	50									50	
보 리	7,000							5,000	2,000		
새 우											
대 하	7,500		6,000	1,500							
꽃 게	1,100			500		600					
보 라	50						50				
성 게											
북쪽말 동성게	100						100				
넙 치	25,400	2,400			3,000	5,000		10,000			5,000
수정란											
참 돔	3,000									3,000	
수정란											

資料：水産廳 資源造成課

## 第 2 節 養殖漁業 開發

### 1. 漁場開發

’91年度の 漁場開發은 ’91.2.2부터 施行되는 改正 水産業法 및 整備된 附屬法令에 의해 水面의 綜合的 利用開發이 推進될 수 있도록 하기 위하여 新規漁場의 開發보다는 既存 開發 漁場의 生産性 및 品質의 向上과 漁業秩序 確立에 注力하고 있다.

’92年度부터는 改正 水産業法에 依據 養殖漁場 開發을 地先 多數漁民의 所得源 確保爲主로 開發하고 既存漁場의 漁場與件 變化로 繼續 養殖이 困難할 때에는 外延漁場으로 代替開發하거나, 養殖適正 品種으로 變更 開發하는 等 漁場을 效率的으로 利用토록 함으로써 養殖水産物의 持續的 生産 増大를 기하고자 한다.

그리고, 김, 미역, 툇, 굴 등과 같이 生産過剩 憂慮가 있는 品種에 대하여는 養殖漁民의 被害를 방지하기 위하여 全國單位로 漁場開發 및 生産을 調節해 나갈 計劃이며, 水産物 輸入自由化에 對備하여 國際競爭 脆弱品種은 他品種으로의 養殖變更을 誘導할 計劃이다.

### 2. 增養殖 事業 支援

’91年度에는 總事業費 59億원을 投資하여 도서, 벽지등 저소득 漁村 契의 所得源開發을 위해 主要貝類(바지락·고막·가무락) 새고막, 전복, 소라, 가리비 등 255ha의 漁場을 開發하고 異常暖冬과 갯벌 피해시의 피해에 대비하여 김냉동망 2,500柵을 支援할 計劃이다.

또한 高級魚類의 增産을 促進하기 위하여 魚類養殖場 42個所를 開發하고 養殖漁業의 基盤構築을 위하여 魚類 種苗培養場 3個所, 貝類 種苗培養場 1個所와 飼料 貯藏庫 6個所를 支援할 計劃이다.

<表 99> 水産增養殖事業 支援計劃

	事業量	事業費	支 援 率	事業對象者
計	237ha 2,500柵 52個所	千원 5,936,500		
○ 양식어장개발	237ha 2,500柵 42個所	千원 4,716,500		
- 주 요 패 류	115ha	126,500	국 고 21%, 용자 60% 지방비 9%, 자담 10%	어 촌 계
- 새 꼬 막	100ha	120,000	"	"
- 패 류 (전복·소라)	20 "	220,000	"	어촌계, 자연부락 공동사업
- 가 리 비	2 "	100,000	국 고 21%, 용자 50% 지방비 9%, 자담 20%	어촌계, 수협, 협업 어민
- 김 냉 동 망	2,500柵	100,000	국 고 21%, 용자 60% 지방비 9%, 자담 10%	수협, 어촌계, 어민
- 어 류 양 식	42個所	4,050,000	용 자 80%, 자담 20%	어촌계, 협업, 어민
○ 양식기반시설	10個所	1,220,000		
- 어류종묘배양장	3個所	300,000	용 자 80%, 자담 20%	수협, 어촌계, 협업 어민
- 패류종묘배양장	1개소	320,000	"	"
- 사 료 저 장 고	6개소	600,000	"	"

資料 : 水産廳 增殖課

### 3. 漁場管理 指導

養殖漁場の 效率的인 管理와 不實管理漁場の 防止를 위하여 養殖漁業 權을 品種別, 養殖時期別로 區分 每年 定期的으로 正밀實態調査를 實施 하여 不實管理漁業權은 關係法規에 따라 強力措置하여 漁業秩序를 確立 하여 나가고 있으며 漁場性을 勘案한 適正施設 指導와 함께 主要養殖品 種 主産團地에 대한 漁場예찰을 強化하여 被害豫防指導와 被害發生時 迅速한 對處로 被害를 最小化하여 나갈 計劃이다.

또한 漁業秩序確立 및 單位生産性 向上을 위하여 施設時期에는 關係 機關 合同指導團束을 實施하여 不實管理 漁場정비와 함께 不法漁業을 強力團束하여 當該漁場의 不法, 不實管理漁場 정비로 漁場秩序確立을 圖謀하여 나갈 計劃이다.

## 第 3 節 內水面漁業 開發

### 1. 內水面資源造成

大單位水面等 遊休內水面에 水産資源을 造成하기 위하여 419百萬원 을 投入, 잉어, 떡붕어, 향어의 稚魚(體長 5~7cm) 21.5百萬마리를 住 岩湖에 放養할 計劃이다.

魚種別로 보면 잉어, 떡붕어 12.3百萬마리, 향어 9.2百萬마리를 放 養하여 新規댐인 住岩湖의 水産資源造成을 積極 推進할 計劃이다.

<表 100>

內水面 稚魚放養計劃

單位：百萬마리, 百萬元

	'71 ~ '90		'91	
	物 量	金 額	物 量	金 額
計	716.5	7,797	21.5	419
○ 一般 魚 種	634.4	6,116	12.3	224
- 잉어, 떡붕어				
○ 開發 魚 種	82.1	1,681	9.2	195
- 송 어	31.1	894	-	-
- 향 어	51	787	9.2	195

資料：水産廳 資源造成課

## 2. 內水面 潛在力 調查

內水面의 綜合的인 利用方案을 樹立, 計劃的인 開發推進을 圖謀코자 1989年度부터 1990년까지 全國의 江, 河川, 湖沼, 貯水池, 養魚場等을 對象으로 現地 調査를 實施하였고 同 調査資料를 聚合, 分析整理하여 內水面潛在力調查 報告書를 發刊하고 이를 근간으로 하는 活性化對策을 積極 推進할 計劃이다.

## 3. 內水面漁業 技術開發 및 消費促進

地域特性에 맞는 內水面 漁業 開發을 위하여 江原道에 7億원을 投資함으로써 內水面開發試驗場을 現代式으로 施設中에 있으며 同試驗場으로 하여금 養魚 技術을 開發 普及토록 할 計劃이다.

그리고 잉어와 슈퍼송어 및 틸라피아等の 性 轉換과 遺傳育種의 種苗

生産技術을 開發中에 있다.

한편 淡水魚의 食糧化 및 漁民所得 増大를 位한 量産體制 確立과 國民의 嗜好度가 좋은 活魚의 需要漸增에 따라 消費가 擴大 되도록 生産者 團體인 韓國 內水面漁業協會의 淡水魚 直賣場 設置 運營, 料理法 開發, 講習會等 持續的인 弘報活動을 推進하여 淡水魚 消費促進을 기하고 있다.

## 第 3 章 沿近海漁場 環境保護

生活下水 및 工團廢水, 廢棄物, 油類等 各種 汚染物質에 의한 水質 汚染과 公有水面埋立·干拓으로 부터 沿岸漁場을 保全하기 위하여 主要 沿岸漁場 및 工團周邊水域의 環境汚染調査를 強化하고, 淸淨海域 및 水 産資源保全地域 管理에 徹底를 기하는 한편, 沿岸漁場의 底質改善 및 各種 汚物收去等 積極인 環境淨化事業을 實施하고, 關係部處와 協調 하여 汚染行爲規制, 團束, 汚廢水處理場擴充, 制度改善 等 沿岸漁場 汚染防止對策을 樹立, 推進할 計劃이다.

### 第 1 節 漁場淨化

養殖漁場 및 共同漁場과 養殖種苗採苗場의 漁場底質改善, 汚物收去, 漁場放置物除去, 害敵生物 驅除等을 通하여 漁場被害를 豫防하고 生産性を 增大시키기 위하여 '91년에는 國庫 700萬圓을 支援하여, 9,040ha의 漁場을 淨化하는 한편 效率인 沿岸漁場環境淨化를 위해 汚染尤甚海域 優先淨化 및 淨化裝備等도 研究, 開發해 나갈 計劃이다.

## 第 2 節 沿岸漁場 汚染防止

主要沿岸 및 臨海工團 周邊水域에 198個地點, 水産資源保全水域에 140個地點을 選定하여 水質汚染 調査를 實施하는 한편, 淸淨海域에 對해서도 161個 觀測點을 選定하여 海水 및 貝類에 對한 衛生調査를 實施하여 汚染防止 基礎資料로 活用할 計劃이며, 海域에 指定된 水産資源 保全地域의 公有水面埋立·干拓, 鑛物採掘等の 行爲를 強力히 抑制하는 한편, 保全地域 周邊에 對해서도 管理를 強化하여 保全地域의 淸淨度 維持는 勿論 漁場의 生産性을 提高시켜 나갈 計劃이다.

한편, 環境處等 有關部處와 協助하여 沿岸漁場 汚染源인 廢水, 廢棄物, 기름 等の 海洋流入 防止를 위하여 臨海都市의 下水 및 糞尿, 工團 廢水等 各種 汚染物質 處理施設을 擴充하고, 汚染物質의 海洋 投棄行爲를 強力히 規制·團束토록 하여 沿岸漁場이 淸淨하게 保全될 수 있도록 할 計劃이다.

## 第 3 節 漁業秩序 確立

### 1. 不法漁業 團束

每年 不法漁業 根絶對策을 樹立 推進하여 왔으나, 不法漁業의 實態에 는 큰 變化가 없는 등 漁業秩序가 아직도 確立되지 못하고, 더구나 一部 養殖場이나 共同漁場에서는 強·竊盜行爲까지 發生하고 있어, 이들 海上 不法行爲를 內務部, 法務部 등 關係機關의 協調下에 民生治安 確保



次元에서 根絶시키기 爲하여 強力한 團束을 實施할 計劃이다.

主要對策으로서는 漁民의 自律的인 漁業秩序確立을 誘導해 나가기 위한 教育弘報를 強化하고 特히 弘報效果 提高를 爲하여 挿畫型 弘報物과 標語, 포스타 및 리후릿등을 製作 配付하고, 不法漁業豫防 및 再發防止를 爲하여 小型漁船 建造現場을 定期點檢하고 不法漁業者에 對한 各種 支援을 排除함과 同時에 不法漁獲物에 對한 委販을 徹底히 禁止시킬 計劃이다. 또한 沿近海 魚貝類의 産卵期 및 盛育期인(5月, 10月)에는 各 沿岸 市·郡에 配置한 45隻의 小型快速艇과 全指導船을 積極 活用하여 水産廳 및 市·道 合同으로 全國 一齊團束을 實施하고 平素에도 尤甚地域 및 周邊海域을 中心으로 한 集中團束도 持續的으로 實施하며 違反者에 對하여는 한층 強化된 水産業法에 依하여 무거운 處罰을 받도록 할 것이며, 韓·日 兩國間의 懸案問題로 擡頭되고 있는 大型漁船에 依한 西日本水域 違反操業 根絶을 爲하여 300톤級 以上의 大型 指導船 2隻 以上을 常時 配置하여 違反操業 防止에 最善을 다할 計劃이다.

또한 이의 效率的인 推進을 爲하여 全國 沿岸 市·郡의 指導團束 專擔係의 機能을 活性化시키고 老朽되었거나 絶對數가 不足한 指導船을 年次的으로 追加 確保하는 등 指導團束 機能과 裝備를 補強하고, 團束 效果 提高를 爲하여 漁業指導船에 무비카메라 確保와 着色投擲球 活을 勸獎하며 아울러 指導團束 公務員 및 不法漁業을 申告·告發하거나 水産資源 保護와 漁業秩序 確立에 特別히 寄與한 有功漁民의 土氣昂揚을 爲하여 政府 褒賞을 擴大 推進할 計劃이다.

## 2. 安全操業指導

海上에서의 安全操業指導를 위하여 東海大和堆 오징어 盛漁期(6.15

~12.31), 黃海·東中國海 병어盛漁期(3. 1~7.31), 西海 흥어盛漁期(10. 1~다음해 4.30)에는 500톤급 以上 大型指導船을 配置하여 漁撈 保護 및 操業紛爭 豫防指導를 기할 것이며, 특히 遠海漁場에는 1,300톤급의 福祉母船을 出動시켜 操業漁船에 유류, 얼음, 機關附屬品등의 船用品을 供給하고 應急患者에 對한 治療를 擔當할 醫師를 乘船시킬 計劃이며 東·西特定海域에는 管轄 道 指導船과 海警艇의 指導 및 漁撈保護 協調로 漁船의 越線 被拉을 事前에 防止할 수 있도록 할 計劃이다.

또한 主要 港口 39個所(出入港統制所 15個所, 合同申告所 24個所)에 水協의 漁船安全 點檢要員 96명을 配置하여 出入港 漁船에 對한 安全點檢을 實施하고, 東·西海漁撈 保護本部에 乘船指導員 各10명을 配置하여 操業現場에서의 安全操業指導業務를 遂行하도록 할 것이다.

地區別水協 및 業種別水協 主管下에 沿近海漁船의 船主 및 船長, 機關長, 通信長등 幹部船員 95千名에게 年1回의 安全操業教育을 實施할 計劃이다.

그리고 韓·美 流刺網漁業 規制에 關한 合意事項 履行과 北太平洋 오징어 流刺網漁船에 對한 安全操業指導를 爲하여 1,300톤급 福祉母船 2隻을 130日間 出動 措置할 計劃이다.

또한 漁船安全 操業指導를 爲한 指導船 擴充을 爲하여 '90년도 豫算 57億원을 投入하여 建造한 1,500톤급 指導船 1隻을 12月中에 完工, 就航할 計劃이며, '91豫算 92億원으로 1,500톤급 1隻과 500톤급 1隻을 '92年度 11月 竣工目標로 建造 推進中에 있다.

## 第 4 章 沿近海漁業의 構造調整

### 第 1 節 基本方向

沿近海漁業은 漁船勢力의 增大에도 不拘하고, '80年以來 漁業生産이 150萬噸水準에서 停滯되고 있으며, 單位生産性도 低下하는 등 沿近海 漁業資源이 限界性을 보이고 있어, 漁民所得低下와 더불어 不法漁業의 要因이 되고 있을뿐만 아니라, 水産物 需給 및 國際與件上 內需市場 開放은 不可避하나 沿近海漁業의 競爭力弱화로 對應能力이 不足한 實情에 있어, 沿岸資源造成事業의 擴大와 並行하여 資源水準에 適合한 漁船勢力을 維持하는 施策이 切實히 要請됨에 따라,

現在 推進中에 있는 人工魚礁施設事業 및 種苗生産放流등 漁業資源造成事業의 擴大推進과 아울러, 水産資源 保全地區등의 保護管理와 漁場 淨化事業의 擴大등 沿岸漁場保全과 不法漁業의 根絶을 위한 對策에 대하여도 集中的인 努力을 기울여 나가고자 하며,

이와 並行하여 細網을 使用하여 어린고기를 漁獲하여 漁業資源保護에 影響이 큰 漁業이나 漁業競爭力이 低下된 不實漁業 및 漁船勢力이 過度한 漁業은 年次的으로 漁船을 整備하여 資源水準에 맞는 適正한 漁船勢

力を維持함과 아울러 個別漁船에 대해서는 그 規模나 設備 및 裝備를 現代化함으로써 漁業의 生産性向上등 漁業競爭力을 높여나가기 위한 漁業構造 調整對策을 積極 推進해 나갈 計劃으로 있다.

## 第 2 節 推進計劃

沿近海漁業構造調整은 全體漁船勢力을 資源에 適合한 水準으로 整備하여 單位漁船의 生産性을 높이고 競爭力이 있는 漁業으로 育成하는데 重點을 두고 推進하고자 하며, 그 推進方案으로는 輸入自由化 등으로 漁業競爭力이 低下된 漁業과 細網을 使用하여 어린고기를 漁獲하는 등 資源保護에 影響이 큰 漁業을 于先 整備하고, 資源量에 비하여 漁船勢力이 過多한 大型漁船漁業은 日本·中國등 隣接國家와 共同資源 管理體制가 構築된 后 段階的으로 推進해 나가하고자 하며, 이와 더불어 大型漁船을 中心으로 外延漁場利用 및 海外漁場進出을 推進하기 위하여 海外進出漁船에 대하여는 沿近海 漁業許可를 留保하여 海外漁場에서 撤收時 國內許可를 받을 수 있도록 함으로써 海外 漁場進出을 容易하게 하는 등 積極 支援하여 利用漁場을 擴大해 나갈 方針이다.

또한, 沿近海 漁業構造調整의 今後 推進計劃은 漁業資源 및 漁業實態 調査와 不實漁業許可의 整備등 構造調整推進을 위한 事前 準備를 '90~'91까지 實施하고, 아울러 同事業의 效率의인 推進을 위하여 農漁村發展特別措置法에 의해 每5年마다 實施하도록 되어 있는 漁業資源 및 適正漁船勢力등 漁業實態(生産性, 經營實態)등을 關聯研究機關에 의한 用役調査를 '92年度에 實施하고, 于先 推進하여 할 輸入自由化에 따른 漁業競爭力이 低下되는 漁業의 減隻을 推進하기 위하여 '92年度에

41億원의 豫算을 確保하고자 要求中에 있으며, 앞으로 沿近海 漁業構造 調整事業은 段階的, 年次的으로 推進해 나갈 計劃으로 있다.

### 第 3 節 法令整備

앞에서 記述한 바와같이 沿近海漁業 構造調整의 持續적이고 圓滑한 推進을 위하여 必要한 規定을 反映한 “農漁村發展特別措置法”을 '90.4 月に 制定·公布한 바 있으며, 아울러 沿近海 漁業構造調整과 關聯된 水産業法 및 水産資源保護令의 制度도 整備·補完한 바 있다.

## 第 5 章 遠洋漁業의 積極的 對應

### 第 1 節 漁業協力の 強化

200해리의 定着과 公海操業의 規制強化등 國際漁業環境 變化에 對處 하여 既存漁場의 持續的인 確保와 새로운 漁場의 開發, 蘇聯·中國등 特殊地域 進出을 위하여 美國과 蘇聯·濠洲·뉴질랜드·파푸아뉴기니아·알젠틴·中國등 地域에 漁業交涉團을 각각 派遣할 計劃이며, 兩國 漁業協力 增進을 위하여 蘇聯·알젠틴 등 5個國 水産關係有力人士를 招請할 計劃이다. 또한 開發途上 沿岸國과의 技術支援 事業으로 오만 등 16個國으로부터 21名의 研修生을 招請하여 漁撈技術과 漁船 機關에 대하여 訓練시킬 豫定이다.

우리나라와 兩國間 漁業協定이 締結된 12個國중 美國과는 協定延長을, 투발루·키리바티·쿡·濠洲·불란서·솔로몬과는 附屬約定 更新을 위해 兩國間 會議과 FAO 등 우리나라가 既 加入한 世界 水産機構 및 國際會議에 參加할 計劃이다.

한편, '91.1.22에는 韓國과 蘇聯간에 漁業協定 假署名을 實施한 바 있으며, 正式署名 推進을 위하여 蘇聯側과 계속 協議를 進行中에 있다.

## 第 2 節 既存漁場의 確保

國際的인 200海里 時代에 접어들면서 主要 沿岸國들의 漁業資源 自 國化 政策과 國際水産機構의 資源管理 規制強化로 많은 制約을 받고 있으나 各種 國際會議과 民·官交涉團을 통하여 積極 對處함으로써 '90年 에는 前年水準의 安定的 成長을 이루었으나 流刺網漁業의 規制등을 감안, '91년에는 880千톤이 生産될 것으로 推定된다.

### 1. 참치漁業

참치漁業은 延繩과 旋網漁業으로 區分되고 延繩漁業은 낚개다랭이를 漁獲, 통조림 原料로 供給하는 海外基地式 操業方法과 횃감용으로 供給 하는 國內基地式 方法으로 區分된다.

한편, 횃감참치의 對日本 輸出 環境惡화로 業界의 經營이 어려워져 國內市場 開發의 旗幟아래에 遠協을 中心으로 동원수산, 동원산업, 사 조냉장등에서 참치회 專門店 22個所를 開設하여 消費擴大의 기틀을 만 들고 이의 擴大發展으로 참치業界의 活路 開拓에 拍車を 가하고 있다.

참치 延繩漁業의 漁場은 對象魚種인 참치가 高度 回遊性 魚種으로 3 大洋의 公海 漁場과 南太平洋의 키리바시 등 沿岸國의 入漁를 繼續 推 進하여 既存漁場의 確保에 最善을 다하고 있으며, 가다랭이를 主 漁獲 對象으로 하고 있는 참치 旋網漁業의 境遇는 南太平洋의 파푸아 뉴기니 아 水域 및 公海上에서 통조림 原料 確保 次元에서 開發에 拍車を 가하 고 있다.

## 2. 오징어漁業

우리나라 오징어 主漁場은 沿近海와 南西大西洋, 뉴질랜드水域, 北太平洋海域이며 1985年 南西大西洋 漁場이 開發되면서 오징어채낚기 漁船이 크게 늘어나 1991年の 채낚기 漁船은 南西大西洋 67隻, 뉴질랜드水域 37隻에 달하며 오징어를 주로 漁獲하는 트롤漁船도 크게 늘어나 南西大西洋 36隻, 뉴질랜드水域 14隻이 操業하게 되었고, 빨강오징어를 주로 漁獲하는 北太平洋 流刺網은 規制와 關聯 減隻되어 142隻이 出漁하였다.

이와 같이 오징어를 主 漁獲하는 遠洋漁船 勢力이 크게 伸張한 것은 오징어가 우리 國民의 嗜好食品이며 所得水準 向上에 따라 需要 또한 크게 늘어나고 있기 때문이다.

한편, 1990年 南西大西洋 및 뉴질랜드 水域에서 水温 異常 등에 의한 海況變動으로 오징어 漁獲이 不振하여 供給量이 23萬톤에 그쳤으나 1991年度에는 漁況이 回復될 것으로 보아 約30萬톤의 漁獲水準에 이를 것으로 推定된다.

이러한 오징어 漁業의 海域別 出漁計劃 및 展望은 다음과 같다.

### 가. 南西大西洋

南西大西洋 오징어 채낚기船은 1985年 처음으로 20隻이 出漁하여 10千톤을 漁獲한 以來 漁船隻數 및 生産量이 急激한 伸張勢를 보이고 있으며 1990년에는 채낚기船 49隻, 트롤漁船 18隻이 操業하여 112千톤을 漁獲하였으나 1991년에는 채낚기 漁船의 增隻과 라스기지 및 北海道 트롤 漁船의 南西大西洋 出漁 許容으로 總 103隻이 操業하게 되었다. 그러나 英國과 알젠티國間의 合意에 의하여 포클랜드 保存水域



外側 50마일을 漁撈 禁止 水域으로 宣布하여 公海漁場이 縮小되어 170 千톤의 生産目標가 쉽지 않을 것으로 展望된다.

#### 나. 뉴질랜드水域

뉴질랜드水域의 오징어 漁業은 1978년부터 出漁하여 '90漁期에는 畵타량이 적어 畵타 操業은 못하고 民間協力에 의한 操業을 하였고 '90년에는 畵타기船 43隻, 트롤漁船 10隻이 26千톤을 漁獲하였으며, 今年漁期에도 漁況이 매우 不振하여 全體 生産量이 前年 水準에 그칠 것으로 展望된다.

이러한 繼續의인 漁獲不振은 뉴질랜드水域의 오징어畵타기漁業 展望을 不透明하게 함으로써 出漁를 忌避할 것으로 豫想된다.

#### 다. 北太平洋

北太平洋 오징어는 魷강오징어로 주로 加工原料로 供給되어 調味 加工品の 消費底邊 擴大에 寄與하고 있으며 1990년에는 總 142隻이 出漁하여 98千톤을 漁獲하였으며 '91년에도 流刺網漁業의 規制가 繼續되므로 生産量은 前年水準으로 推定하고 있으며 '92.6以後 표층流刺網漁業의 禁止 勸告와 關聯 同 漁場의 確保를 위하여 中층流刺網漁法의 試驗 操業도 적극 推進할 計劃이다.

### 3. 트롤漁業

트롤漁業은 遠洋漁業중 比重이 가장 큰 業種으로서 遠洋生産量의 52%를 차지하고 있는 代表的인 業種이며 漁業別로 보면 다음과 같다.

#### 가. 北洋트롤

北洋트롤漁業은 명태, 가자미류를 主 對象으로 베링公海 및 蘇 經濟水域 그리고 北海道 周邊水域에서 操業을 하고 있으나, 특히 '87年度부터 美國의 對外國 漁獲쿼타量이 終熄되고 또 '90年度에는 共同事業이 終熄됨에 따라 公海 漁業에 置重하고 있으며 '91年度에는 蘇聯水域 및 北海道 漁場을 包含하여 總 410 千톤(共同事業 120千톤 包含)을 生産할 計劃이다.

그러나 沿岸國인 美國과 蘇聯이 베링公海 操業을 規制할 움직임이 可視化 되고 있어 公海操業權 維持를 위하여 努力하고 있다.

#### 나. 太平洋 基地트롤

'77年 美·蘇의 200海里 經濟水域 宣布에 따라 同 水域 操業船 一部가 뉴질랜드 水域으로 漁場을 移動, 操業中 '78年 兩國間的 漁業協定 締結로 쿼타操業하여 왔으나 資源의 自國化 政策에 따라 外國에 대한 쿼타量을 消滅하고 自國漁民에게 쿼타割當을 擴大하여 '92年度부터는 쿼타操業이 어려울 것으로 보여지고 있다. 따라서 個人入漁를 擴大하는 한편, '86년부터 進出한 인도네시아 水域등과 連繫하여 操業할 수 있도록 하여 既存 漁場의 確保에 積極的으로 對處할 計劃이다.

#### 다. 大西洋트롤

'66年 以來 進出하여온 大西洋 트롤漁業은 꾸준히 發展하여 '70年代에는 100余隻으로 成長하였으나 沿岸國의 200海里 宣布와 操業規制 強化로 最近에 와서는 50余隻으로 減少되었으며, 中西大西洋의 資源減少 등으로 經營難이 加重되어 '80年代 中에는 南西大西洋을 비롯하여 NAFO 水域, 인도네시아 등 新漁場으로 進出하여 다소 活氣를 찾고

있다. 그러나 公海操業도 隣接國의 規制 움직임이 漸増되고 있어 多角의인 交渉을 통하여 操業漁場의 既得權 確保와 새로운 漁場 進出擴大에 努力할 計劃이다.

#### 라. 印度洋 트롤

'80年代에 새로운 漁場確保 次元에서 進出した 中東漁場인 파키스탄, 오만漁場은 그동안 關聯國의 規制에도 불구하고 兩國間 民間交渉에 의해 持續的으로 操業을 維持하여 오고 있다. 그러나 關聯國도 資源 保護를 目的으로 外國漁船의 入漁禁止 또는 漁獲量 制限 등으로 操業規制가 強化되고 새로운 漁場의 開發 必要性이 대두되면서 '80年代 後半期에 들어와 隣近 소말리아, 예멘, 인도, 사우디아라비아 등에 進出하여 生産增大에 寄與하고 있다.

#### 마. 中南美 새우트롤

'69年度에 수리남 파라마리보를 中心으로 하여 出漁한 새우트롤漁業은 가이아나, 佛領가이아나, 브라질 등에 進出, 새로운 所得源으로 脚光을 받아 왔으나 '77年 가이아나의 200海里 水域 宣布, '81年 以後 佛領 가이아나의 쿼타 削減 및 漁獲物 揚陸 條件附 許可와 '88年 9月 以後 브라질의 外國漁船 入漁規制 등으로 同漁場에서 撤收後 현재는 수리남 水域에서만 操業하여 오고 있다.

그러나 최근 수리남은 外國 進出會社에 대한 法人稅를 賦課하여 納付를 要求하고 있고 資源의 減少 등으로 漁業經營이 어려워 兩國間 協力を 통해 法人稅 賦課의 撤回, 留保 또한 二重課稅 防止協定 등을 締結, 操業經營이 改善되도록 努力하고 있으며 經營改善을 위하여 一部 操業船은 西部아프리카 沿岸國으로 移動 操業하는 등 새로운 漁場 進出에도

努力하고 있으며 今年에는 60隻이 操業하여 1,800톤을 生産할 計劃이다.

#### 4. 北太平洋 오징어 流刺網 漁業

北太平洋 오징어 流刺網 漁業은 '80年 14隻이 最初 出漁 操業한 以來 出漁 隻數 및 生産量이 每年 增加하여 왔으나 美國을 비롯한 主要 沿岸 國과 유엔等 國際機構에서 流刺網 漁業에 對한 規制가 強化됨에 따라 '90年度에 142隻이 出漁하여 98千톤의 魷魚를 漁獲함으로써 生産量이 前年(156隻 出漁, 112千톤 生産)에 比하여 減少되었다.

政府에서는 '89년에 締結된 美國과의 流刺網 漁業에 關한 規制 合意에 이어 '91年度에도 '89年 水準과 거의 類似한 內容의 規制에 合意('91.5.8)하였다. 合意內容을 簡略하게 記述하면 1) 漁船 訪問確認은 相互主義에 依據 共同實施 2) 月別·緯度別 操業水域 制限 3) 流刺網 漁船 및 運搬船에 自動位置發信器 設置 4) 海上에서 廢網投棄 禁止 5) 韓·美 各 13名씩 科學者 乘船 觀察 6) 操業指導船 派遣 等이다.

한편, 유엔은 '89.12.22 第44次總會에서 公海 流刺網 漁業에 關한 規制를 決議하였는 바 그 主要 內容으로는 1) '91.6.30까지 流刺網 漁業에 關한 科學的인 調査와 分析實施 2) '92.6.30까지 모라토리움(操業中止) 實施. 但, 海洋生物 資源에 對한 合理的인 保存措置가 取해지는 水域에 對하여는 모라토리움을 實施하지 아니할 수 있음 3) '91.7.1부터 南太平洋에서의 流刺網 漁業 禁止 等이다.

오징어 流刺網 漁業에 對한 國際的인 規制 趨勢에 對處하고 北太平洋 오징어 流刺網 漁場의 持續的인 確保를 爲하여 韓·美合意 事項을 徹底

히 遵守하여 海洋資源 保護에 對한 우리나라의 協力 자세를 나타내는 한편, 今年度에 實施하는 中層流刺網漁法의 試驗 操業 結果等 科學의 統計資料를 유엔에 提出할 計劃이다.

### 第 3 節 新漁場 開發

海外漁場의 持續的 確保를 위해 沿岸國과의 個別入漁에 의한 漁場開發과 公海漁場 및 新漁法에 의한 漁場開發을 積極 推進할 計劃이다.

'91년에는 페루漁場, 코스타리카漁場 및 隣近公海水域에 20余隻의 오징어 채낚기漁船을 出漁시킬 計劃이며 新漁法으로 北太平洋 中層流刺網의 持續的인 試驗操業推進과 아르헨티나와의 漁業協定 締結로 直接入漁 實現을 積極 推進할 計劃이다.

특히 政府의 對北方 政策의 一環으로 推進하고 있는 特殊地域漁場의 積極的인 開發을 위하여 蘇聯과의 漁業協定締結로 直接入漁을 推進함으로써 北太平洋 水域 大型 操業船의 代替漁場 確保 및 우리나라 明太 需要의 새로운 供給源을 安定的으로 確保해 나갈 計劃이다.

그리고 中國水域進出은 앞으로 우리나라 沿近海漁場 擴張側面에서 推進하되 新規進出은 沿近海 漁船에 한하여 許容할 方針이다.

## 第 6 章 價格安定 및 流通改善

### 第 1 節 價格安定對策

'91年度 農水産物價格安定基金에 의한 水産物 價格安定事業은 總 運用額 6,860億원의 18.2%인 1,246億원을 水産分野에 投入, 이 中 1,201億원을 價格安定事業 分野에 支援할 計劃이다.

#### 1. 政府備蓄事業

需給의 원활한 調節로 生産者와 消費者를 同時에 保護하기 위하여 農安基金 301億원을 支援, 김, 冷凍오징어 등 8個 品目を 收買 備蓄할 計劃이다.

특히 UR등 漸進的인 水産物 輸入 開放化 趨勢에 能動的으로 對處하고 水産物 價格의 安定的 保障으로 漁民 所得 增大와 國民 生活 安定을 위해 事業 品目에 대한 生産 및 價格 動向을 銳意注視하여, 需給 變動 要因에 따라 備蓄事業 計劃을 迅速하고 能動的으로 對處하여 價格 安定을 圖謀해 나갈 計劃이다.

〈表 101〉

## 農安基金 (水産部門) 運用計劃

單位：百萬元

	'90 支援実績	'91 運用計劃	增 △ 減
計	115,295	124,581	9,286
(1) 政府備蓄事業	9,885	30,081	20,196
(2) 民間價格安定	101,910	90,000	△11,910
○ 收買支援	38,110	41,200	3,090
- 冷凍保管	23,000	26,000	3,000
(水協)	(15,000)	(17,000)	(2,000)
(韓冷)	(8,000)	(9,000)	(1,000)
- 용조림加工	10,000	10,000	-
- 煉製品加工	2,500	2,500	-
- 김 加工	1,000	1,000	-
- 간미역 加工	1,210	1,300	90
- 乾魚脯 加工	400	400	-
○ 輸出收買支援	11,500	12,500	1,000
- 冷凍水産物	4,000	4,000	-
- 活鮮魚貝類	1,500	1,500	-
- 水産용조림	6,000	7,000	1,000
○ 生産者(團體)出荷 調節	12,300	11,300	△1,000
○ 水協委販場 出荷 促進	40,000	25,000	△15,000
(3) 規格 出荷	3,500	4,500	1,000

資料：水産廳 漁政課

註：'90 政府備蓄 運用計劃(修正) 規模는 27,081百萬元임

## 2. 民間 價格安定事業

農安基金 900億원을 水協과 民間에게 支援하여 總 222千톤을 收買

<表 102>

政府 備蓄事業 計劃

單位：톤, 百萬元

	收買物量	基金支援	事業時期	
			收買	販賣
計	9,400	30,081		
김	400 (200萬속)	7,555	1 ~ 3월	6 ~ 10월
간미역	2,000	1,598	3 ~ 4월	7 ~ 11월
마른멸치	300	1,533	9 ~ 12월	3 ~ 6월
마른오징어	200 (267千속)	2,872	11 ~ 12월	3 ~ 6월
냉동조기	1,000	5,505	2 ~ 3월	8 ~ 9월
냉동갈치	1,000	2,451	9 ~ 11월	3 ~ 6월
냉동고등어	2,000	1,745	9 ~ 11월	3 ~ 6월
냉동오징어	2,500	6,822	9 ~ 12월	3 ~ 5월

資料：水産廳 漁政課

目標로 價格安定事業을 遂行해 나갈 計劃이다.

收買支援 事業의 경우 冷凍保管調節 事業에 農安基金 260億원을 韓國冷藏과 民間冷凍·冷藏業者에 支援하여 명태, 오징어등 主要 大衆魚種 109千톤을 收買 調節토록 하고 통조림, 煉製品, 김, 간미역, 乾魚脯등 加工 部門에 152億원을 支援, 60千톤을 加工 原料魚로 收買토록 支援할 計劃이다.

冷凍水産物, 活鮮魚貝類, 水産통조림 등 輸出收買支援事業에는 總 125億원의 農安基金을 支援, 봉장어, 꽃게, 삼치, 굴 등 輸出 主要品目 26千톤을 收買 輸出토록 하고 生産者團體出荷調節事業에는 農安基金 113億원을 支援, 김, 오징어 등 27千톤을 收買하여 漁民 受取價格을 提高시키도록 出荷調節 事業을 支援할 計劃이다.

특히 今年부터는 產地水協과 같이 水協中央會에서도 生産者團體 出荷



調節 資金을 支援받아 事業을 遂行토록 할 計劃이며, 民間에게 支援되는 資金은 沿近海 漁民 支援事業資金 未納業體와 水産物 密輸入(偽裝搬入)業體 및 綜合貿易商社와 그 系列企業은 資金 支援 對象에서 除外토록 하여 資金運用을 效率化 해 나갈 計劃이다.

水産物 民間 價格安定 事業 역시 政府 備蓄 事業과 連繫하여 品目別 需給 및 價格 動向에 따라 收買資金을 事業別로 實效性 있게 運用하여 價格 安定事業을 遂行해 나갈 計劃이다.

### 3. 需給 및 價格管理 強化

水産物 需給 安定을 위하여 水産物 生産의 增大와 外國과의 共同事業 및 合作事業을 통한 內需 搬入 擴大를 期해 나가도록 하고 北韓産 水産物의 搬入과 需給上 不足 品目에 대하여는 制限의으로 輸入을 積極 推進해 나갈 計劃이다.

조기, 명태, 오징어, 고등어, 마른멸치, 김 등 6個 主要 品目に 대하여는 需給狀況을 特別 管理하고 年中 物價 管理 非常 體制를 運營하여 水産物 需給 및 價格管理를 點檢해 나가고 설날, 秋夕, 越冬期 등 盛需期에는 特別 對策을 樹立하여 盛需品の 需給과 價格安定을 圖謀해 나갈 計劃이다.

## 第 2 節 流通構造 改善

### 1. 產地流通 改善

水産物의 迅速한 揚陸과 販賣, 衛生的 處理와 系統 出荷 擴大를 위하

여 '91年度에 總事業費 1,367百萬원을 支援, 委販場 2,750坪을 擴充하고 沿近海 生産量 2,520千톤의 72.6%인 1,830千톤(14,100億원)을 產地 水協에 共同 販賣토록 하고 委販 脆弱品目인 돔, 천초는 農安基金 20億원을 支援하여 共同 收集 販賣事業을 實施할 計劃이다.

또한 健全仲買人的 持續的 補強·育成과 魚貸金支給 電算化組合擴大, 漁民便宜 施設의 擴充, 委販裝備의 現代化를 통한 產地 漁獲物의 販賣 機能을 強化하고 漁獲物의 取扱 管理와 衛生管理를 철저히 해 나갈 計劃이다.

## 2. 消費地 流通 改善

產地 組合의 系統出荷 目標 賦與와 水協 共販場의 運營을 活性化하여 內陸地 系統出荷를 '90年보다 30千톤 늘어난 147千톤으로 擴大하고 水協 直賣場 增設과 大量 需要處 開發로 直去來 事業을 積極 擴大 推進해 나갈 計劃이다.

또한 首都圈에 水協이 運營하는 水産物 集配센타를 設置토록 推進하고 全國의 14個 水産部類 都賣市場의 公益性 提高와 公正 去來 秩序 確立을 위하여 積極 指導해 나갈 計劃이다.

## 3. 水産物 規格化 推進

水産物의 規格化 및 包裝 改善으로 商品性を 提高하고 水産物標準去來 單位를 定着시키기 위하여 現行 標準去來 單位를 10個 品目에서 30個 品目으로 擴大 指定하고 規格出荷 資金도 10億원을 늘려 農安基金 45億원 을 年利 3%의 低리로 새우젓外 8個品目に 支援할 計劃이다.

<表 103>

規格出荷 事業 計劃

單位 : 톤, 百萬元

	出 荷 組 合	規格出荷計劃		農安基金支授
		物 量	金 額	金 額
計		4,431	5,629	4,500
마 른 멸 치	완도, 약산, 진도, 고흥, 여수, 거제, 삼천포, 권현망, 소안	1,047	3,438	2,750
새 우 젓	강화, 용진, 신안	507	595	476
멸 치 젓	대천, 경주	411	276	220
굴	용진, 고흥	30	91	73
꽃 게	용진, 진도	167	645	515
마 른 문 어	고흥	3	63	50
간 미 역	완도,	2,194	438	350
바 지 락	용진	50	45	36
마 른까나리	대천	22	38	30

資料 : 水産廳 漁政課

### 第 3 節 加 工 業 育 成

#### 1. 加 工 製 品 生 産

經濟成長과 國民所得水準의 向上에 따라 水産物은 消費패턴의 變化로 消費形態도 從來의 副食用 鮮魚消費에서 卽席·便利·成人病 豫防과 健康食 爲主의 高次加工食品으로 그 需要가 變化되어 가고 있다. 이에 따라 '91年度에는 沿近海 製品生産目標를 92萬톤으로 樹立하고 다음과 같은 施策을 積極 推進하고 있다.

첫째, 加工原料의 安定的 需給을 위하여 原料의 鮮度維持 및 系列化

를 기하고, 특히 煉製品 原料의 圓滑한 供給 및 品質의 高級化를 위하여 不足原料인 船上煉肉의 制限的 輸入을 許容하며

둘째, 水産物 加工製品의 品質向上을 위하여 KS表示許可 取得을 擴大 誘導하고, 去來單位 標準化 및 包裝改善等으로 製品의 高級化를 積極 推進하고

셋째, 水産物 加工製品의 國際競爭力을 強化해 나가기 위하여 新製品 開發促進 및 海外先進技術을 導入·普及하며

넷째, 水産物 加工製品 生産에 漁民 및 漁民團體의 參與를 誘導, 地域特産 傳統 水産物의 加工製品 生産을 支援해 나가고 있다.

## 2. 加工製造業體 支援

水産物이 單純加工製品 消費形態에서 高次加工製品 消費形態로 變化하여 가는 趨勢에 따라, 水産物의 消費構造도 生産 → 流通 → 消費性向에서 生産 → 加工 → 流通 → 消費構造로 變化되어 가고 있는 趨勢이다.

또한 우루과이라운드 協商 및 水産物 輸入開放에 對應하고 水産物 需要增加에 對備, 水産物 處理加工施設의 擴充으로 生産을 增大하고, 新製品開發로 國際 競爭力을 強化하여 지속적인 輸出增大 및 漁民所得 向上을 위하여 '91年度에는 冷凍·冷藏施設의 新設 및 改·補修 等の 施設 資金에 50億원, 煉製品, 鬆조립, 冷凍品, 調味加工品, 海藻加工品 生産 業體에 運營資金 95億원을 支援하고 있다.

## 3. 消費促進

水産物의 消費性向이 從來의 鮮魚爲主에서 卽席·便利·高次加工食品

으로 變化되어 가고 있는 趨勢이다.

水産物의 消費擴大을 위하여 TV, 라디오, 新聞, 雜誌等의 言論媒體와 팜프렛, 리후렛 製作·配布 및 와이드칼라의 設置 等を 活用하여 정어리, 고등어, 김, 굴, 미역, 오징어 등 多獲性 水産物을 비롯한 모든 水産物은 成人病豫防은 물론 無公害 健康食品임을 集中 弘報하는 同時에 民間團體 및 業界로 하여금 自律的으로 有料 弘報를 擴大토록 誘導하고 있다.

또한 새로운 料理法 開發普及을 위하여 서울을 비롯한 地方 主要消費都市에서 水産物 料理솜씨大會 및 料理講習會, 展示會 및 試食會를 開催하고, 料理冊과 리후렛 및 팜프렛을 製作하여 關聯機關, 團體 및 消費者들에게 配布하고 있다.

#### 第 4 節 水産物檢査

國內外的인 輸出與件 惡化와 漁況不況에 따른 原料確保의 어려움등을 勘案 '91年度 水産物檢査 目標量을 25萬톤으로 定하고 이의 目標量 達成과 輸出對方國에서의 我國 水産物에 對한 信賴性 提高를 위하여 品質 向上에 力點을 두고 檢査指標를 “信賴받는 檢査業務 確行”으로 하였으며 이에對한 細部方針으로는

첫째, “檢査判定의 標準化”를 爲하여 冷凍品등 8個製品의 輸出檢査品中 大量的이거나 品質 判定에 있어 檢査員間 客觀性이 缺如되기 쉬운 品目에 對하여 檢査標準品 査定會를 年中 5회로 區分 開催하여 檢査標準品을 設定, 檢査判定의 同一性을 維持함으로써 對外的으로 公信用을 높이는 한편 生産, 加工 業界를 參與시켜 優秀製品 生産을 誘導해 나갈

것이며,

둘째, “檢査員의 資質向上”에 대하여는 輸出入 水産物의 食品 安全性 提高를 爲하여 重金屬, 抗生物質, 殘留農藥 등 有害成分에 對한 分析教育을 自體 또는 專門機關에 依賴 實施 하겠으며, 優秀加工業體에 檢査員을 現場實習케 하여 檢査의 效率性을 기하도록 하고, 全 檢査員이 國家技術資格(水産製造技士 1, 2級)을 取得할 수 있도록 勉學券匯氣를 造成하는등 檢査員의 資質을 向上시켜 業界를 啓導토록 하고,

세째, “檢査의 科學化”에 對하여는 分析檢査의 持續的인 活性化를 爲하여 老朽裝備을 交替하거나 最新裝備등을 確保하고, 先進國의 檢査制度 및 技法을 研究, 檢討하는등 檢査의 科學化에 重點을 두어 날로 強化되고 있는 輸出對方國의 食品安全性 規制에 效率的으로 對處해 나가겠으며,

네째, “製品生産 指導強化”에 대하여는 單純加工品이거나 製造, 加工 施設 및 技術이 比較的 落後된 業體 또는 不合格品 發生業體를 爲主로 處理加工 技術 및 包裝등에 對한 製品生産指導를 強化하여 品質向上을 기함은 물론 國內外 市場情報를 迅速히 入手하여 業界에 提供함으로써 業界로 하여금 輸出業務에 보다 能動的으로 對處할수 있도록 하는 한편 加工工場의 施設 및 從業員의 衛生管理指導에 注力하겠으며,

다섯째, “輸入水産物 檢査의 早期定着化”를 爲하여 現在는 釜山, 馬山, 蔚山港으로 輸入된 水産物(全體輸入水産物의 85~90%)에 對하여는 國立水産物檢査所 釜山支所에서만 檢査를 實施하고 있으나 이를 全國 主要港口에 位置하고 있는 國立水産物檢査所의 11個支所에서 輸入水産物 檢査를 專擔하게끔 全支所를 食品衛生檢査機關으로 指定한다도록 保社部와 協議 推進하겠으며 아울러 最新檢査 裝備 및 實驗室의 補強등을 通하여 名實相符한 輸出入 檢査의 科學化가 이루어지도록 하여 輸入水

産物の 徹底한 安全管理과 國民 食生活의 安全性 確保는 물론 不正한 方法(偽裝 등) 및 不良 水産物이 輸入되지 않도록 보다 더 檢査에 徹底를 기할 것이다.

## 第 5 節 水産物 輸出促進

'91年度 水産物 輸出目標 1,600百萬\$을 達成하기 위하여 主要 輸出 品目에 대한 輸出節次 簡素化 및 優秀加工業體에 檢査減免制度를 더욱 擴大하여 水産物輸出檢査 節次 簡素化 等 安定的 輸出基盤 與件을 造成하는 한편, 輸出秩序 確立 및 濫獲받기 輸出風土 造成을 위하여 適正 輸出指導價格 維持等 輸出制度改善 및 補完을 통해 輸出隘路 事項을 持續的으로 改善해 나갈 計劃이다.

또한, 輸出支援資金의 供給擴大를 통한 原料收買의 圓滑化와 北方 및 東歐市場 開拓의 積極支援, 海外市場 動向 把握과 民間 輸出促進團 派遣活動을 통한 輸出市場의 多邊化를 積極 推進하는 한편, 製品의 品質 및 規格·包裝·디자인등의 高級化 誘導, 低次 加工品에서 高次 加工品으로 輸出擴大를 圖謀하여 高附加價值 輸出品目 爲主로 輸出擴大를 圖謀하므로써 輸出 競爭力을 向上시키는데 力點을 두고 推進할 計劃이며, 輸出 商品의 海外弘報와 主要 輸出 對象國과 쌍무協商을 통한 輸入關稅 引下 및 直·間接 輸入規制等 交易障壁의 除去 또는 緩和 交涉을 積極 推進하여 水産物이 圓滑하게 輸出될 수 있도록 對處해 나갈 計劃이다.

## 第 6 節 水産物 輸入自由化 補完對策

### 1. 輸入自由化 補完對策 推進

'89.4月 豫示한 '89~'91年間の 輸入 自由化 計劃과 關聯, 政府에서는 漁業構造 調整, 生産基盤의 擴充등 主要事業을 서두르고 있다.

'91年度에도 輸入 自由化 對策事業에 總 1,304億원(政府補助 827, 融資 303, 地方費 93, 漁民負擔 81)이 投入될 計劃이다.

### 2. 輸入自由化 推進

'89.4月 豫示한 '89-'91年間の 輸入 自由化 計劃에 따라 '91年度에 는 37個 品目을 輸入 自由化하였다.

이로써 總 339個 品目中 232個 品目이 自由化되어 68.4%가 開放되었다. 그러나, 國家 全體나 農林畜産物에 비해 그 開放率이 현격히 낮아 國內的으로나, 國際的으로 開放 壓力의 方向이 水産物로 集中될 것으로 展望된다.



<表 104> '91 輸入 自由化 現況

H	S	品 目	H	S	品 目
0208	90 9010	해양동물의 육과 식용 설육(新鮮 冷蔵, 冷凍)	91	1500	피조개(산것, 新鮮 冷蔵)
			91	1600	새조개(산것)
0301	93 0000	잉어(活魚)	91	1700	개이지살(산것, 新鮮 冷蔵)
	99 9090	기타어류( " )	0307	99 1140	개이지살(冷凍)
0302	69 6000	갯장어(新鮮 冷蔵)	99	1150	피조개( " )
	70 2000	어란( " )	99	1910	해삼( " )
0303	77 0000	농어(冷凍)	99	2120	개이지살(乾燥)
	79 9080	새끼리민태( " )	99	2130	바지락( " )
0304	10 1000	어류의 피레트 (新鮮 冷蔵)	99	2990	기타 수생무척추동물( " )
	10 9000	기타어육( " )	99	3110	개량조개(염장염수장)
0305	10 0000	식용 어분	1212	20 5090	다시마(新鮮 乾燥)
	20 2000	건조 어란			
	59 1000	삼이지느리미(乾燥)	1604	14 1090	기타다랭이
0306	14 1000	게살(冷凍)	15	9000	고등어 조제품
	24 1000	게(新鮮 冷蔵)	20	3000	생선소시지
0307	21 0000	가리비과의 조개 (산것, 新鮮 冷蔵)			
	29 1000	" (冷凍)	1605	10 1090	게살(其他 調製品)
	59 9000	문어(鹽藏 鹽水藏)	90	2030	새조개(燻製)
0307	91 1190	백합(산것, 新鮮 冷蔵)	2106	90 4090	기타해조류조제품
	91 1400	진주조개( " )			

資料 : 水産廳 貿易課

### 3. GATT/BOP 合意事項 推進

'89.10月 GATT/BOP 委員會에서의 合意에 따라 우리나라는 '97년까지 2次에 걸쳐 殘餘 輸入制限 品目を 自由化하도록 되어 있다.

이에 따라 '92-'94년까지의 輸入自由化 品目を 決定, '91.3月 GATT에 提出하였다.

이러한 品目 決定은 그간 國內外 生産·價格 動向, 輸入 可能性, 被害影響 程度, 從事 漁民과의 關聯性 등 豫想되는 모든 要因을 綜合 檢討 分析하고, 關係 公務員, 漁民團體가 參與한 10여 차례의 會議을 거쳐 決定된 事項으로 國際的 信義를 지키면서도 國內 水産業 保護에 焦點을 두고 決定하였다.

이렇게 함으로서 '94년까지의 우리나라 全體 輸入 自由化率は 98.5%가 되게 되며, 水産物은 86.5%가 되게 되나, 아직도 水産物의 輸入 自由化率は 낮아 國內外의 開放壓力이 繼續될 것으로 展望된다.

輸入開放은 一面 生産者에게는 당장의 被害意識을 불러일으키지만 國內 需給의 圓滑과 價格安定, 過度한 漁獲努力量의 縮小와 이에 따른 資源增強, 加工品 生産 原料調達容易 등의 利點이 있다.

따라서, 政府에서는 開放에 따른 被害縮小를 위해 水産業 全體에 대한 中·長期 對策을 마련, 꾸준히 推進하는 한편, 個別品目에 대한 影響이 클 때에는 産業被害 救濟制度, 關稅制度 등을 活用, 被害를 最小化해 나갈 것이나, 漁民 스스로도 競爭力 確保와 所得增大에 最善을 다하여 輸入開放을 우리 水産業發展의 轉機로 活用할 수 있는 슬기가 必要하며, 이를 위해 政府, 關聯團體, 漁民間의 긴밀한 協力이 要求된다.

〈表 105〉 '92 ~ '94 輸入自由化 豫示計劃

	總品目數	'91까지 自由化	'91現在 制限 品目	'92~'94豫示計劃			殘 存 品 目 數	
				計	'92	'93		'94
計	10,274	9,991 (97.2)	283	133 (98.5)	43	46	44	150
工產品等	8,484	8,474 (99.9)	10	2 (99.9)	-	2	-	8
農畜林產物	1,448	1,282 (88.5)	166	70 (93.4)	23	24	23	96
水 產 物	342	235 (68.7)	107	61 (86.5)	20	20	21	46

資料：水産廳 貿易課

註：1. 水産物 品目數가 調整(339 → 342)된 것은 所管에 不拘하고 關聯性을 基準으로 再分類 하였기 때문이며, 追加된 品目은 장어류 原皮, 海狸 생모피, 바다표범 생모피임.

2. ( )은 自由化率임.

## 第 7 章 漁業基盤施設の 擴充과 漁民支授 強化

### 第 1 節 漁港施設 擴充

#### 1. 漁港開發

'91年 漁港開發 方向은 外廓施設 完成 爲主에 두고 推進하고 있다. 1, 3種漁港은 530億원의 事業費로 忠南의 安興港 等 19個港에 對한 建設 事業과 釜山의 多大浦港 等 9個港에 對한 補修·補强事業을 推進하고, 2種漁港은 77個港에 118億원의 事業費를 投資할 計劃이다.

〈表 106〉 漁港開發 計劃

	投資港數 (個港)	物 量 (M)	事業費(億원)		
			計	國 費	地 方 費
計	105	8,229	648	589	59
1・3種漁港	28	4,526	530	530	-
2 種 漁 港	77	3,703	118	59	59

資料：水産廳 漁港課

## 2. 新規指定 漁港調査事業

그동안 1·3種漁港 61個, 2種漁港 330個 等 總 391個의 漁港을 指定 開發하여 왔으나 港間距離가 33km로 너무 멀어 颱·暴風時 漁船의 累急待避가 어렵고 漁船移動에 많은 時間이 所要되어 操業率이 低下되므로 港間距離를 20km까지 短縮시킬 目標로 우선 '90~'91.3月까지 23個港을 新規指定하였고 '92年 부터 開發에 着手하기 위하여 '91年에 우선 忠南 洪連港等 12個港의 基本調査를 推進하고 있다.

## 3. 制度改善

漁港修築事業은 지금까지는 漁船收容 및 待避目的으로 基本施設 爲主의 漁港을 建設하여 왔으나 그동안 高度産業社會로의 發展에 따른 漁業 與件變化에 相應하는 漁港建設의 必要性이 擡頭되고 있으며 漁村地域을 漁港中心의 定住生活圈으로 開發하기 爲해서 現行 漁港法을 改正. 漁港建設에 對한 制度改善을 推進할 計劃이며 具體的인 改善方向은 첫째, 漁港機能施設의 範圍를 擴大하고 漁民에 對한 厚生福祉 및 住民環境整備施設을 大幅 新設하며 둘째, 漁港開發의 活性化를 爲하여 民資 誘致 方案을 講究하고 셋째, 主要施設計劃을 樹立할 때는 事前에 住民 또는 利害關係人의 意見을 收斂하는 行政節次規定을 듬으로써 漁港建設事業에 住民의 參與를 擴大할 計劃이다. 넷째, 漁港區域內에서 一部 公有水面管理 또는 埋立業務와 重複되는 分野를 調整하고 다섯째, 漁港管理業務의 效率性을 提高하기 爲하여 漁港管理體系를 合理的으로 調整하고 漁港施設 使用料의 範圍를 規定할 計劃이다.

## 第 2 節 漁撈施設 現代化

### 1. 漁船建造

#### 가. 老朽漁船代替

'91年度 老朽漁船代替事業은 6,360百萬원을 投入하여 1,200톤의 老朽漁船을 合成樹脂(FRP)漁船으로 代替할 것이며, 또한 漁船建造 支援單價를 噸當3,516千원에서 5,300천원으로 現實化할 計劃이다. 同事業의 支援對象은 船齡이 木船은 16年以上, 鋼船및 合成樹脂(FRP)漁船은 21年以上의 老朽漁船을 8톤未滿의 合成樹脂漁船으로 代替하고, 被代替漁船을 2年以上 所有한 者로서 被代替老朽漁船을 人工魚礁 投入이나 廢船 條件으로 하며, 最近 2年以內 不法漁船을 建造한 者는 支援對象에서 除外하여 實際로 漁業을 經營하는 漁民에게 惠澤이 가도록 할 計劃이다.

#### 나. 經濟性漁船 建造

'91年度 經濟性漁船建造事業은 139億원을 投入하여 2,600톤을 建造 支援할 計劃인데, 이는 '90年度 64億원을 支援한 데 比하여 '5億원이 擴大된 것으로 漁船의 現代化로 安全操業 및 漁業經營 改善을 圖謀할 수 있을 것이다. 同事業의 支援對象은 例年과 같이 40톤 未滿 漁船은 經濟性있는 合成樹脂(FRP)漁船으로 하고 '91年度 新規 支援하게 된 40톤以上漁船은 FRP漁船 또는 鋼船으로 하며, 특히 省力化, 機械化 및 人力節減型 經濟性漁船 建造에 優先 支援할 計劃이고, 支援條件은 總事業費의 80%는 融資, 20%는 自擔으로 하며 3年据置 10年償還에 年利 5%로 融資 支援하고 있다.

#### 다. 計劃造船(漁船)事業

國民投資基金에 의한 計劃造船事業은 '77~'91년까지 313,950百萬 원을 投入, 840隻 102,380톤을 建造支援하여 40톤以上 老朽漁船代替를 통한 漁民所得向上과 國際競爭力 強化에 奇與하였으나 '88.9.9産業政策審議會 議決에 의한 國民投資基金 改編方案에 따라 '92年 부터 廢止토록 되어 있으며, '91年度에는 計劃造船事業 配定資金 90億원을 投入 1,900톤을 建造支援할 計劃이다. 同基金에 의한 計劃造船事業은 今年度가 마지막인 點을 勘案, '92年度부터는 40톤以上 近海漁船의 老朽漁船代替支援은 農漁村發展基金에 의한 經濟性漁船建造事業으로 一元化支援하고 漁船規模가 큰 遠洋漁船은 政府財政投融資 資金을 確保하여 遠洋漁業의 國際 競爭力을 높이고 海外漁場을 持續의으로 確保하여 水産物을 安定的으로 供給할 수 있도록 遠洋老朽漁船代替 支援에 積極 努力할 計劃이다.

## 2. 漁船設備등 改良

### 가. 漁船機關代替

安全操業과 操業能率 向上은 물론 燃料節約을 위하여 燒球 및 陸上用機關등의 低效率機關과 老朽機關을 性能이 優秀한 燃料節約型 船舶用機關으로 代替하여 漁民所得向上에 寄與하기 위하여 施行하는 事業으로 '91年度에는 4,800百원을 投入 33千馬力을 代替할 計劃으로, 支援對象은 500馬力以下 船舶用機關의 代替이며, 零細漁民과 多數漁民에게 고루 惠澤이 갈수 있도록 小型漁船의 低馬力機關 代替에 優先支援토록 하고, 總事業費의 80%는 融資, 20%는 自擔으로하며 1年 据置 4年償還에 年利는 5%이다.

## 나. 漁船裝備 및 設備改良

漁船裝備 및 設備의 現代化로 操業能率 向上과 漁業經營改善을 위하여 '91年度에는 70億원을 投入, 既存 在來式 裝備, 設備의 改良과 漁撈設備의 機械化, 自動화 設備 및 船員居住環境 改善을위한 船體構造 改良을 支援할 計劃이며 漁船機關代替 支援條件과 마찬가지로 總事業費의 80%는 融資, 20%는 自擔으로 하고, 1年据置 4年償還에 年利는 5%이다.

## 다. 漁船用機資材 生産 支援

漁船用機資材 生産業體에 대한 運營資金 支援으로 品質 좋은 漁船用品의 生産과 圓滑한 需給을 圖謀하기 위하여 1個業體에 3億원의 限度內에서 13億원을 支援할 計劃이며, 融資支援條件은 1年償還에 年利 8%이다.

&lt;表 107&gt;

漁撈施設事業 計劃

單位 : 百萬元

事業別	物量	事業費			
		計	補助	融資	自擔
計		44,625	1,272	34,428	8,925
○漁船建造	5,700톤	31,510	1,272	23,936	6,302
- 老朽漁船代替	1,200	6,360	1,272	3,816	1,272
- 經濟性漁船建造	2,600	13,900	-	11,120	2,780
- 計劃造船	1,900	11,250	-	9,000	2,250
○漁船機關代替	30,000馬力	4,800	-	3,840	960
○漁船製備 및 設備改良	-	7,000	-	5,600	1,400
○漁船用機資材生産支援	5個社	1,315	-	1,052	263

資料 : 水産廳 漁船課.



### 第 3 節 漁村綜合開發

政府는 지난해에 이어 '91年度에도 國庫 3,150百萬元(70%), 地方費 1,350百萬元(30%), 計 4,500百萬元을 投入하여 漁村開發 潛在力과 協業事業 遂行能力은 있으나 自體開發 資金이 없어서 開發이 이루어지지 않고 있는 低所得漁村 15個所를 選定하고, 個所當 300百萬元을 支援하여 漁村構造改善과 定住圈 基盤을 造成할 計劃이다. 同事業은 地域與件 및 特性에 알맞는 漁村當 2~6個의 漁民希望事業을 選定하여 道知事(市場·郡守) 責任下에 推進토록 하고 있으며, 細部事業은 防波堤, 物揚場, 船着場, 漁村所得源道路, 人工魚礁 等の 生産基盤 施設事과 陸上養殖場, 種苗培養場, 共同作業場 等の 所得増大事業과 漁民會館, 給水施設, 沐浴湯等の 漁民福祉事業 및 횃집(活魚場), 休憩所, 宿泊施設 等の 觀光開發 事業을 並行하여 施行 할 計劃이다.

<表 108>

漁村綜合開發事業 推進計劃

單位：百萬元

區 分	計	江 原	忠 南	全 北	全 南	慶 北	慶 南	濟 州
個 所	15	1	1	1	5	2	4	1
事 業 費	4,500	300	300	300	1,500	600	1,200	300
· 國 庫	3,150	210	210	210	1,050	420	840	210
· 地 方 費	1,350	90	90	90	450	180	360	90

資料：水産廳 協同組合課

#### 第 4 節 漁民福祉會館 建立

’91年度에는 漁船員 및 漁民의 厚生福祉 增進을 爲하여 京畿 江華水協等 4個所의 一線水協 中心어항에 現代의 施設을 갖춘 漁民福祉會館 建立을 爲하여 1,261百萬원의 事業費(補助金)를 確保하여 市.道知事로 하여금 委任執行토록 하였다.

〈表 109〉 漁民福祉會館 建立計劃

區 分	’90	’91	’91/’90(%)
事業量(個所)	5	4	80.0
事業費(百萬圓)	1,261	1,080	85.6

資料：水産廳 協同組合課

#### 第 5 節 漁民後繼者 育成

政府는 ’91年度에도 農漁村發展基金 1950百萬원을 들여 漁村에 定着하여 漁業에 從事할 意慾과 事業推進能力이 있는 35歲 以下의 漁村에 살고 있는 靑少年과 水産系 大學 및 專門大學의 卒業者 또는 卒業豫定者中에서 學校長이 推薦하는 者 150名을 選定, 1人當 13百萬圓씩의 長期低利資金을 支援하여 漁船購入, 漁船建造, 漁船 改補修, 養殖施設物 設置, 稚貝購入資金으로 使用, 漁業을 經營하면서 漁村에 定着하고 福祉漁村建設의 旗手로 活用토록 할 計劃이다. 또한 對象者 150名 組員에 對하여 漁船漁業과 水産養殖에 關한 專門技術教育을 實施하고 ’90以前 後繼者中 教育을 希望하는 260名에 對하여도 補修教育을 實施할 計劃

이다.

〈表 110〉

漁民後繼者 育成 支援 計劃

單位：名,百萬元

구 분	計			'81~'90			'91		
	人員	%	金額	人員	%	金額	人員	%	金額
計	4,597	100	36,298	4,447	100	34,348	150	100	1,950
漁船漁業	2,763	60	22,935	2,689	61	21,973	7	49	962
培養殖漁業	1,790	39	13,093	1,714	38	13,093	76	51	988
水産物加工	44	1	270	44	1	270			

資料：水産廳 協同組合課.

## 第 6 節 漁村觀光 所得源開發

政府에서는 多様な 國民觀光 需要를 充足하고 漁民所得増大를 圖謀하기 위하여 東,西,南海岸의 豊富한 觀光資源을 保有하고 있는 漁村地域에 대하여 觀光 便宜施設 및 基盤施設等을 設置 할 수 있도록 '91年度에도 觀光所得源 開發事業을 推進하고자 農漁村發展基金 355百萬元(60%) 地方費 168百萬元(30%), 自擔 69百萬元(10%) 計 592百萬元을 投入하여 觀光資源이 賦存되어 있고 事業經營 能力과 自擔能力이 있는 漁村契의 地域與件 및 特性에 알맞고 投資效果를 極大化 할수 있는 筏집(活魚場)4 個所, 休憩所 2個所, 宿泊施設 2個所, 觀光遊覽船 2隻을 施設토록 支援하여 落後된 漁村地域의 均衡發展을 圖謀할 計劃이며 融資金의 償還期間은 3年据置7年償還이며 金利는 年8%이다.

〈表 111〉

漁村觀光 所得源開發事業 計劃

單位：百萬圓

單位事業名	物 量	單 價	事 業 費			
			計	融 資	地方費	自 擔
計	10件		592	355	168	69
喫 집 (活魚場)	4個所	74	295	177	88	30
休 憩 所	2個所	45	90	54	27	9
宿 泊 施 設	2個所	60	120	72	36	12
遊 覽 船	2隻	44	87	52	26	9

資料：水産廳 協同組合課。

## 第 7 節 水産資金 供給擴大

### 1. 營漁資金

’91年度 營漁資金 支援規模는 前年度와 같은 水準인 6,000億圓으로 沿近海漁業에 5,190億圓, 遠洋漁業에 810億을 供給할 計劃이다. 營漁資金은 漁民所得을 增大하기 위하여 低利로 支援되는 政策資金이므로 資金調達能力이 微弱한 零細小規模漁業 및 共同申告漁業漁民을 優待支援하기 위하여 漁業經營規模가 적을수록 融資比率을 높이도록 하는 한편, 漁民後繼者에 대하여는 選定業種에 限하여 3년까지 所要額의 100% 까지 支援토록 할 計劃이며, 또한 300萬圓 以下の 小額 貸出時에는 從前의 2人 立保를 1人 立保 原則으로 하고 다만 1人立保로서 困難하다고 判斷될 境遇에 限하여 1人을 追加 立保토록 하는 한편 農林水産業者 信用保證付貸出을 活用할 수 있도록 漁村契長 및 組合長이 積極 支援토록

하므로서 擔保物件의 不足 및 保證人을 구하지 못해 어려움을 겪고있는 漁民이 없도록 漁民便益 爲主의 貸出制度를 마련할 計劃이다.

<表 112> 營漁資金 供給 計劃

單位：億圓

		'90	'91(P)	增(△)減
所	要	9,110	12,014	2,904
供	給	6,000	6,000	-
供	給	(66)	(50)	△16
調 達	財 政 資 金	765	895	130
	韓 銀 借 入 金	2,617	2,552	△65
	水 協 自 體 資 金	2,618	2,553	△65
運 用	沿 近 海 漁 業	5,190	5,190	-
	遠 洋 漁 業	810	810	-

資料：水産廳 協同組合課

## 2. 水産振興財政資金

營漁資金等 運營資金을 支援받지 못하는 水産加工業體 및 漁網生産

<表 113> 水産振興財政資金 運用計劃

單爲：百萬圓

	'90	'91	增(△)減	內 譯
計	8,500	8,500	-	
水産物製造加工	6,500	6,500	-	'90 製造加工 · 冷凍冷蔵加工 3,000 · 胴조림加工 2,700
漁 網 生 産	2,000	2,000	-	· 調味加工 300 · 海藻加工 500

資料：水産廳 協同組合課

등에 支援하여 漁業과 水産製造業의 均衡發展을 圖謀할 計劃이다.

### 3. 農漁村發展基金運營

政府는 農漁村의 發展과 農水産業의 構造改善을 爲한 事業을 推進하기 爲하여 農漁村 發展 特別措置法에 따라 支援되는 農漁村發展基金中 水産部門에 344億원을 投資하여 水産業의 構造調整事業과 輸入開放業種에 對한 重點支援으로 水産業을 競爭力있는 産業으로 育成할 計劃이다.

<表 114>

農漁村發展基金運用規模

單位：百萬원

事業別	'90		'91		增(△)減	
	物量	金額	物量	金額	物量	金額
計		34,297		34,369		72
○ 水産業構造調整 (施設性)		23,565 (17,075)		24,929 (19,325)		1,364 (2,250)
- 經濟性漁船建造	1,600톤	5,120	2,600톤	11,120	1,000톤	6,000
- 水産物處理加工施設	16個所	9,200	10個所	5,000	△6	△4,200
- 漁民後繼者支援	150名	1,500	150名	1,950	-	450
- 委販場廢水處理施設	5個所	900	5個所	900	-	-
- 漁村觀光開發 (運轉性)	7件	355 (6,490)	10件	355 (5,604)	-	- (△886)
- 水産物加工	30個所	3,300	30個所	3,000	-	△300
- 漁業用機資材生産	15個社	2,050	9個社	1,452	△6個社	△598
- 輸出水産物運送	31隻	1,140	31隻	1,152	-	12
○ 輸入補充對策		10,732		9,440		△1,292
- 漁船裝備及設備改良	51隻	5,100	70隻	5,600	20隻	500
- 漁船機關代替	44,00HP	5,632	30,000HP	3,840	14,000HP	△1,792

資料：水産廳 協同組合課

## 第8節 漁民負擔 輕減

### 1. 營漁資金 利差補填

'86.3農漁村綜合對策의 推進으로 營漁資金 貸出金利를 10%에서 8%로 引下하였고 '89.4.28 農漁村發展綜合對策의 一環으로 沿近海部門에 대한 영어자금 대출 金利를 8%에서 5%로 追加 引下하게 되므로서 '91年度에 總 16,960百萬圓의 漁民負擔을 輕減하게 된다.

### 2. 漁家負債輕減 利差補填

'87.3 農漁家負債輕減對策에 따라 計劃造船(近海部門) 및 水産開發資金(被害復舊融資金) 金利引下와 耕地面積 0.5ha未滿에 準하는 零細漁家의 中長期資金을 3%의 低利資金으로 代替하므로서 '91年度에 總 1,895百萬圓의 漁民의 金融負擔을 덜어주고 있다.

### 3. 漁家負債輕減特別措置 利差補填

農漁家의 金融負擔을 緩和함으로써 農漁業의 經營費를 節減하고 農漁家의 負債償還負擔을 輕減코자 '89.12.30 “農漁家負債輕減에 關한 特別措置法”이 制定,公布됨에 따라 負債輕減 特別措置 對象이 되는 漁家は 耕地面積 2.0ha未滿에 準하는 漁家로서 零細漁家와 中,小規模漁家로 區分,當初 貸出期間이 2年以上인 中長期 水産資金은 家口當 400萬圓 範圍內에서 利子를 減免(年1~12.5→0~3%)하고 償還期間도 5年据

置 5年均分 償還토록 延長하였다. 相互金融資金에 대하여도 家口當 200 萬원 範圍內에서 利子를 減免(年14→0~5%) 하고, 償還期間을 3年据置 7年均分 償還토록 延長 措置한 바 있다. 이와같이 漁家負債輕減 特別措 置에 따라 '91年度에 2,976百萬원의 利子負擔을 덜어주게 되었다.

#### 4. 水産被害漁民 約定利子 補助

'89年度에 發生한 颱風·暴風 및 集中豪雨로 水産施設에 50%以上 被害를 입은 漁家가 被害發生日 現在 貸出받아 使用中인 營漁資金에 대하여 1~2年間 利子免除 및 償還期間을 延長토록 措置함에 따라 '91年度에 910百萬원의 漁民의 利子負擔이 줄게 되었다.

〈表 115〉 各種 特別對策別 金利引下 및 '91年 利差補填額

單位：百萬元

特 別 對 策 別	金 利 引 下	利差補填額	對 象 期 間
計		22,741	
'86.3 農漁村綜合對策		6,319	'90.7~'91.6
- 營漁資金 金利引下	10→8%		
'87.3 農漁家負債輕減對策		1,895	'90.1~'90.12
- 計劃造船(近海)	10.5→8%		
- 水産開發(金融)	12.5→8%		
- 借款資金(IBRD)	9.9→8%		
- 零細漁家 中長期資金 低利代替	8~12.5→3%		
'89.4 農漁村發展綜合對策		10,641	'90.7~'91.6
- 營漁資金 金利引下(沿近海)	8→5%		
'89.12 農漁家負債輕減特別措置法		2,976	'91.1~'91.6
- 中長期資金	1~12.5→0~3%		
- 相互金融資金	14→0~5%		
'89水産被害漁民約定 利子補助	5→ 0%	910	1~2年間

資料：水産廳 協同組合課



## 第 9 節 漁船員共濟 支援

漁船共濟 加入金額의 決定基準인 漁船評價表는 '89.10.1 改正하여 適用되고 있으나 그동안 人件費 및 物價上昇等 經濟的 與件變化에도 不拘하고 이에 따라 加入하므로서 事故發生時 實際 損害額에 未達하는 共濟金支給으로 災害漁船의 原狀復舊가 不可能한 點을 勘案하여 漁船 評價額을 船體의 경우 鋼船 24%, 木船 19%, FRP船 21%等 平均 21%를 上向 調整하고 機關과 機裝品에 대하여도 各各 平均 13%와 14%를 上向 調整하므로서 實際 損害額에 近接하는 補償이 이루어 지도록 改正 '91.6.1부터 施行하고 있다. 그리고 無動力 漁船에 設置하는 船外機를 機裝品으로, 動力漁船에 設置된 船外機는 機關으로, 各各 認定하여 共濟에 加入할 수 있도록 共濟加入 對象 擴大와 船外機의 共濟加入에 따른 評價額 및 損害率表를 新設하고 高速機關의 普及擴大 趨勢에 따른 機關의 適正評價를 위해 機關의 回轉數別로 時價遞減率을 細分化하는 등 耐用年數를 調整 적용하도록 改善한다. 船員共濟에 있어서도 船員普通共濟 加入 最高限度를 1人當 2,000萬원에서 3,000萬원으로 上向 調整하는 한편 船員特殊共濟는 改正된 船員法令의 災害補償 條件의 充足을 위해 補償 基準賃金を 基本給에서 乘船平均賃金(基本給의 150%) 또는 通常賃金(基本給의 120%)으로 改善하여 加入토록 하고 이에 따른 船員特殊共濟 利率도 改正하여 적용토록 하고 있다. 이와같은 制度 改善과 함께 船員共濟料 國庫補助率도 現行 등급별 5~45%에서 小型 漁船員 爲主로 5~50%로 引上 支援할 수 있도록 積極 推進中에 있다.

<表 116>

漁船 及 船員共済 加入 計劃

單位：百萬円

區 分		'90	'91	'91/'90(%)
漁 船	加入漁船(隻)	7,406	8,000	108.0
	契 約 高	520,596	600,000	115.3
	共 濟 料	9,992	10,800	108.1
船 員	加入人員(名)	41,177	49,000	119.0
	契 約 高	602,402	714,000	118.5
	共 濟 料	7,469	10,010	134.0
	(國庫補助)	(1,152)	(961)	(83.4)

資料：水協中央會 共済部

## 第 8 章 水産技術의 高度化

### 第 1 節 水産研究 및 技術開發

#### 1. 增養殖 技術

##### 가. 種苗生産試驗

水産種苗의 大量生産을 통한 沿岸資源 增強과 地域特性的의 養殖用 種苗 生産 技術開發 및 安定的 供給을 위하여 魚類6種(넙치, 참돔, 감성돔, 조피볼락, 송어, 들돔), 貝類4種(전복, 소라, 진주조개, 오분자기), 甲殼類3種(보리새우, 대하, 꽃게), 其他2種(보라성게, 북쪽말뚝성게), 넙치와 참돔 受精卵 等 總 17品種 48,000千尾를 量産할 計劃이며, 탁자볼락 等 10種에 대한 種苗生産 技術開發試驗을 實施할 計劃이다.

##### 나. 魚類養殖 技術開發試驗

넙치의 遺傳育種을 위한 研究로서 染色體工學 및 性轉換 技法에 의한 100% 넙치 암컷의 生産, 遺傳學的 性轉換 等 基礎試驗을 實施할 것이며, 海産魚類의 陸上飼育 技術開發을 위하여 閉鎖式 循環 濾過 養殖技

術開發 試驗과 陸上水槽 飼育技術의 安定 및 養殖對象 品種의 多樣化 趨勢에 能動的 對處를 위하여 자주복 및 조피볼락에 대하여 陸上水槽 飼育 基礎試驗을 遂行할 計劃이다. 그리고, 魚類 養殖場 環境調査와 농성어, 자주복, 숭어 飼育試驗도 實施할 計劃이다. 한편, 海産魚 配合飼料 開發試驗으로 조피볼락 飼料의 適正 단백질함량 究明과 水産加工副産物을 利用한 넙치 配合飼料 開發 試驗도 實施할 計劃이다.

#### 다. 貝藻類 育種學的 研究

참굴 3倍體 生産技術 確立으로 浮遊幼生の 發達段階別 成長度 및 生存率을 調査하고 室內 附着試驗과 附着稚貝의 野外 移植으로 참굴의 正常稚貝와 3倍體 稚貝의 成長度 및 生存率의 比較試驗을 實施하고, 전복 3倍體 生産을 實施하여 孵化率, 正常發生率 및 3倍體 誘導率을 調査하고 人工採苗에 의한 稚貝의 生産으로 정상稚貝와 3倍體 稚貝의 成長度 및 生存率의 比較試驗을 實施하고 있다.

김 優良品種開發을 위해 遺傳育種技法인 김의 組織培養을 통하여 純粹組織의 分離培養 및 原形質體 分離培養을 實施하고 있다.

다시마의 品種改良을 위한 優良品種의 純係分離 및 交雜 育種의 基礎 研究와 自生 다시마의 生態學的 特性 및 遺傳 形質을 把握하기 위한 基礎 調査로서, 自生 다시마 形質 特性 調査 및 交雜試驗을 實施하고 있다.

#### 라. 有用 貝藻類 增産試驗

養殖貝類 生理特性研究로서 養殖貝類의 大量斃死, 採苗不振 및 회색 굴 發生 등의 原因을 把握하고, 養殖貝類 作況의 早期 豫報 및 安定生産을 위하여 피조개 소화 生理 研究 및 굴의 회변현상에 관한 研究를

遂行하고 있으며, 전북 陸上飼育試驗으로 陸上의 垂直 空間을 多面的으로 利用할 수 있는 多단식 陸上飼育 施設을 開發하여 飼育 密度別, 먹이別, 施設形態別 成長 및 生存率 調査를 하고 있다.

김 品種改良試驗으로서 優良種苗의 保存培養 및 普及, 遺傳形質 調査, 김 갯병 및 珪藻類 分類 檢索을 實施하고 있다.

또한, 吳養殖 開發試驗으로 숙음 採取量에 따른 吳 資源 回復量 調査, 人工採苗, 附着生物 着生時期 및 地域別 吳 棲息場의 生産性診斷 調査를 實施하고 있다.

#### 마. 淺海 有用生物 養殖技術開發試驗

貝藻類 이외의 淺海 棲息有用 生物의 새로운 養殖對象 品種으로서의 養殖技術開發을 위하여 東海岸 分布種인 털게의 生殖, 生態究明, 初期發生 및 成長調査 등 養殖技術開發을 위한 調査 및 試驗을 계속 實施하고 地先어민의 所得과 直結될 수 있는 事業開發을 위해 성게 種苗를 放流하여 放流效果調査 및 食性, 棲息生物相 調査를 계속 實施하고 있다.

#### 바. 海産魚病研究

백신개발을 위한 養殖넙치 에드워드病에 대한 免疫研究와 血液基質 및 전해질 分析을 통한 넙치 健康 評價技術을 開發함과 아울러, 水産用 藥劑 使用에 관한 基礎研究를 遂行하기 위해 魚體內 抗生劑 殘存有無 調査를 着手하였으며, 養殖넙치의 疥癬증 被害를 최소화하기 위한 治療 方法 研究를 實施하고 있다.

#### 사. 淡水魚 試驗研究

內水面 資源增強과 生産性向上을 위해 잉어류 등의 優良種苗生産 普及

을 實施할 것이며, 연어 資源造成 및 回歸率 增大를 위하여 연어稚魚 生産放流量을 擴大시키며, 잉어, 틸라피아, 냉수성어류 등에 대한 育種試驗과 메기 品種改良試驗을 實施함과 아울러 관상어, 민물고기, 은어 등 新品種 養殖技術開發과 잉어 장포자충 驅除試驗등을 實施할 計劃이다.

그리고, '89~'90년까지 調査한 內水面 潛在力 調査報告書를 發刊 배부할 것이다.

## 第 2 節 漁場環境 및 資源調査

### 1. 漁場環境調査

陸地로부터의 産業廢水 및 都市下水, 廢棄物, 油類 등 각종 汚染物質에 의한 水質汚染과 公有水面 埋立·干拓에 따른 沿岸漁場의 環境變化를 把握하기 위하여, 全國 主要沿岸 및 臨海工團 周邊海域에 대한 環境汚染 調査를 強化하고, 水産資源保全地域의 효율적 管理를 위한 水質 및 資源動態 調査, 그리고 赤潮監視 調査, 赤潮發生 機構 研究, 有毒性플랑크톤의 分布 및 生態研究, 貧酸素水塊의 形成機構 및 變動에 관한 研究를 중점 추진할 計劃이다.

#### 가. 沿岸漁場 및 水産資源保全地域 環境調査

全國 主要 沿岸海域 및 水産資源保全地域의 270個 調査點에 대하여, 一般 水質 汚染度 調査를 年 4回, 海水, 水産物 및 低質에 대한 重金屬 汚染 調査를 溫山灣 및 京仁沿岸 10個 調査點에 대하여 年 2回, 迎日灣에서 汚染擴散 調査를 年 3回 실시하여 環境保全을 위한 基礎資料로

활용할 계획이다.

#### 나. 赤潮調查

赤潮被害를 事前 豫防하고 그 對策을 講究코저, 鎮海灣을 비롯한 慶南沿岸, 麗水沿岸, 木浦沿岸 및 仁川沿岸의 38個 調査點에 대하여 年 9回 監視調査를 實施하고, 赤潮發生 機構 및 有毒種플랑크톤의 分布 및 生態調査를 年 12回 實施하여 今後 赤潮發生 防止 및 國民 健康被害를 事前 豫防하기 위한 科學的 基礎資料로 活用할 計劃이다.

#### 다. 貧酸素水塊 調査

南海岸 一部 半 閉鎖性 內灣에서 形成되어 각종 棲息生物에 致命的인 被害를 입히고 있는 貧酸素水塊의 形成機構와 그 變動狀況을 精密把握, 水産物의 被害 極小化하기 위하여, 貧酸素水塊 常習 發生海域인 鎮海灣에 대하여 年 16回 이상 溶存酸素의 變動狀況 追跡 및 化學的特性 調査를 實施하여 水産物의 持續的 最大 生産을 基礎資料로 活用할 計劃이다.

## 2. 漁業資源調查

### 가. 沿近海 漁業

沿近海漁業資源의 持續的 生産과 合理的 管理를 위하여 沿近海 主要 漁業(13個漁業)의 對象資源에 대한 漁獲量變動調査, 生物學的 調査 및 魚卵稚魚 調査를 實施하여 資源의 動態 및 生態에 관한 研究를 하고 있으며, 迅速·正確한 資源動態 把握을 위해 科學魚探에 의한 직접조사도 實施하고 있다.

한편, 고래자원의 評價 및 管理를 위하여 고래자원 目視調査를 實施

하고 있으며, 魚群의 移動狀況과 漁況의 展望을 分析하여 週間 및 月間 漁況豫測을 實施하고 있다.

#### 나. 遠洋漁業

遠洋漁場에서의 我國의 權益을 保護하고 持續적이고 效率的인 漁業資源의 利用 및 管理를 위하여 遠洋主要漁業(트롤 등 7個 漁業) 및 魚種(황다랭이 등 10個種)에 대한 資源變動 및 生物特性調査, 漁業資源概觀作成 및 資源管理 基礎研究를 實施함으로써 魚種別 生物特性把握, 資源狀態를 評價하고 있다. 이들로부터 分析된 結課는 韓·美 漁業資源專門家會議 및 大西洋다랭이保存委員會 등 16個 國際漁業會議과 遠洋漁業政策資料 및 操業能率 向上 資料로서 提供될 것이다. 또한, 韓美北太平洋 오징어流刺網監視計劃 履行과 公海漁場을 安定的으로 確保하기 위하여 오징어流刺網 및 트롤 民間漁船등에 科學者를 乘船시켜 漁業別 主對象種 및 附隨漁獲物의 漁獲統計調査, 生物學的의 調査 및 漁場環境調査등 遠洋漁業科學監視活動調査를 實施하여 魚種別 混獲狀態, 漁獲對象生物의 種別分布와 漁場環境과의 關係를 밝혀서 公海資源의 國際的 紛爭에 對處할 基礎資料를 確保할 計劃이다.

### 第 3 節 研究機能強化

#### 1. 機構 및 機能補強

地域特性을 考慮한 廣域研究 需要增大에 對處하기 爲해 道別로 設置된 9個 水産研究所를 東·西·南海 海域別 研究所로 統合함과 아울러



沿岸漁場 資源增強을 爲한 水産種苗培養場 1開所를 增設하고 沿岸市·郡의 漁村指導 機能을 強化하기 爲해 漁村指導所 8開所를 擴大할 計劃이며, 이에 따른 運營要員 124名과 本院의 新造試驗船, 遠隔探查室, 通信室, 病理科 運營要員 16名 等 140名을 增員하기 爲해 職制改正을 推進하고 있다.

## 2. 研究員 資質向上과 試驗機構補強

### 가. 研究員 資質向上

2000年代를 向한 尖端水産 技術開發을 爲하여 遺傳育種, 海洋遠隔探查研究 等을 內實化하고 研究員의 國內·外 研修, 專門家 交流, 海外研究所와의 情報交流을 繼續 擴大해 나갈 計劃으로 '91년에는 日本, 프랑스, 美國 等に 20名의 研修生을 派遣하는 한편, 國內研修도 繼續 擴大해 나갈 計劃이다.

또한, 第23次 韓·日 農林水産 技術協力 委員會 合意事項 및 韓·佛 姊妹結緣 事業을 通하여 日本에서는 가리비增養殖, 水産資源再生産 및 魚群行動技術研修를, 프랑스에서는 海洋生態係 內 有機物質의 循環 및 油類汚染, 環境保全에 對한 技術研修와 遠隔探查專門家 派遣 및 有毒性 赤潮分野 專門家を 招請할 計劃이다.

### 나. 試驗研究 裝備補強

沿岸漁場의 海洋環境 및 漁業資源調査 等 水産試驗研究 事業의 效率의인 推進을 爲하여 國立水産振興院에서 保有하고 있는 試驗船 20隻 中 老後船 2隻과 用度 不適合船 3隻을 代替할 計劃으로 最新 調査裝備를 搭載한 300톤級 中型試驗船 1隻은 建造 中에 있고 200톤級 1隻은 設

計中에 있으며, 餘他 試驗船도 年次別로 代替해 나갈 計劃이다.

또한, 試驗調查裝備購入費를 每年 歲出豫算에 反映하여 試驗研究 事業에 必要한 裝備를 補強해 나갈 計劃이다.

### 3. 水産研究財團 基金造成 및 活用

1991年度 水産研究財團 基金 基本財産 572,000千원에 對한 利子收益 68,840千원과 '90年度 事業執行殘額 212千원으로 試驗研究 및 指導事業 等에 62,852千원을 執行할 計劃이며, 剩餘金 6,000千원은 基本財産으로 編入, 財團基金 總額을 678,000千원으로 增額시킬 計劃이다.

## 第 4 節 技術指導 普及

### 1. 技術指導 및 弘報

國立水産振興院에서는 傘下 25개 漁村指導所와 18개 市·郡駐在 漁村指導公務員 255名으로 하여금 全國의 漁村契를 巡廻하면서 主要養殖品種에 對한 段階別 適期 技術支援으로 持續的 安定生産을 圖謀하는 한편, 養殖漁場의 合理的인 保全管理를 위하여 漁場豫察, 適正施設, 災害豫防指導 등에 力點을 두고 對漁民 指導를 強化해 나갈 計劃이다.

淺海養殖漁業 對象品種 37種 (魚類 8, 貝類 15, 海藻類 8, 其他 水産動物 8種)을 對象으로 海況과 作況을 週期的으로 觀測·調査하여 養殖施設 時期와 方法을 指導하고 科學的 幼生調査 方法에 의한 優良種苗의 需給과 本養成管理, 適期 採取·出荷등 段階別 漁業指導를 強化토록 하

는 한편, 最近 沿岸漁場 汚染이 加速化되고 있는 現實을 勘案, 養殖漁民의 漁場環境 保護와 自律的인 漁場管理 啓導活動을 積極 展開할 것이다.

水産政策上 必要하거나 地域的으로 養殖이 可能하지만 아직 普及化되지 않은 品種에 대하여는 새로운 漁村 所得事業으로의 擴大普及과 定着化를 위하여 전복, 가리비, 모자반 養殖 등 19個所의 示範漁場을 運營할 것이다.

主要養殖 品種別 漁業秩序 確立을 위하여 適正施設을 위한 漁場整理를 漁民 스스로 할 수 있도록 施設時期前에 漁民教育 強化와 不法漁業者에 대한 個別 訪問등을 통하여 漁場管理에 대한 새로운 認識을 갖도록 하는 한편, 不法漁業者에 대하여는 漁場豫察과 地域別 養殖漁場 評價會議時에 이를 有關機關에 通報, 反映케 하는 등 協助體制를 強化하여 漁業秩序가 確立되도록 重點指導할 것이다.

赤潮 등 災害의 豫防과 被害의 最小化를 위하여 赤潮發生 常習 또는 憂慮地域 61個所에 豫察班을 配置하고, 아울러 颱風·豪雨 등에 의한 被害豫防을 위하여 全國的으로 34個 督勵班을 編成, 運營할 것이다.

한편, 對國民 水産弘報活動에 있어서는 水産技術誌 3種을 發刊 하는 등 漁民의 要望에 副應하고 水産情報의 迅速한 傳達을 위하여 月刊 水産消息, 海·漁況週報 및 漁村指導消息誌 등 刊行物과 新聞, 雜誌, T. V, 라디오 등을 통한 弘報活動을 더욱 強化할 것이다.

## 2. 漁民教育 및 漁民後繼者指導

營漁技術을 向上시키고와 함께 政府水産施策 弘報를 통한 漁民意識 啓導로 健全漁村을 育成하는데 目標을 두고, 全國 25個 漁村指導所에서

水協과 合同으로 漁民 약 5만명을 對象으로 集合教育을 實施함과 同時에 地域別 主要 養殖漁業 循期에 맞추어 品種別 採苗, 育成技術 및 漁場管理 등에 대하여 漁民 4만 4천여명을 對象으로 現地 巡迴技術教育을 實施할 것이다.

또한 地域別 主要 所得源이 되고 있는 養殖品種의 當面指導課題에 대한 漁業세미나를 開催하고 漁村指導所別로 漁村地域 中高學生 年齡層의 靑少年 1,200명을 對象으로 夏季 靑少年 水産教育을 實施할 것이다.

한편, 全國 4,597명의 漁民後繼者를 對象으로 이들을 科學營漁 實踐을 통한 福祉漁村 建設의 旗手로 育成, 漁村指導者로 育成하기 위하여, 漁民後繼者 個人別 專擔 漁村 指導士들이 每月 1~2회 以上 現地事業場을 巡迴訪問하여 現場指導를 實施함으로써 事業推進 能力을 提高시키고 同時에 漁村指導所 主管으로 有關機關과 協助하여 地域別로 漁民後繼者 指導評價會를 年 1회 以上 開催하여 事業推進上的 問題點을 討議하고 相互 漁業情報 交換을 實施토록 할 것이다. 그 밖에도 全國 157個 地域別 自生組織協議會를 對象으로 分期別 懇談會 開催를 통한 營漁事例 發表會를 가지게 하고, 또한 先進地 見學에 의한 營漁技術 向上, 體育大會에 의한 親善圖謀 등의 自生組織活動指導를 強化해 나갈 것이다.

### 3. 漁村指導機能強化

國立水産振興院의 對漁民 指導事業 機能을 強化하기 위하여 仁川, 全北의 高敞, 全南의 木浦 및 長興, 釜山 등 5個 地域에 漁村指導所를 新設, 25個所로 擴大하고 指導人力 25名 (漁村指導官 5名, 技能職 20名)을 增員하는 등 職制 改編('91.6)을 통하여 密度있는 現場指導 體制를 強化하며, 慶南의 南海, 濟州 등 2個 漁村 指導所의 廳舍를 2층으로 增

築한다. 또한 效率的이고 專門性 있는 對漁民 指導活動을 強化하기 위하여 江原의 東海漁村指導所 등 5個所에 車輛을 追加 配置함과 同時에, 適地調査 등 專門技術指導 裝備 8종 47점을 補強할 計劃이다. 아울러 全南의 高興, 慶南의 南海 등 2개 漁村指導所에 技術指導船舶을 각 1척씩 追加로 配置하여 총 6척의 技術指導船을 確保함으로써 海上에서의 迅速하고 效率的인 技術支援 體系를 強化해 나갈 것이다.

〈表 117〉 漁村指導所 設置 및 指導人力 確保 內譯

單位：個所，名

	'76	'81	'84	'85	'91
漁村指導所	-	8	14	20	25
指導人力	82	212	232	250	275
(指導職)	(82)	(212)	(232)	(250)	(255)
(技能職)	-	-	-	-	(20)

資料：國立水産振興院

한편, 魚類繁殖과 疾病對策, 水質環境 分野에 대한 새 技術 및 專門知識 普及을 위하여 漁村指導公務員 22名을 對象으로 國立水産振興院 傘下 水産種苗培養場 및 內水面研究所 등에서 種苗生産 등 主要 事業時期別로 1個月間 現場 實技實習 爲主의 專門技術교육과 함께 水産研究財團事業으로 日本 研修 4名을 實施하며, 水産公務員教育院에서 20名에게 1週間의 水産經營교육을 履修케 하는 등 海外 先進技術 習得과 새로운 情報交流로 對漁民 指導의 專門化를 強化해 나갈 것이다.

그리고 漁村指導所 地域內의 德望과 營漁經驗이 豊富한 漁村指導者 200名을 國立水産振興院에서 自願漁村指導者로 委囑, 漁村指導事業에

自進 參與토록 함으로써 이들의 體驗事例를 傳播하는 등 보다 效率的인 對漁民 指導事業을 展開해 나갈 것이다.

## 第 5 節 水産技術 訓練

### 1. 公務員 職務教育

水産關係 公務員의 業務遂行能力을 提高하고 先進技術의 普及을 爲해 基本教育 3回 400名, 專門教育 11回 470名의 教育을 實施할 計劃이다.

基本教育課程에 있어서는 補修教育을 持續的으로 實施하고 少數 職列의 統合教育으로 教育死角 地帶를 解消하며, 新規實務者에 對한 教育을 擴大 實施하여 모든 新規任用者가 早速히 公職社會에 適應하고 實務者로서 必要한 基礎知識을 培養할 수 있는 契機가 되도록 할 것이다. 한편, 專門教育課程은 水産資源 保全 및 育成을 爲한 資源保護管理者班과 海面魚類養殖班, 漁家經營指導를 爲한 水産經營班 및 水産行政의 能率向上에 寄與하게 될 電算實務者班을 設定·運營하여 漁業發展에 副應하고자 하며, 特히 日語·英語教育班등 外國語 教育課程을 新設하여 國際化 趨勢에 能動的으로 對應할 能力을 培養하고자 한다. 또한 政策開發班에서는 “輸入開放時代에 對備한 水産物 流通基盤 造成”을 主題로 세미나를 開催하여 沿近海 水産物 流通改善方案, 遠洋漁獲物 流通基盤 造成方案, 遠洋漁獲物 委販制度 實施方案을 摸索코자 한다.

## 2. 漁民教育

漁民教育은 漁民後繼者 및 漁民教育課程으로 나누어 實施한다. 이 중 漁民後繼者 教育課程은 '91 漁民後繼者 155名을 對象으로 漁船漁業과 水産養殖分野로 區分, 專門教育을 實施하여 漁村定着 基盤을 造成하고 또한 '81~'90 漁民後繼者 중 教育 希望者 260名을 選定하여 海面魚類, 貝類, 內水面魚類養殖 分野와 漁船漁業分野에 現場經營 教育을 實施할 計劃이다. 特히 經營教育에 있어 漁船漁業班을 新設하여 水産養殖 分野 中心의 教育에서 벗어나 漁船漁業 分野에 있어서도 經營 및 專門技術을 習得할 수 있는 機會를 提供할 것이다. 漁民教育課程은 漁村契 幹部 160名을 對象으로 不法漁業 防止 啓導要員을 養成하기 爲한 漁業秩序 管理班을 設定 運營하고, 100톤 以上 漁船의 海洋汚染防止管理人 280名에 對하여 海汚汚染 防止教育도 實施하여 海洋環境 保全에 萬전을 期할 計劃이다.

**여백**



統計로 본 水産業 動向

1. 國 民 經 濟 主 要 指 標
2. 農 林 漁 業 附 加 價 值
3. 產 業 構 造
4. 總 人 口 及 漁 家 人 口
5. 漁 船 勢 力
6. 水 產 物 生 產
7. 水 產 物 需 給
8. 水 產 物 輸 出
9. 漁 家 所 得
10. 漁 業 粗 收 入 及 經 營 費
11. 漁 家 負 債

**여백**

### 1. 國民經濟 主要指標

	國民總生產		1人當 GNP		디플레이터		成長寄與率(85不變%)	
	經常 (10億원)	經常 (億\$)	經常 (千원)	經常 (\$)	GNP 85=100	農林漁業 85=100	農 林 漁 業	鑛工業
71	3,416.7	95	104	289	12.6	13.0	9.7	29.0
72	4,191.2	107	125	319	14.7	15.4	12.7	38.2
73	5,376.3	135	158	396	16.7	17.3	14.2	37.3
74	7,597.4	188	219	542	21.8	22.7	19.5	37.6
75	10,135.8	209	288	594	27.3	29.6	14.4	40.6
76	13,912.7	287	389	803	33.1	34.8	17.5	37.1
77	17,806.6	368	490	1,012	38.6	41.3	6.4	36.6
78	24,001.6	515	651	1,396	47.4	56.7	△21.4	51.6
79	30,801.8	615	823	1,644	56.7	63.6	16.9	36.5
80	36,749.7	605	968	1,592	70.3	74.1	△11.1	7.4
81	45,528.1	668	1,181	1,734	82.2	84.9	35.3	46.3
82	52,182.3	713	1,334	1,824	88.0	85.0	16.4	24.7
83	61,722.3	795	1,554	2,002	92.4	85.7	9.7	35.3
84	70,083.9	870	1,739	2,158	96.0	94.1	△2.4	54.9
85	78,088.4	897	1,910	2,194	100.0	100.0	7.4	32.6
86	90,598.8	1,028	2,207	2,505	102.8	99.1	4.7	45.1
87	106,024.5	1,289	2,557	3,110	106.4	122.4	△6.4	47.5
88	126,230.5	1,728	3,015	4,127	112.7	123.4	6.5	37.4
89	141,794.4	2,112	3,353	4,994	118.6	134.1	△1.6	18.4
90(p)	168,437.8	3,942	3,942	5,569	129.2	149.2	△3.9	30.8

資料 : 1) 國民計定(BOK)

2) 調査統計月報(BOK)

註 : 1) 서비스業은 國民計定(BOK)上 都小賣 및 飲食宿泊業, 運輸倉庫 및 通信業, 金融 保險 不動産 및 社會서비스業, 社會 및 個人서비스業, (共濟)金融制度서비스, 政府서비스生産者, 民間非營利 서비스生産者, 輸入稅가 包含되고 海外純受取要素 所得은 除外됨 (以下 같음)

## 2. 農林漁業附加價值

'85不變市場價格

	農林漁業	漁業			
		漁	沿 近 海	養 殖	遠 洋
70	10億원 6,943.2	462.0	357.4	52.9	51.7
72	7,326.8	546.6	425.8	44.6	76.2
73	7,862.1	655.5	492.9	62.8	99.8
74	8,373.7	749.1	543.0	86.2	119.9
75	8,697.1	729.3	503.3	80.3	145.7
76	9,545.6	738.3	478.5	82.1	177.7
77	9,811.3	742.7	463.8	102.6	176.3
78	8,845.5	710.8	472.8	68.0	170.0
79	9,460.8	768.9	531.2	88.6	149.1
80	7,656.8	794.3	578.4	71.6	144.3
81	8,749.8	904.1	636.8	100.9	166.3
82	9,401.2	913.2	642.9	101.9	168.4
83	10,128.5	893.6	608.4	114.8	178.4
84	9,977.2	916.5	593.8	154.8	167.9
85	10,351.8	973.3	596.2	173.0	204.1
86	10,829.6	1,104.9	644.2	222.8	237.9
87	10,097.5	1,090.4	622.4	207.4	260.5
88	10,902.6	1,085.9	603.3	237.2	245.4
89	10,779.9	1,158.8	603.0	260.6	295.2
90(p)	10,354.1	1,157.3	617.7	243.4	296.3

資料：國民計定(BOK)

註：1) 沿近海：一般 + 內水面漁撈

2) 養殖：淺海養殖 + 內水面養殖 + 水協指導事業서비스

### 3. 産業構造

	國內總生産	農 林 漁 業			鑛工業	建設 및 電氣, 가스, 水道事業	서어비 스業	
		農 業	林 業	漁 業				
70	經常 10億원 2,767.9	% 26.6	23.3	1.7	1.6	22.5	6.5	44.3
72	4,209.6	26.8	23.7	1.4	1.7	23.5	5.6	44.1
73	5,420.3	25.0	21.4	1.5	2.2	26.2	5.8	43.0
74	7,669.4	24.8	22.0	1.4	1.5	27.1	5.5	42.5
75	10,302.2	25.0	22.0	1.3	1.6	27.5	6.0	41.6
76	14,101.0	23.6	21.0	1.2	1.5	28.7	5.9	41.8
77	18,074.1	22.4	19.4	1.2	1.8	28.9	7.0	41.7
78	24,327.1	20.6	18.0	1.1	1.6	29.4	9.0	41.0
79	31,323.1	19.2	16.6	0.9	1.6	29.9	10.2	40.7
80	38,041.1	14.9	12.7	1.0	1.2	31.0	10.4	43.7
81	47,482.8	14.7	12.7	0.8	1.2	30.4	10.0	45.0
82	54,442.8	14.7	12.7	0.8	1.2	30.4	10.0	45.0
83	63,832.8	13.6	11.5	0.9	1.2	31.0	10.6	44.8
84	72,644.3	12.9	11.0	0.9	1.1	31.8	10.7	44.6
85	80,846.9	12.8	10.9	0.7	1.2	31.3	10.5	45.4
86	93,425.8	11.5	9.5	0.6	1.4	32.6	10.2	45.7
87	108,428.3	10.5	8.6	0.6	1.3	33.0	10.4	46.1
88	127,962.7	10.5	8.8	0.5	1.2	33.2	10.7	45.5
89	143,001.4	10.1	8.3	0.5	1.3	31.8	12.1	45.9
90(p)	169,701.4	9.1	7.5	0.4	1.2	29.6	15.0	46.2

資料 : 1) 國民計定(BOK)

註 : 本表의 産業構造率은 國內總生産(GDP)을 基準으로 算出한 것임.

## 4. 總人口와 漁家人口

	總人口		漁家人口			漁業家口		
	增加率		構成比	增減率		構成比	家口當人口	
	千名	%	千名	%	%	千名	%	名
70	32,241	2.21	1,165	3.6	△12.1	195	3.3	5.97
71	32,883	1.99	-	-	-	-	-	-
72	33,505	1.89	1,062	3.2	-	182	-	5.84
73	34,103	1.78	979	2.9	△7.8	171	-	5.73
74	34,602	1.73	914	2.6	△6.6	160	-	5.71
75	35,281	1.70	894	2.5	△2.2	154	2.3	5.81
76	35,849	1.61	880	2.5	△1.6	153	-	5.75
77	36,412	1.57	871	2.4	△1.0	153	-	5.69
78	36,969	1.53	827	2.2	△5.1	152	-	5.44
79	37,534	1.53	791	2.1	△4.4	147	-	5.38
80	38,124	1.57	844	2.2	6.7	157	2.0	5.38
81	38,723	1.57	776	2.0	△8.1	150	-	5.17
82	39,326	1.56	755	1.9	△2.7	146	-	5.17
83	39,929	1.46	739	1.9	△2.1	147	-	5.03
84	40,513	1.34	716	1.8	△3.1	147	-	4.87
85	40,806	0.93	689	1.7	△3.8	145	1.5	4.75
86	41,184	0.93	666	1.6	△3.3	144	-	4.63
87	41,575	0.96	635	1.5	△4.7	141	-	4.50
88	41,975	0.97	602	1.4	△5.2	138	-	4.36
89	42,380	0.96	561	1.3	△6.8	134	-	4.19
90(p)	42,793	0.97	523	1.2	△6.8	128	1.1	4.09

資料 : 1) 韓國統計月報(EPB), 2) 農林水産統計年報(MAFF)

註 : 總人口는 年央人口(7.1基準), 其他는 年末基準人口量 말함.

## 5. 漁船勢力

	計			動力船			無動力船	
	隻數	屯數	隻當平均屯數	隻數	屯數	馬力	隻數	屯數
	千隻	千G/T	FG/T			千HP		
70	68.4	358	5.24	14.1	268	676	54.3	90
71	68.3	393	5.75	14.7	307	816	53.6	85
72	67.7	452	6.68	14.7	367	968	52.9	85
73	68.6	511	7.45	16.5	432	1,134	52.1	79
74	68.0	602	8.85	18.0	526	1,418	50.0	76
75	67.7	648	9.57	19.7	581	1,587	48.0	67
76	65.8	662	10.06	22.7	605	1,676	43.1	57
77	66.5	683	10.26	29.8	636	1,866	36.7	46
78	70.3	756	10.75	34.0	713	2,187	36.3	43
79	74.6	753	10.10	47.1	721	2,334	27.5	32
80	77.6	771	9.94	51.1	740	2,462	26.5	30
81	80.5	782	9.71	59.7	757	2,585	20.8	24
82	86.5	808	9.33	67.1	785	2,797	19.4	23
83	88.5	828	9.35	69.3	806	2,973	19.3	22
84	90.4	852	9.42	71.6	830	3,213	18.8	22
85	90.9	858	9.43	71.8	836	3,353	19.1	22
86	93.0	884	9.50	73.9	862	3,607	19.1	22
87	94.2	912	9.69	74.8	890	4,027	19.3	22
88	99.0	948	9.57	78.4	925	4,701	20.6	23
89	98.5	963	9.77	78.3	941	5,037	20.2	22
90	99.7	977	9.80	79.4	946	5,449	21.8	22

資料：農林水産統計年報(MAFF)

### 6. 水産物生産

	計	沿岸	近海	遠洋	養殖	内水面
	千M/T					
70	935	455	271	90	119	-
71	1,074	474	293	159	147	1
72	1,344	616	343	224	160	1
73	1,686	712	352	361	260	1
74	2,026	883	384	418	340	1
75	2,135	819	390	566	351	9
76	2,407	839	418	724	411	15
77	2,421	812	496	596	491	26
78	2,354	838	526	566	391	33
79	2,422	879	535	486	481	41
80	2,410	803	569	458	541	39
81	2,812	879	650	542	701	40
82	2,644	822	653	528	596	45
83	2,793	773	714	615	644	47
84	2,910	804	720	658	678	50
85	3,103	838	657	767	788	53
86	3,660	891	835	930	947	57
87	3,332	850	676	883	866	57
88	3,209	757	755	774	887	36
89	3,319	765	745	930	848	31
90	3,275	798	744	925	773	35
91(p)	3,450	800	750	880	970	50

資料：農林水産統計年報(MAFF)



## 7. 水産物 需給

	供給			計	消費			1人當
	生産	輸入	在庫		國內消費	輸出	移越	消費
				千M/T				kg
72	1,344	-	-	1,344	1,090	254	-	21.3
73	1,686	-	-	1,686	1,326	360	-	28.7
74	2,026	-	-	2,026	1,641	385	-	27.8
75	2,135	-	-	2,135	1,562	573	-	29.9
76	2,407	-	-	2,407	1,644	763	-	29.8
77	2,421	15	-	2,436	1,655	771	-	29.5
78	2,354	54	-	2,408	1,711	697	-	25.9
79	2,422	55	-	2,477	1,689	788	-	25.9
80	2,410	41	68	2,519	1,746	696	77	27.0
81	2,812	48	77	2,937	2,096	731	110	33.2
82	2,644	61	110	2,815	2,007	721	87	31.6
83	2,793	66	87	2,946	2,147	699	100	38.1
84	2,910	84	100	3,094	2,245	764	85	37.7
85	3,103	91	85	3,279	2,318	867	94	37.2
86	3,660	127	94	3,881	2,543	1,236	102	41.9
87	3,332	422	102	3,856	2,407	1,272	177	37.1
88	3,209	452	177	3,838	2,336	1,303	199	33.6
89	3,319	404	199	3,922	2,526	1,120	276	36.0
90	3,275	380	276	3,931	2,583	1,058	290	35.9
91(p)	3,450	456	290	4,196	2,857	1,039	300	39.7

資料：農林水産 統計年報(MAFF)

註：1人當 消費量은 韓國農村經濟研究院의 “食品需給表”資料이며 純食品 基準임.

## 8. 水産物 輸出

	計	活鮮魚	冷凍品	海産鹽辛品	号丕引	遠洋魚類	其他水産物	漁網類
	百萬\$							
70	91	11	6	17	-	38	11	7
71	115	18	8	12	2	55	11	9
72	152	27	13	12	5	68	17	10
73	260	50	32	38	8	80	34	18
74	291	61	35	24	10	90	40	31
75	429	62	58	32	10	183	54	30
76	598	76	81	75	15	262	55	34
77	703	90	109	40	34	313	68	49
78	752	112	120	51	42	295	70	62
79	936	119	123	61	26	457	70	80
80	871	128	103	27	28	352	63	112
81	1,051	153	115	56	38	428	66	119
82	947	151	131	122	51	329	78	85
83	908	145	134	83	55	315	95	81
84	956	155	124	83	61	354	104	78
85	970	155	124	97	55	328	132	79
86	1,384	253	165	108	72	465	219	102
87	1,731	369	234	128	95	571	223	111
88	2,047	476	260	150	137	618	270	136
89	1,821	391	252	167	114	540	226	131
90	1,637	328	206	156	85	471	267	124
91(p)	1,600	320	210	150	80	470	250	120

資料：農林水産統計年報(MAFF)

## 9. 漁家所得

○ 源泉別

	漁家所得	漁業所得			漁業外所得			漁業外所得
		漁業粗收入	漁業經營費		兼業所得	事業外所得	構成比	
	千圓						%	
80	2,596.0	1,756.2	3,090.1	1,337.9	843.8	392.4	451.4	32.5
81	3,042.4	1,978.5	3,475.2	1,496.7	1,063.9	523.9	540.0	35.0
82	3,278.8	1,959.7	3,513.1	1,553.4	1,319.1	607.2	711.9	40.3
83	4,109.1	2,570.0	5,415.0	2,845.0	1,539.1	771.4	767.7	37.5
84	4,507.9	2,581.8	5,589.1	3,007.3	1,926.1	1,051.0	875.1	42.7
85	4,868.7	2,815.2	6,047.0	3,231.8	2,053.5	1,045.0	1,008.5	42.2
86	5,402.0	3,219.3	7,155.2	3,935.9	2,182.6	1,010.8	1,171.8	40.4
87	6,165.6	3,419.7	7,577.2	4,157.5	2,745.9	1,320.4	1,425.5	44.5
88	6,821.0	3,450.8	7,881.5	4,430.8	3,370.2	1,596.5	1,773.7	49.4
89	8,079.0	4,151.8	8,863.2	4,711.4	3,927.2	1,783.8	2,143.4	48.6
90	10,023.0	5,216.5	10,367.3	5,150.8	4,806.5	2,199.8	2,606.7	48.0

資料：漁家經濟調查結果報告(MAFF)

○ 漁業形態別

	全 國	漁 船 非 使用家口	無動力船 使用家口	動力 船 使用家口	養 殖 業 家 口
	千圓				
80	2,596.0	1,980.1	2,119.9	3,352.6	2,794.1
81	3,042.4	2,652.1	2,776.7	3,901.3	2,944.3
82	3,278.8	2,669.5	3,132.3	4,280.3	3,182.5
83	4,109.1	3,018.7	3,320.6	7,395.3	3,642.7
84	4,507.9	3,550.1	3,772.8	7,237.5	4,181.6
85	4,868.7	4,071.7	3,874.6	7,704.4	4,429.7
86	5,402.0	4,529.4	4,132.4	9,240.8	4,643.9
87	6,165.6	5,162.6	4,827.8	9,382.8	5,774.0
88	6,821.0	5,644.8	5,161.0	9,954.8	6,707.5
89	8,079.0	7,231.7	5,953.3	9,478.8	7,557.0
90	10,023.0	8,695.7	9,102.6	11,195.6	9,836.4

資料：漁家經濟調查結果報告(MAFF)

### 10. 漁業粗收入 및 經營費

○ 漁業粗收入

	計	漁業粗收入			在庫増減	
		漁撈	養殖	水産加工		
	千원					
77	1,797.4	1,798.3	1,574.3	224.0	-	△0.9
80	3,090.1	3,092.4	2,133.1	848.0	111.3	△2.3
81	3,475.2	3,471.9	2,449.9	880.9	141.1	3.3
82	3,513.1	3,507.7	2,625.7	802.4	79.6	5.4
83	5,414.1	5,396.3	4,333.0	938.2	125.1	18.8
84	5,589.1	5,586.8	4,196.2	1,226.3	164.3	2.3
85	6,047.0	6,035.2	4,587.7	1,211.2	236.3	11.8
86	7,155.2	7,161.3	5,538.0	1,367.9	255.4	△6.0
87	7,577.2	7,568.2	5,888.6	1,535.3	144.3	9.0
88	7,881.6	7,890.1	6,041.7	1,746.9	101.5	△8.5
89	8,863.2	8,855.8	5,191.4	3,061.1	603.3	7.4
90	10,367.3	10,003.5	6,008.4	3,042.8	952.3	363.8

資料：漁家經濟調查結果報告(MAFF)

○ 經營費

	計	漁業支出			減價 價却費	在庫生産 資材増減	
		漁撈	養殖	水産加工			
	千원						
77	907.0	855.0	829.6	25.4	-	52.0	-
80	1,337.9	1,224.8	984.9	221.4	18.5	114.4	△1.3
81	1,496.7	1,352.7	1,099.8	223.8	29.1	137.5	6.5
82	1,553.4	1,401.3	1,137.9	256.1	7.3	156.8	△4.7
83	2,845.0	2,706.8	2,336.8	349.0	21.0	146.1	△7.9
84	3,007.3	2,847.2	2,467.4	336.8	43.0	172.2	△12.1
85	3,231.8	3,030.6	2,591.9	362.2	76.5	197.7	3.5
86	3,935.9	3,663.9	3,117.8	473.2	71.9	276.6	△3.6
87	4,157.5	3,882.1	3,316.2	505.5	60.4	256.1	19.3
88	4,430.8	4,124.7	3,415.7	619.6	89.4	303.9	2.2
89	4,711.4	4,371.8	2,307.3	1,717.6	346.9	352.8	△13.2
90	5,150.8	4,792.3	2,779.3	1,609.1	403.9	364.8	△6.3

資料：漁家經濟調查結果報告(MAFF)

## 11. 漁家負債

○ 用途別

	計	生産性			家計	其他
		漁業	兼業			
	千円					
80	563.7	362.5	310.9	51.6	177.8	23.4
81	587.6	359.8	308.7	51.1	207.0	20.8
82	1,337.3	888.9	798.5	90.4	401.8	46.6
83	2,040.2	1,406.8	1,263.3	143.5	574.4	59.0
84	2,361.2	1,658.1	1,455.2	202.9	648.1	55.0
85	3,377.7	2,500.5	2,053.6	446.9	803.7	73.5
86	3,548.9	2,544.9	2,150.2	394.7	910.6	93.3
87	4,064.4	2,740.3	2,309.2	431.1	1,169.7	154.4
88	3,818.2	2,683.3	2,219.8	463.5	969.9	165.0
89	5,276.0	4,131.0	3,057.0	1,074.0	868.0	277.0
90	5,925.2	4,737.8	3,280.5	1,457.3	870.1	317.3

資料：漁家經濟調查結果報告(MAFF)

○ 借入處別

	計	制度金融			私債			
		水協	農畜協	其他	農漁家	其他		
	千円							
83	2,040.2	1,127.7	858.6	193.7	70.4	917.5	527.7	389.8
84	2,361.2	1,249.4	932.5	234.2	82.7	1,111.8	715.1	396.7
85	3,377.7	2,156.5	1,491.1	513.0	152.4	1,221.2	908.4	312.8
86	3,548.9	2,296.5	1,568.9	567.5	160.1	1,252.4	905.9	346.5
87	4,064.4	2,800.3	1,857.9	727.9	214.5	1,264.1	821.8	442.3
88	3,818.2	2,735.9	1,764.9	745.5	225.5	1,082.3	654.4	427.9
89	5,276.0	3,966.0	1,931.0	1,715.0	320.0	1,310.0	834.0	476.0
90	5,925.2	4,514.6	2,058.7	2,146.8	309.1	1,410.6	801.2	609.4

資料：漁家經濟調查結果報告(MAFF)

**여백**

---

1991年度 水産業 動向에 관한 年次報告書

---

1991년 9월 일 印刷

1991년 9월 일 發行

編輯：水産廳企劃管理官室

發行：大韓民國水産廳

印刷：株式會社 文苑社

☎ 739-3911~4

---

< 非賣品 >